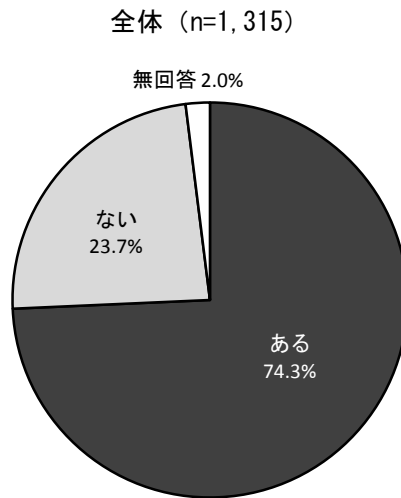


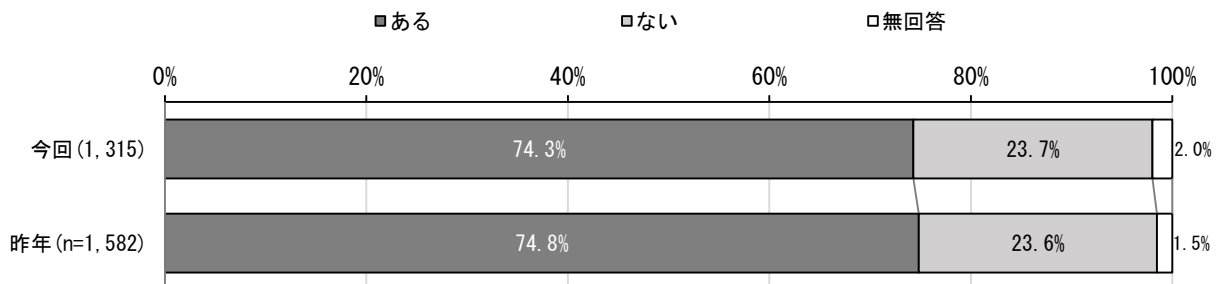
5. 大分市が行っている業務や個別の事業について

(1) 市職員の接遇について

ア あなたは、過去1年くらいの間で市役所（支所等を含む）に来庁または電話による問い合わせをしたことがありますか。



昨年調査結果との比較



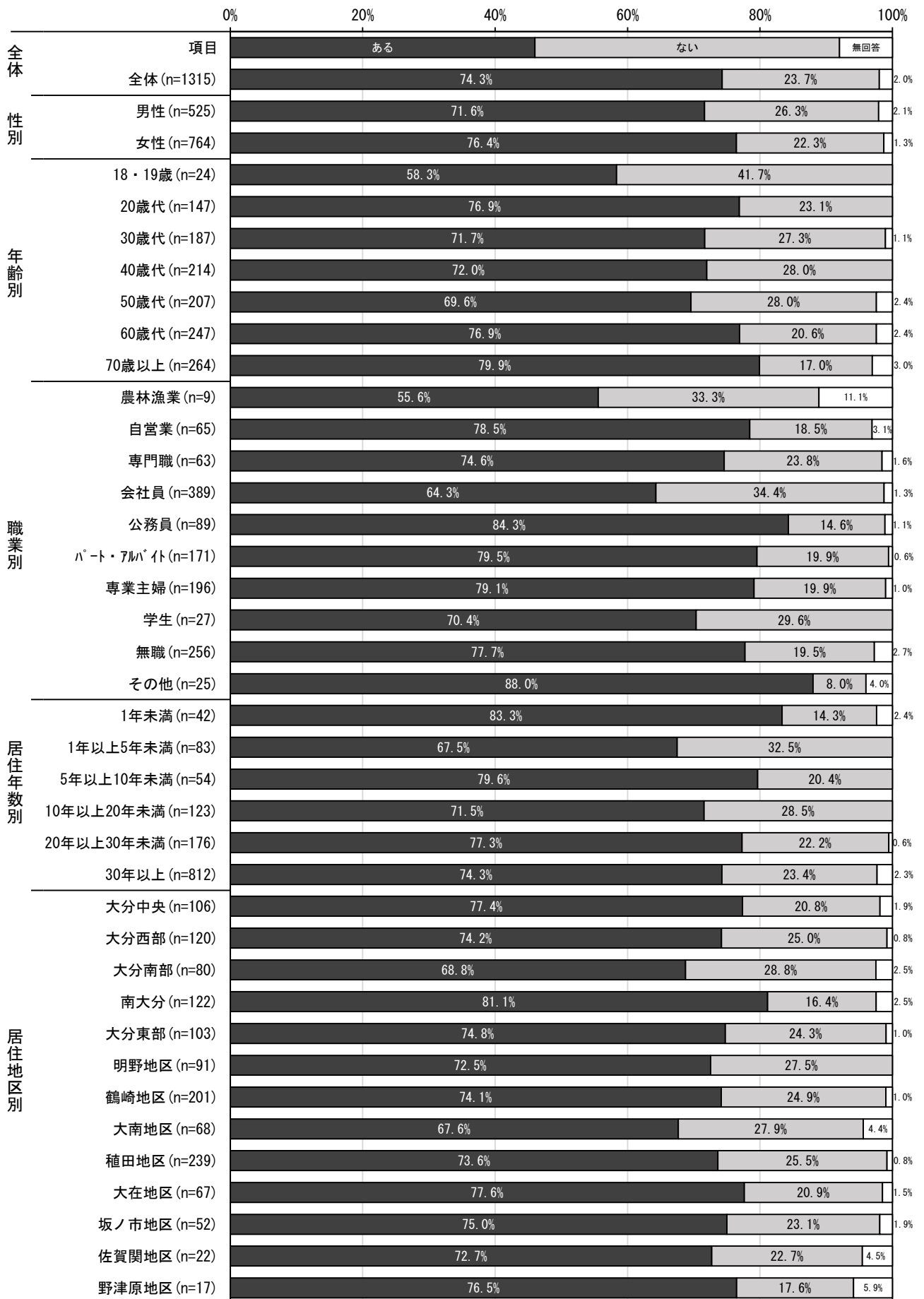
過去1年くらいの間で市役所（支所等を含む）に来庁または電話による問い合わせをしたことがあるかは、「ある」が74.3%、「ない」が23.7%で、およそ4分の3の方が何らかの問い合わせをしたことがうかがえます。

また、昨年調査結果と比較すると同じ傾向が見られます。

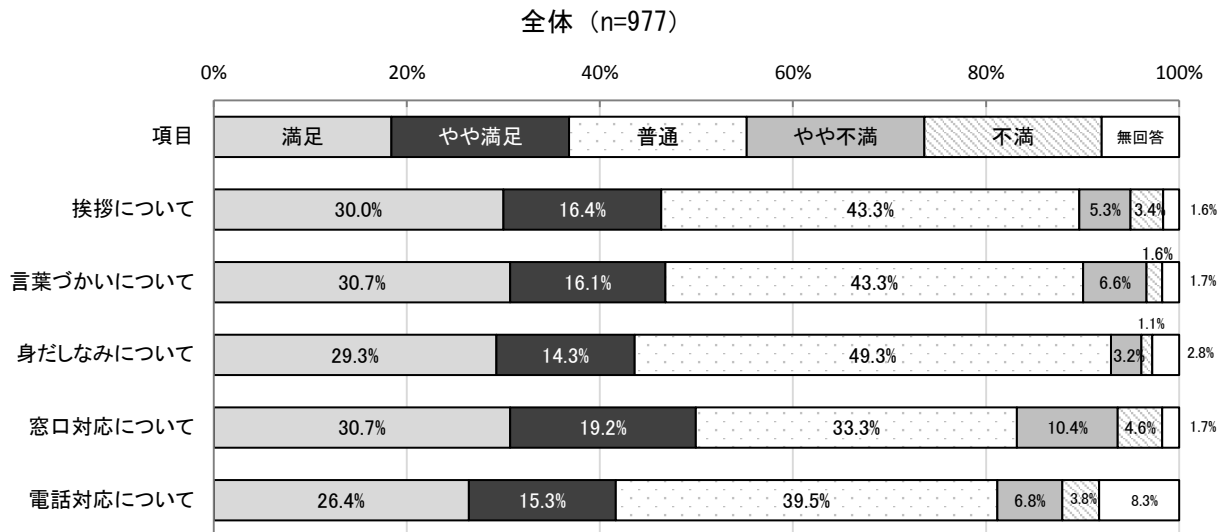
【属性別特徴】

- 性別でみると「ある」の割合は「女性」が「男性」よりやや高くなっています。
- 年齢別でみると「ある」の割合は「70歳以上」が最も高くなっています。
- 職業別でみると「ある」の割合は「公務員」「その他」が極めて高く、80%を超えています。
- 居住年数別でみると「ある」の割合は「1年未満」が最も高く、80%を超えています。
- 居住地区別でみると「ある」の割合は「南大分」が最も高く、80%を超えています。

(属性別)



＜アであると回答した方＞  
 ア-① あなたは、市役所（支所等を含む）の職員の対応等について、どのように感じましたか。（該当する項目について、1つずつ選んでください）



職員の対応等について、「満足」と「やや満足」を合わせた割合でみると、「窓口対応について」が最も高くなっています。

【属性別特徴】

1. 挨拶について

- 性別でみると、「男性」は「女性」に比べて満足と感じている傾向にあります。
- 年齢別でみると、「18・19歳」と「70歳以上」が満足と感じている割合が高く、一方「30歳代」が非常に低い傾向にあります。
- 職業別でみると、「学生」は満足と感じている割合が高い傾向にあります。
- 居住年数別でみると「1年未満」は満足と感じている割合が高く、一方「1年以上5年未満」は低い傾向にあります。
- 居住地区別でみると、「野津原地区」は満足と感じている割合が最も高く、反対に「鶴崎地区」や「佐賀関地区」で満足と感じている割合が低い傾向にあります。

2. 言葉づかいについて

- 性別でみると、「男性」は「女性」に比べてやや満足と感じている割合が高くなっています。
- 年齢別でみると、「18・19歳」は満足と感じている割合が非常に高くなっています。
- 職業別でみると、「農林漁業」と「学生」は満足と感じている割合が高い傾向にあります。
- 居住年数別でみると、「1年未満」は満足と感じている割合が最も高くなっています。
- 居住地区別でみると、「野津原地区」は満足と感じている割合が最も高く、反対に「鶴崎地区」「佐賀関地区」は、低い傾向にあります。

3. 身だしなみについて

- 性別でみると、満足と感じている割合は、ほぼ同じ傾向にあります。
- 年齢別でみると、「18・19歳」は満足と感じている割合が最も高くなっています。
- 職業別でみると、「学生」は満足と感じている割合が非常に高くなっています。
- 居住年数別でみると、「1年未満」は満足と感じている割合が最も高くなっています。

- 居住地区別で見ると、「野津原地区」は満足と感じている割合が最も高く、「明野地区」と「佐賀関地区」は低い傾向にあります。

#### 4. 窓口対応について

- 性別で見ると、「男性」は「女性」に比べて満足と感じている傾向にあります。
- 年齢別で見ると、「18・19歳」「70歳以上」は満足と感じている割合が高くなっています。
- 職業別で見ると、「農林漁業」は満足と感じている割合は60.0%ですが、一方「やや不満」と感じている割合も40.0%となっています。
- 居住年数別で見ると、「1年未満」は満足を感じている割合が60%を超えています。
- 居住地区別で見ると、「野津原地区」は満足と感じている割合が最も高くなっています。

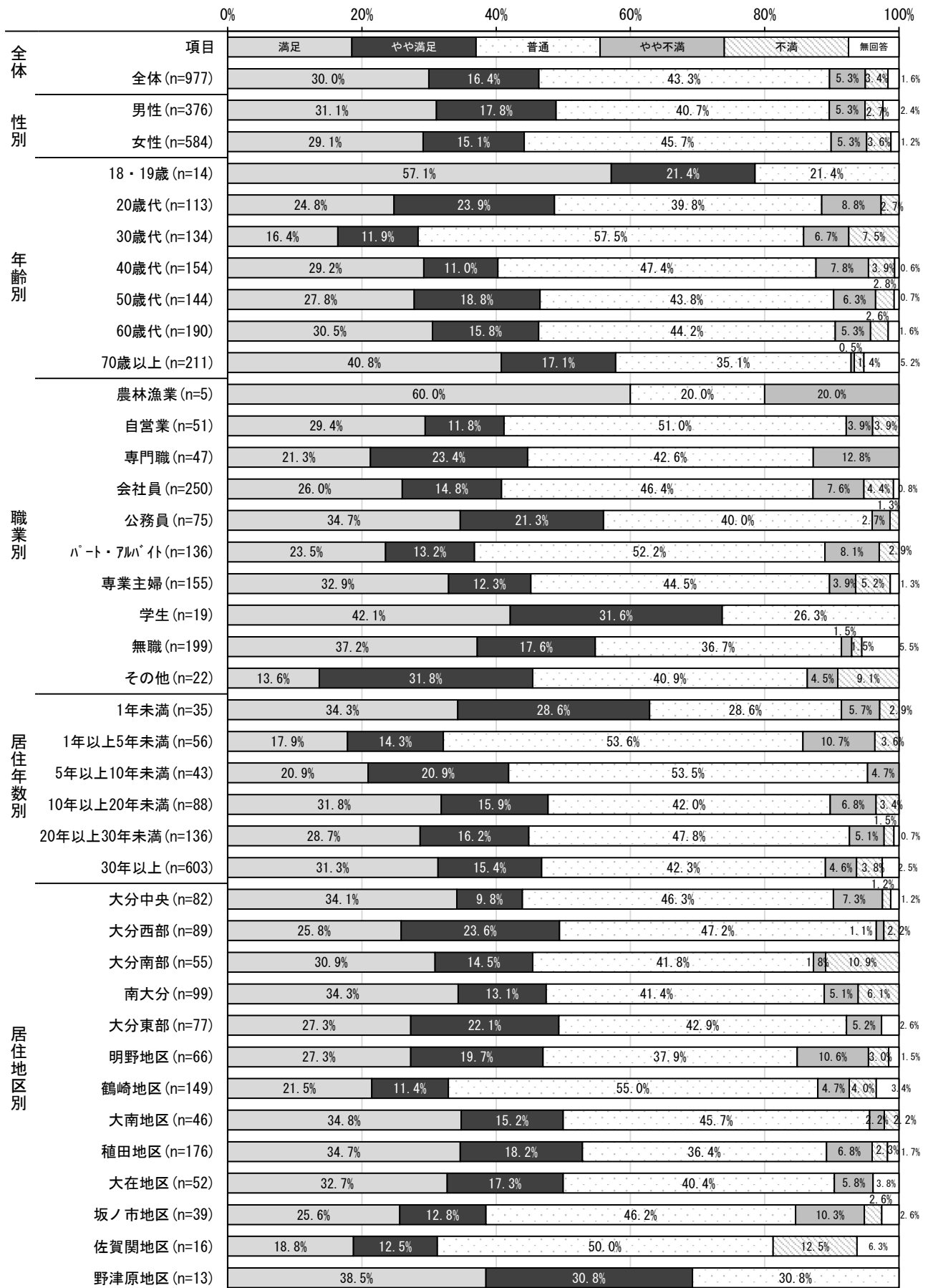
#### 5. 電話対応について

- 性別で見ると、「男性」は「女性」に比べて満足と感じている傾向があります。
- 年齢別で見ると、「30歳代」は満足と感じている割合が低くなっています。
- 職業別で見ると、「農林漁業」は特に満足と感じている割合が高くなっています。
- 居住年数別で見ると、「1年以上5年未満」は満足と感じている割合が低くなっています。
- 居住地区別で見ると、「大分南部」「明野地区」「鶴崎地区」「佐賀関地区」は満足と感じている割合が低い傾向にあります。また、「大分南部」は不満と感じている割合がおよそ20%と最も高くなっています。

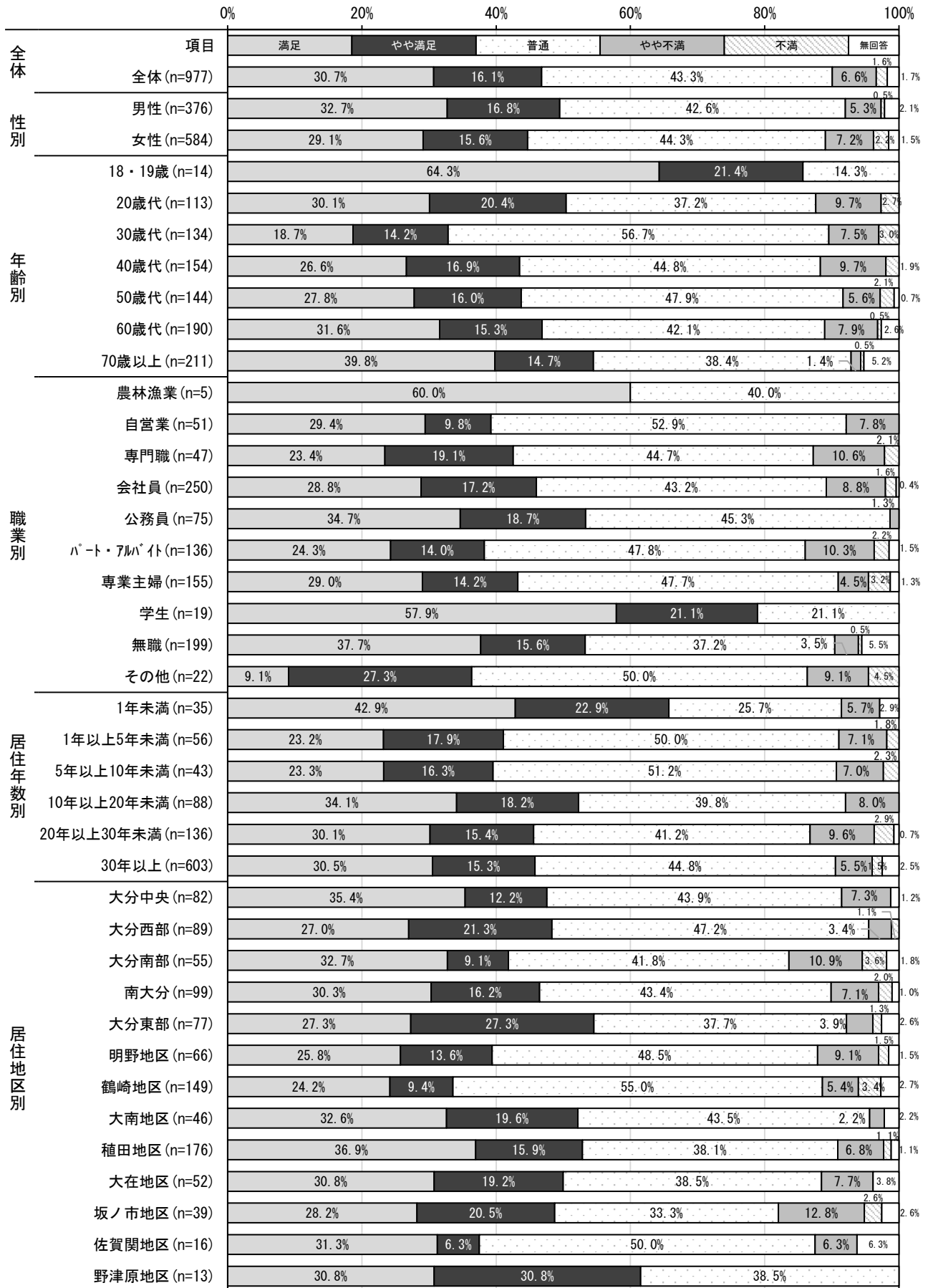
◆Ⅲ 集計結果の分析

(項目別の属性別)

1. 挨拶について

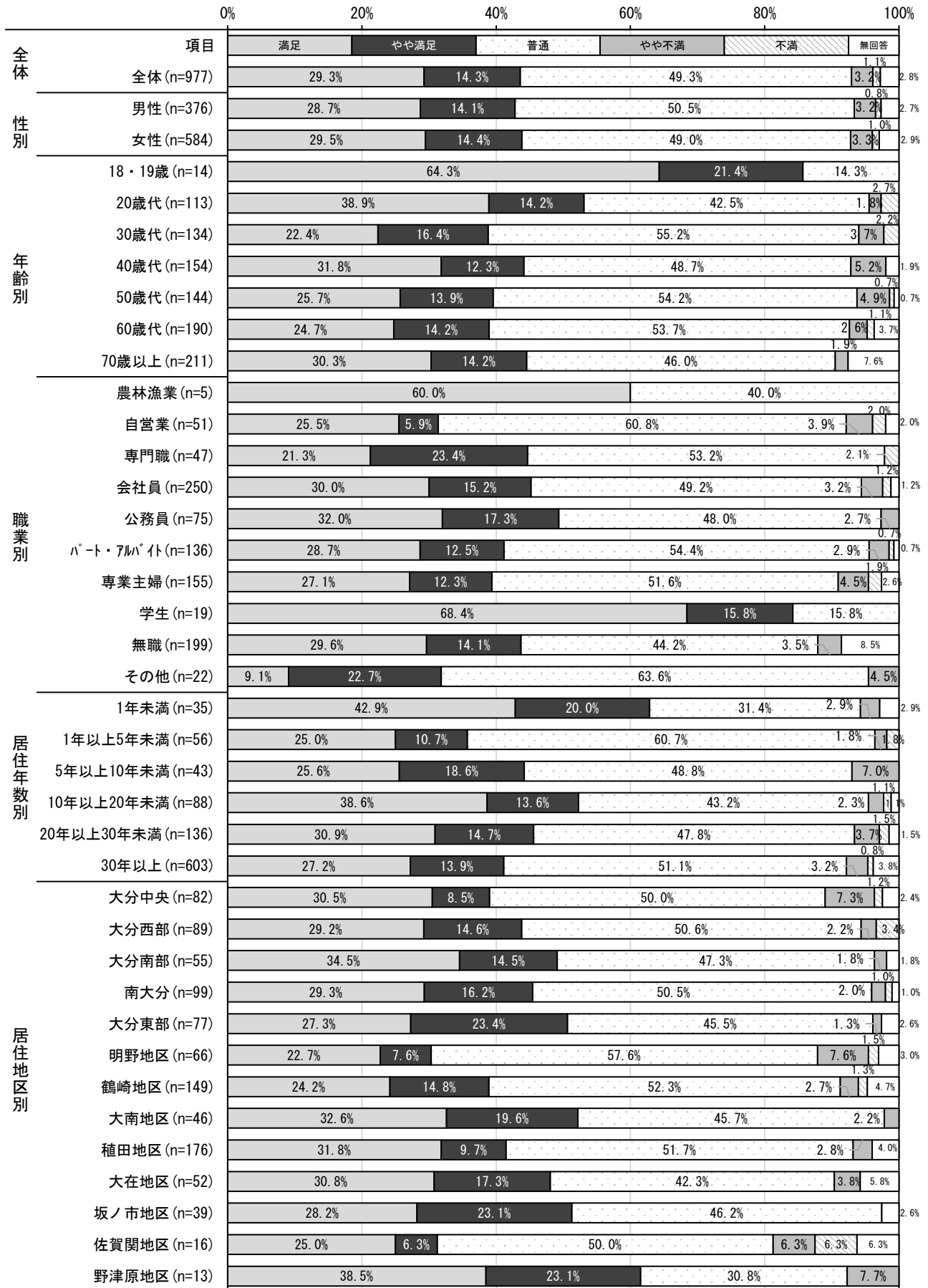


2. 言葉づかいについて

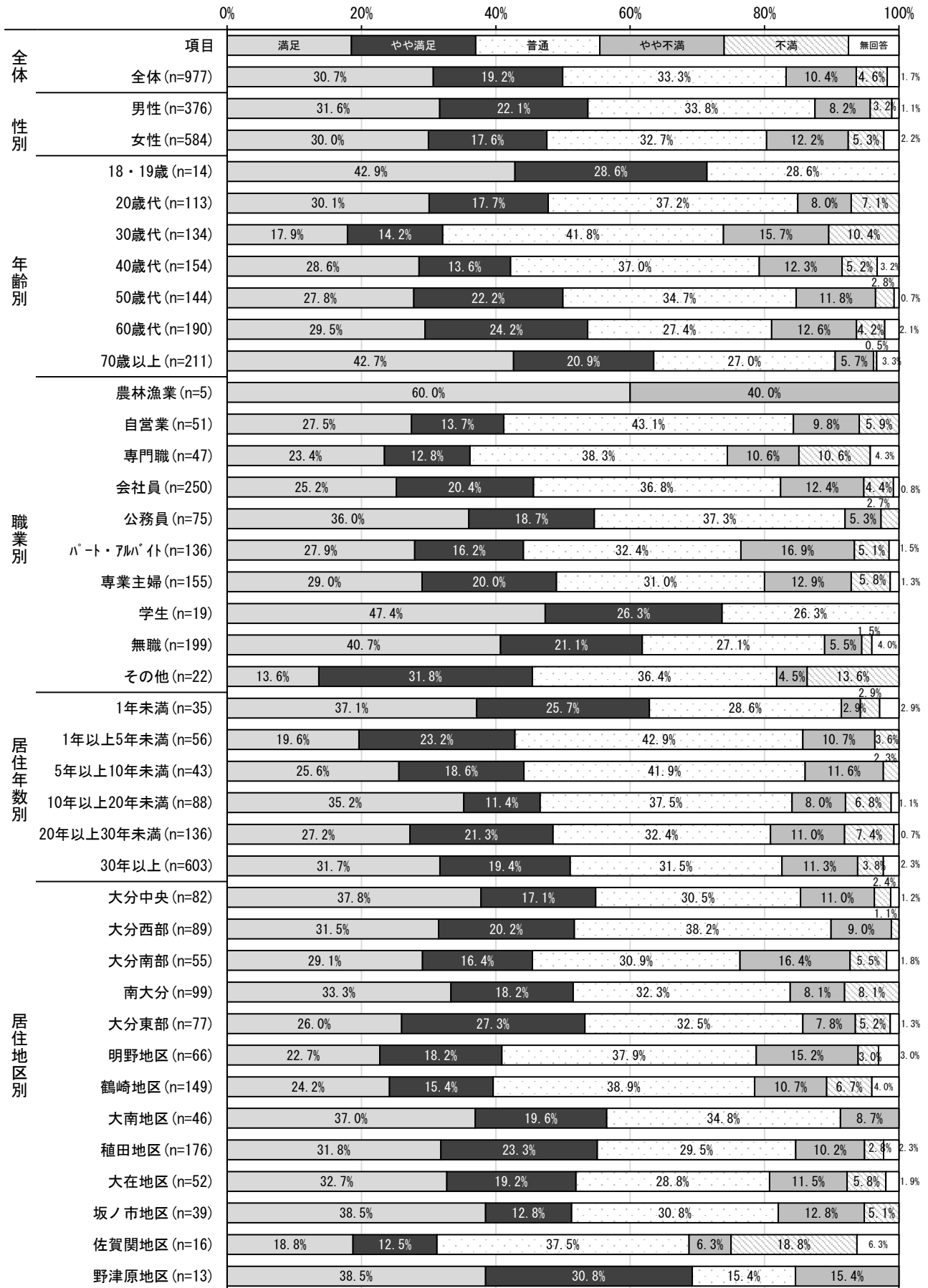


◆Ⅲ 集計結果の分析

3. 身だしなみについて



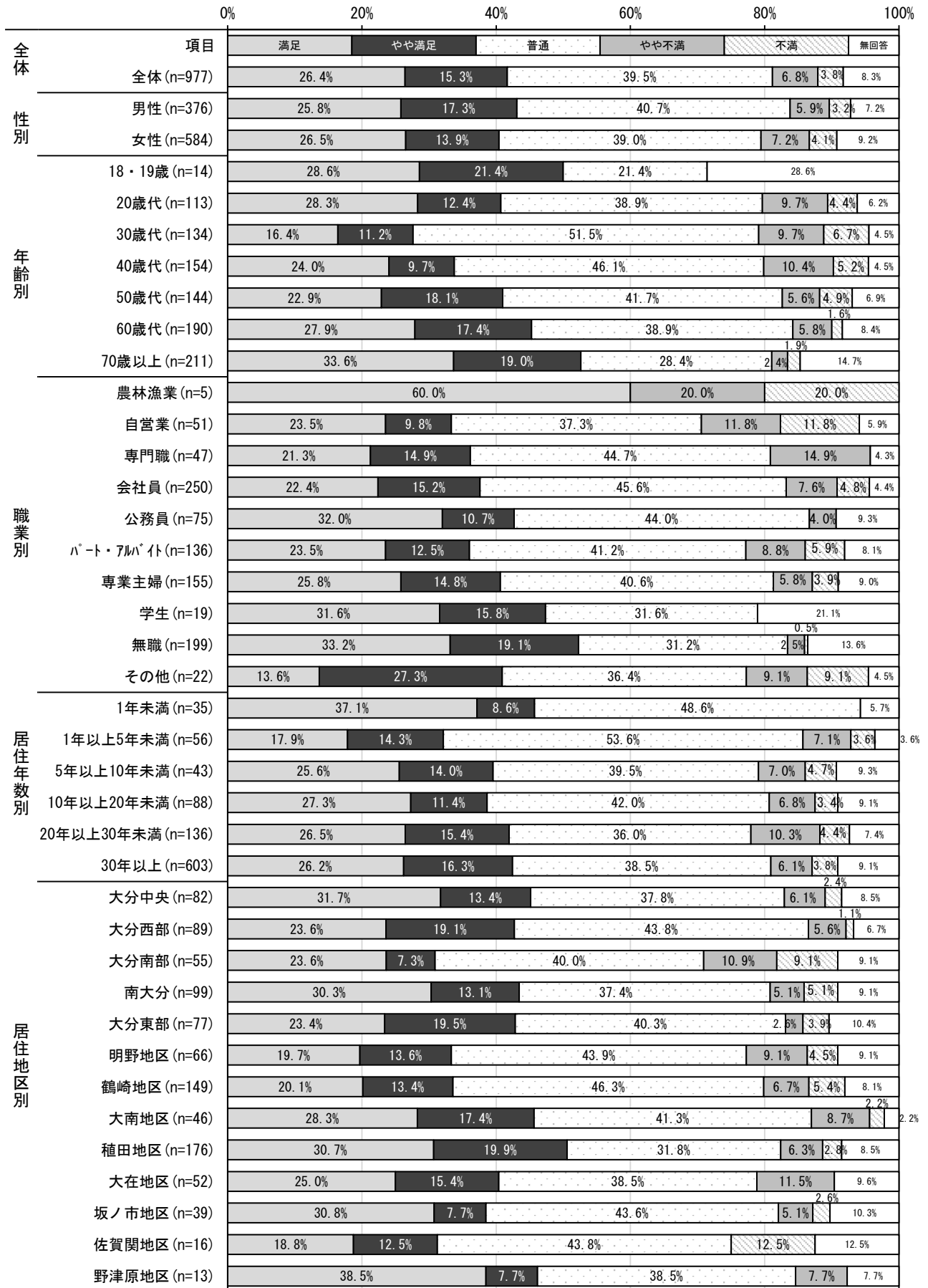
4. 窓口対応について





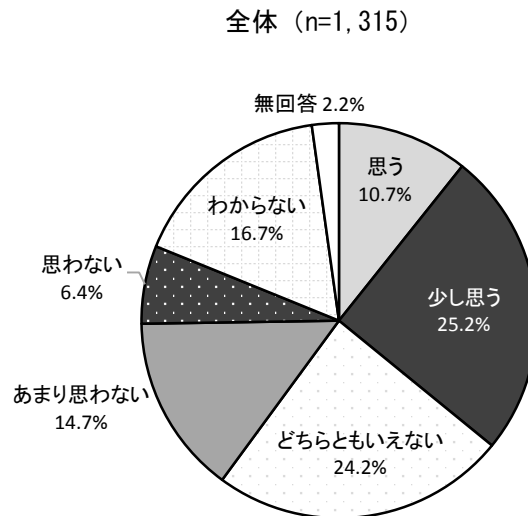
◆Ⅲ 集計結果の分析

5. 電話対応について

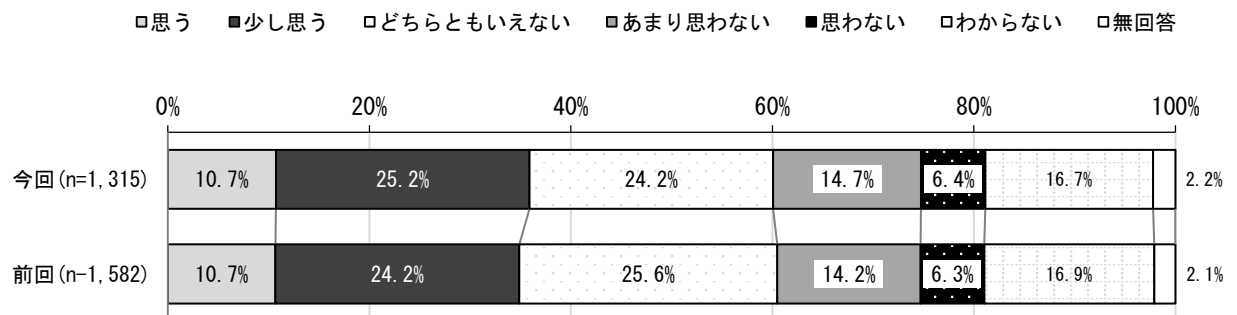


## (2) 市民のまちづくりへの参加について

ア 現在の大分市は、市民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思いますか。



## 昨年調査結果との比較



現在の大分市は市民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思うかについては、「思う」が10.7%、「少し思う」が25.2%で合計した肯定率は35.9%です。一方、「あまり思わない」が14.7%、「思わない」が6.4%で合計した否定率は21.1%です。なお、「どちらともいえない」が24.2%となっています。

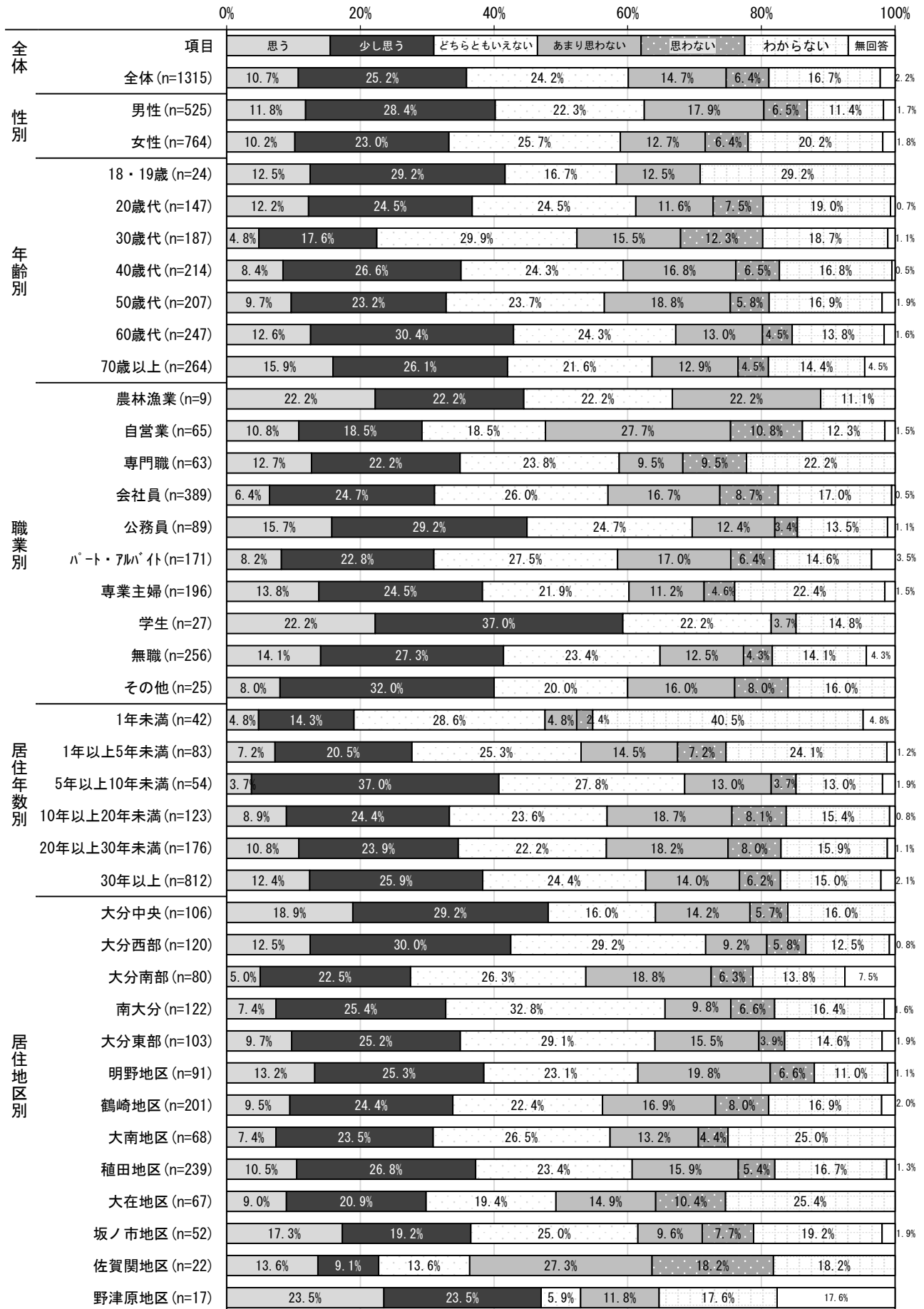
また、前回と比較すると取り組んでいると感じている割合に変化はみられません。

## 【属性別特徴】

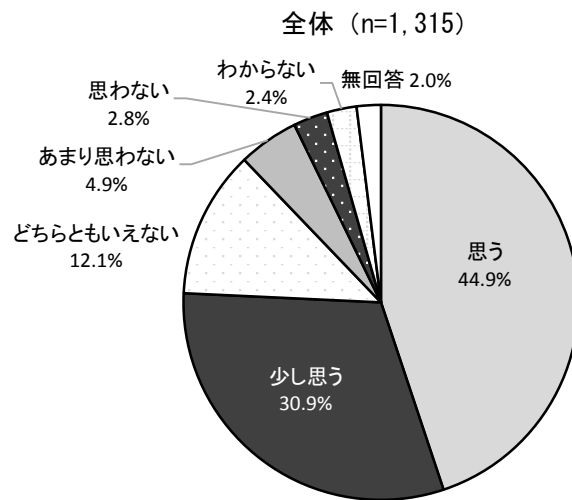
- 性別でみると否定率は「男性」がやや高い傾向にあります。
- 年齢別でみると肯定率は「60歳代」が最も高く、否定率は「30歳代」が最も高くなっています。また、若年層は「わからない」の回答率が高い傾向にあります。
- 職業別でみると「学生」は肯定率が非常に高く、次いで「公務員」「農林漁業」が高くなっています。一方「自営業」は否定率が高い傾向にあります。
- 居住年数別でみると「1年未満」は「わからない」の割合が最も高くなっています。「5年以上10年未満」は肯定率が40%を超えています。
- 居住地区別でみると「大分中央」「大分西部」「野津原地区」は肯定率が高い傾向にあり、一方、「大分南部」「明野地区」「鶴崎地区」「佐賀関地区」は否定率が高い傾向にあります。

◆Ⅲ 集計結果の分析

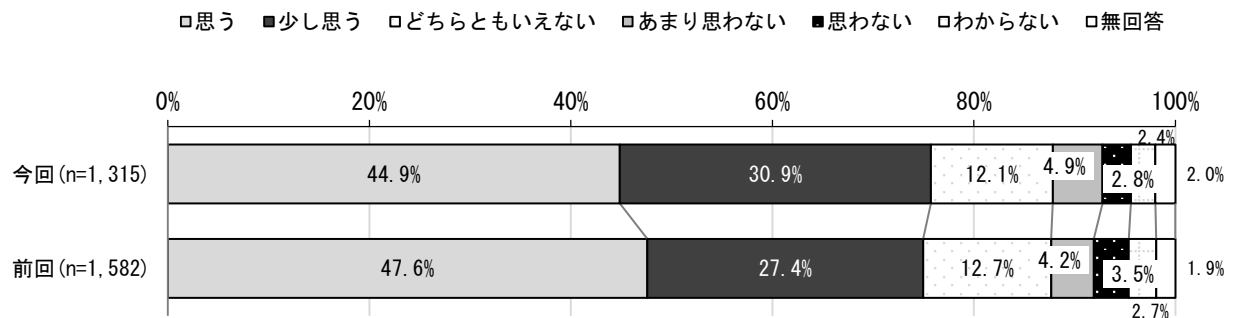
(属性別)



イ だれもが住みよいまちづくりの実現のためには、地域活動や市民活動(町内会や自治会・公民館の活動やボランティア活動など)は大切だと思いますか。



昨年調査結果との比較



だれもが住みよいまちづくりのための地域活動や市民活動の大切さについては、「思う」が44.9%、「少し思う」が30.9%、合計した肯定率は75.8%となっています。

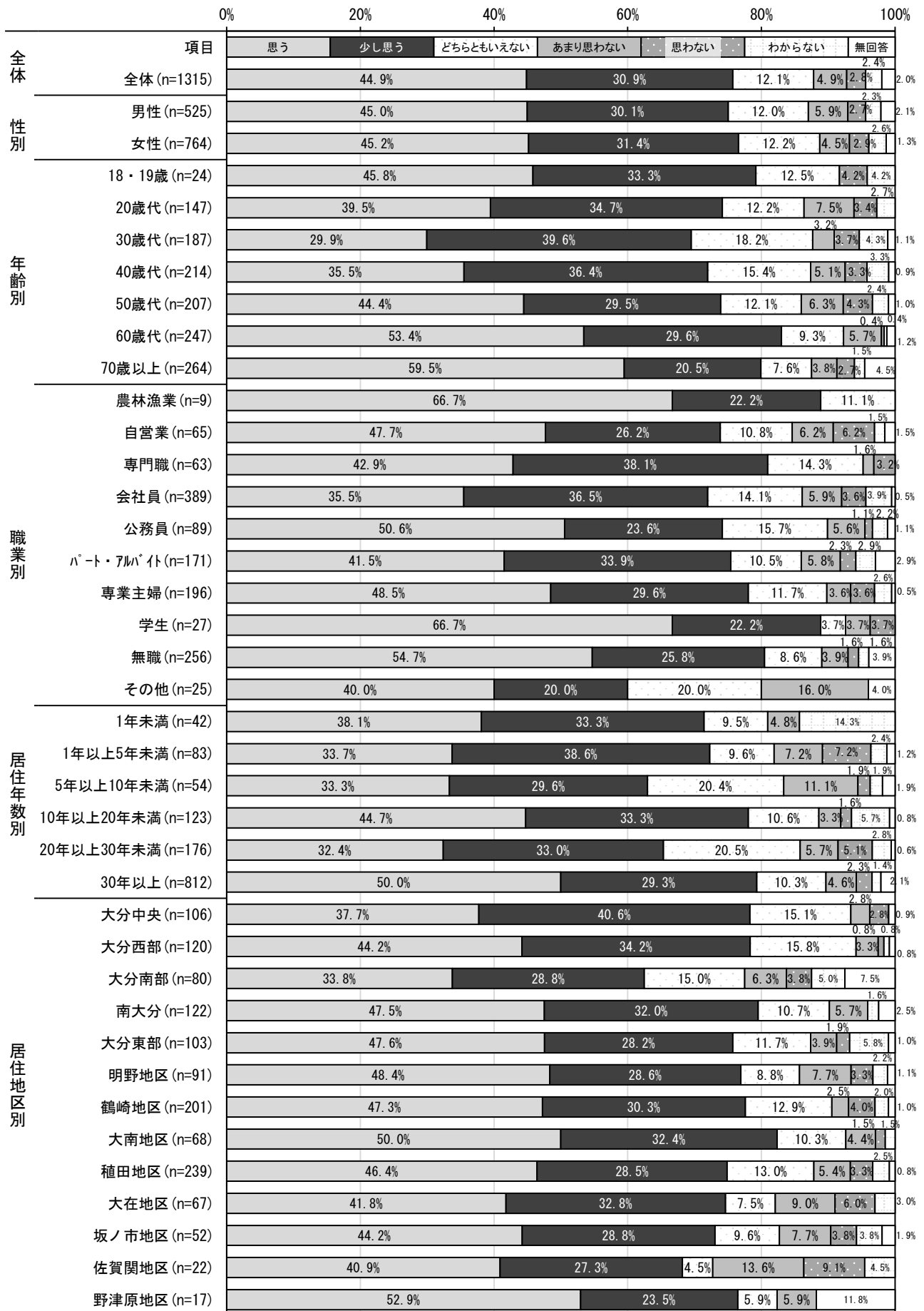
また、前回と比較すると「思う」の割合はやや低下し、「少し思う」の割合が増えています。

【属性別特徴】

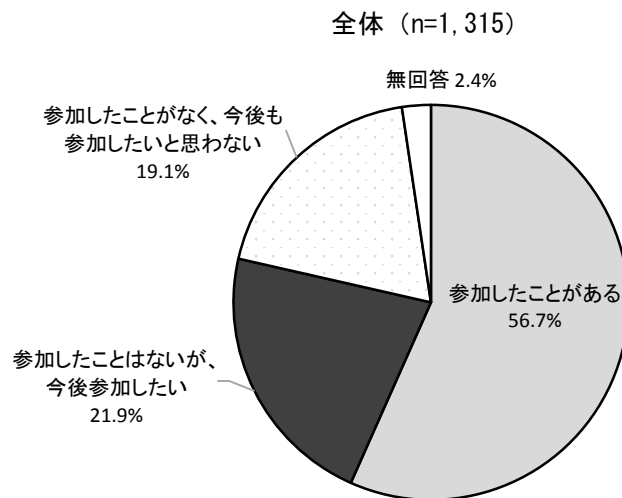
- 性別でみると項目の割合は同じ傾向にあります。
- 年齢別でみると肯定率は「60歳代」が最も高く、否定率は「20歳代」と「50歳代」が高い傾向にあります。
- 職業別でみると肯定率は「農林漁業」と「学生」が最も高くなっています。一方「自営業」「その他」は否定率が他の職業に比べやや高い傾向にあります。
- 居住年数別でみると肯定率は「30年以上」が最も高くなっています。
- 居住地区別でみると肯定率は「大南地区」が80%を超えています。一方否定率は「佐賀関地区」が20%を超えています。

◆Ⅲ 集計結果の分析

(属性別)



## ウ 今まで地域活動や市民活動に参加したことがありますか。



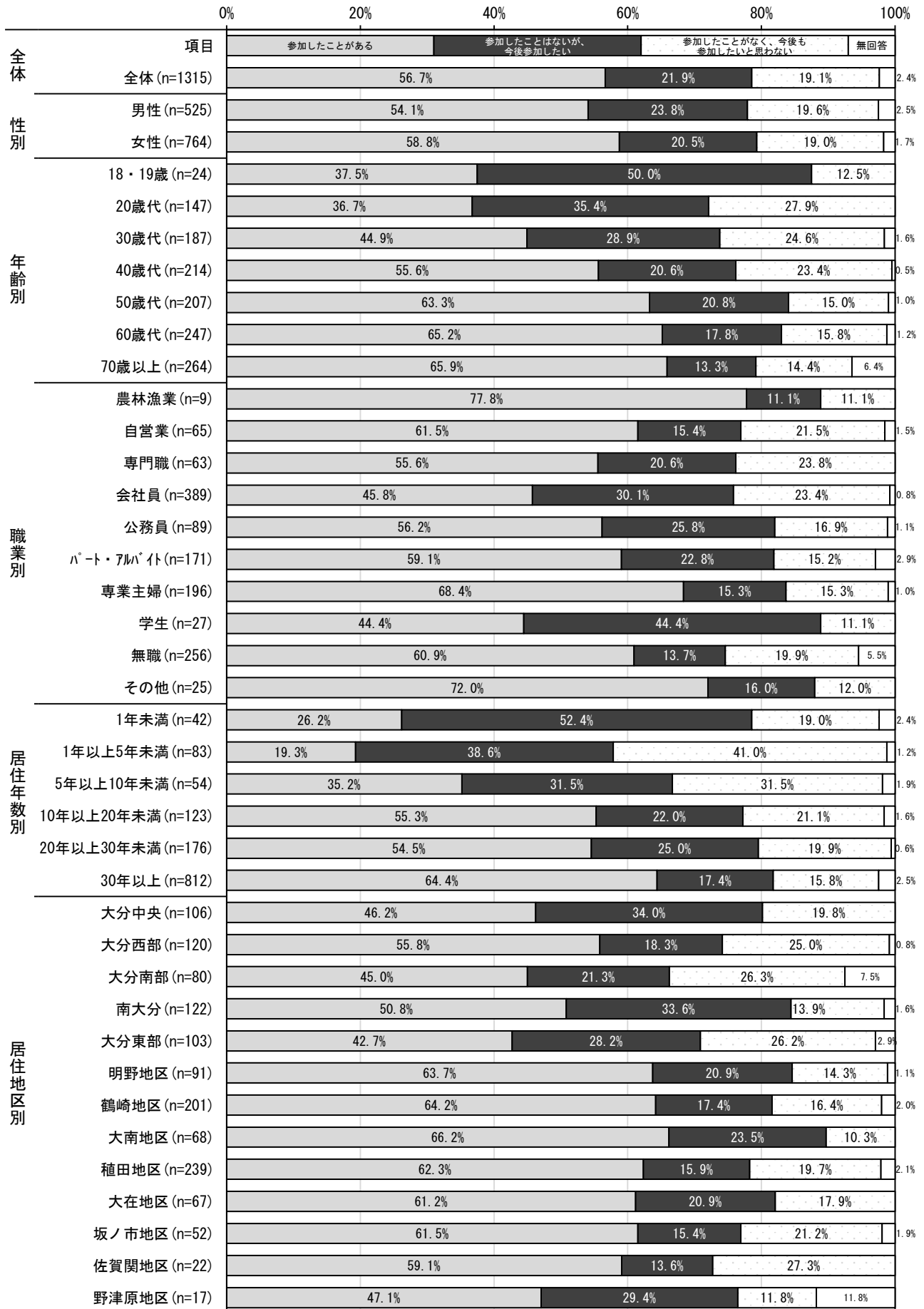
今まで地域活動や市民活動に参加したことがあるかについては、「参加したことがある」が56.7%と半数を超え、「参加したことはないが、今度参加したい」と合わせると8割近くになります。

## 【属性別特徴】

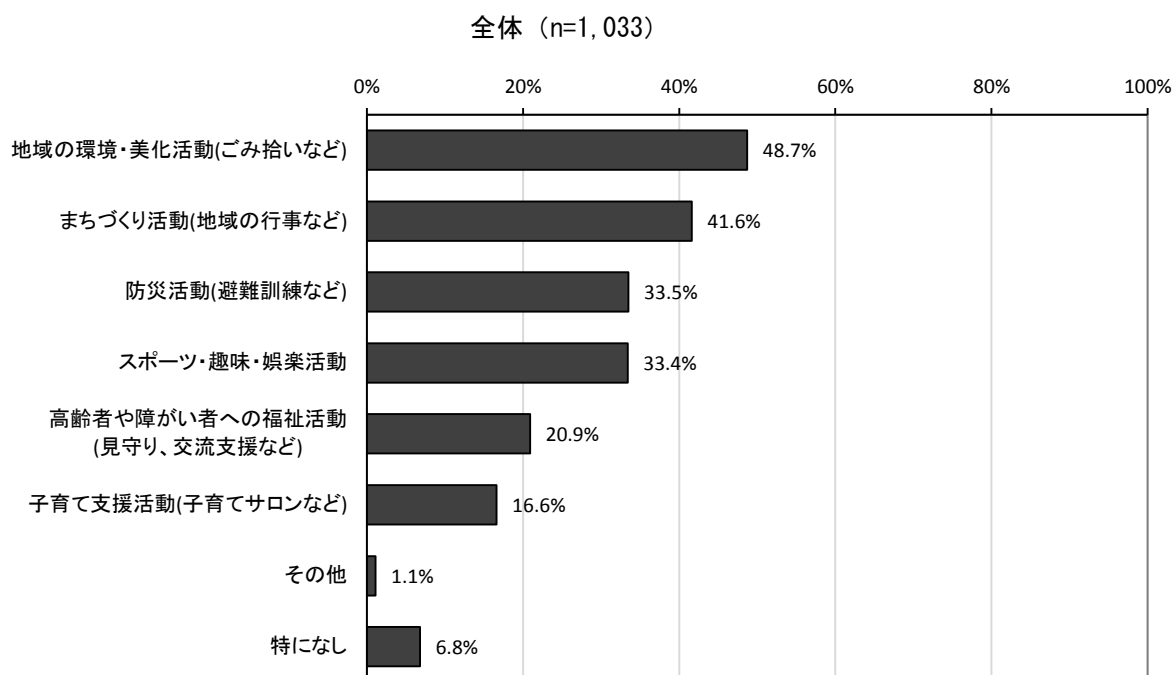
- 性別でみると項目の割合は同じ傾向にあります。
- 年齢別でみると「参加したことがある」は「70歳以上」が最も高くなっています。「18・19歳」は「参加したことがある」は37.5%ですが、「参加したことはないが、今後参加したい」と合わせると87.5%と非常に高くなっています。
- 職業別でみると「参加したことがある」は「農林漁業」が最も高く、次いで「その他」となっています。
- 居住年数別でみると「参加したことがある」は「30年以上」が最も高く、「1年以上5年未満」が最も低くなっています。
- 居住地区別でみると「参加したことがある」は「大南地区」が最も高く、次いで「鶴崎地区」「明野地区」となっています。「参加したことがある」と「参加したことはないが、今後参加したい」を合わせると「大南地区」が最も高く、次いで「明野地区」「南大分」となっています。

◆Ⅲ 集計結果の分析

(属性別)



ウ-1 今後どのような地域活動に参加したいですか。  
※「参加したことがある」あるいは「参加したことはないが、今後参加したい」と回答した方のみ



「参加したことがある」あるいは「参加したことはないが、今後参加したい」と回答した方が今後参加したい地域活動について、「地域の環境・美化活動（ごみ拾いなど）」の割合が最も高くなっています。

【属性別特徴】

- 性別でみると男女ともに「地域の環境・美化活動（ごみ拾いなど）」の割合が最も高くなっています。
- 年齢別でみると「18・19歳」「40歳代以上」は「地域の環境・美化活動（ごみ拾いなど）」、「20歳代」は「スポーツ・趣味・娯楽活動」、「30歳代」は「まちづくり活動(地域の行事など)」の割合が最も高くなっています。
- 職業別でみると「農林漁業」は「スポーツ・趣味・娯楽活動」と「防災活動(避難訓練など)」、「自営業」は「まちづくり活動(地域の行事など)」と「地域の環境・美化活動(ごみ拾いなど)」、「専門職」は「まちづくり活動(地域の行事など)」、それ以外の職業では「地域の環境・美化活動(ごみ拾いなど)」の割合が最も高くなっています。
- 居住年数別でみると「1年未満」は「スポーツ・趣味・娯楽活動」、「1年以上5年未満」は「まちづくり活動(地域の行事など)」、「5年以上」は「地域の環境・美化活動(ごみ拾いなど)」の割合が最も高くなっています。また、「10～20年」は「スポーツ・趣味・娯楽活動」も同率で高くなっています。
- 居住地区別でみると「野津原地区」は「まちづくり活動(地域の行事など)」、その他の地区は「地域の環境・美化活動(ごみ拾いなど)」の割合が最も高くなっています。

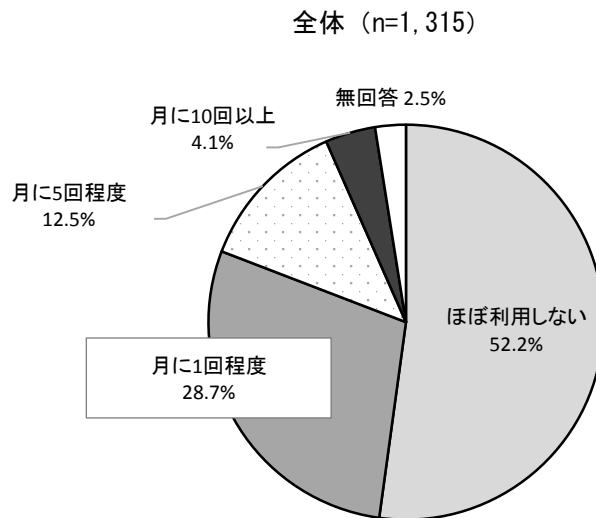


## (属性別)

※サンプル数は数 ※項目は%		サンプル数	まちづくり活動(地域の行事など)	地域の環境・美化活動(み拾いなど)	スポーツ・趣味・娯楽活動	子育て支援活動(子育てサロンなど)	高齢者や障がい者への福祉活動(見守り、交流支援など)	防災活動(避難訓練など)	その他	特になし
全体		1,033	41.6	48.7	33.4	16.6	20.9	33.5	1.1	6.8
性別	男	409	44.5	53.5	36.9	10.0	18.8	35.5	1.2	6.4
	女	606	39.8	46.4	31.2	21.0	22.4	32.2	1.0	6.8
年齢別	18・19歳	21	23.8	47.6	42.9	0.0	28.6	19.0	4.8	9.5
	20歳代	106	37.7	42.5	47.2	31.1	21.7	17.0	0.0	3.8
	30歳代	138	48.6	46.4	46.4	38.4	16.7	31.2	0.7	3.6
	40歳代	163	41.7	45.4	35.0	20.2	17.8	38.0	0.6	4.9
	50歳代	174	44.8	53.4	33.9	13.2	19.5	37.9	1.1	8.0
	60歳代	205	41.0	58.0	21.5	7.8	23.4	40.5	0.0	5.9
	70歳以上	209	39.2	45.5	26.8	4.8	23.9	30.6	2.9	11.0
職業別	農林漁業	8	25.0	37.5	50.0	25.0	37.5	50.0	12.5	25.0
	自営業	50	54.0	54.0	28.0	10.0	18.0	36.0	2.0	2.0
	専門職	48	45.8	33.3	33.3	27.1	27.1	25.0	2.1	4.2
	会社員	295	39.7	44.7	37.3	18.0	19.0	29.5	0.3	5.1
	公務員	73	53.4	65.8	39.7	20.5	17.8	50.7	1.4	2.7
	パート	140	34.3	47.9	32.1	15.7	19.3	35.0	0.7	6.4
	専業主婦	164	46.3	48.2	31.1	25.0	19.5	39.0	0.6	6.7
	学生	24	37.5	66.7	50.0	8.3	20.8	20.8	4.2	4.2
	無職	191	38.7	51.3	27.2	5.8	25.1	29.8	1.6	12.0
	その他	22	45.5	59.1	27.3	13.6	31.8	27.3	0.0	9.1
居住年数別	1年未満	33	27.3	24.2	57.6	21.2	33.3	24.2	0.0	6.1
	1～5年	48	43.8	50.0	41.7	35.4	29.2	22.9	2.1	4.2
	5～10年	36	36.1	52.8	38.9	13.9	27.8	41.7	0.0	5.6
	10～20年	95	42.1	47.4	47.4	12.6	14.7	31.6	1.1	2.1
	20～30年	140	36.4	47.1	32.1	25.7	15.7	31.4	0.7	5.7
	30年以上	664	43.7	50.8	29.7	13.7	21.4	34.9	1.2	7.8
居住地区別	大分中央	85	43.5	47.1	42.4	15.3	23.5	42.4	0.0	3.5
	大分西部	89	44.9	51.7	28.1	14.6	11.2	39.3	0.0	3.4
	大分南部	53	34.0	41.5	35.8	15.1	24.5	32.1	0.0	9.4
	南大分	103	37.9	39.8	26.2	13.6	28.2	29.1	1.9	5.8
	大分東部	73	39.7	54.8	34.2	24.7	20.5	38.4	4.1	4.1
	明野地区	77	40.3	51.9	46.8	16.9	19.5	31.2	1.3	6.5
	鶴崎地区	164	38.4	48.2	34.1	14.6	18.9	29.3	0.6	5.5
	大南地区	61	52.5	54.1	34.4	13.1	23.0	32.8	3.3	6.6
	植田地区	187	43.9	52.9	32.1	19.3	20.3	33.7	0.5	8.6
	大在地区	55	43.6	45.5	27.3	16.4	25.5	30.9	0.0	7.3
	坂ノ市地区	40	35.0	47.5	27.5	20.0	17.5	25.0	0.0	15.0
	佐賀関地区	16	50.0	62.5	31.3	18.8	18.8	50.0	6.3	18.8
	野津原地区	13	53.8	38.5	30.8	7.7	30.8	30.8	0.0	7.7

## (3) 公共施設の整備・管理運営について

ア あなたは普段、どの程度公共施設を利用していますか。(1つだけ選んでください)



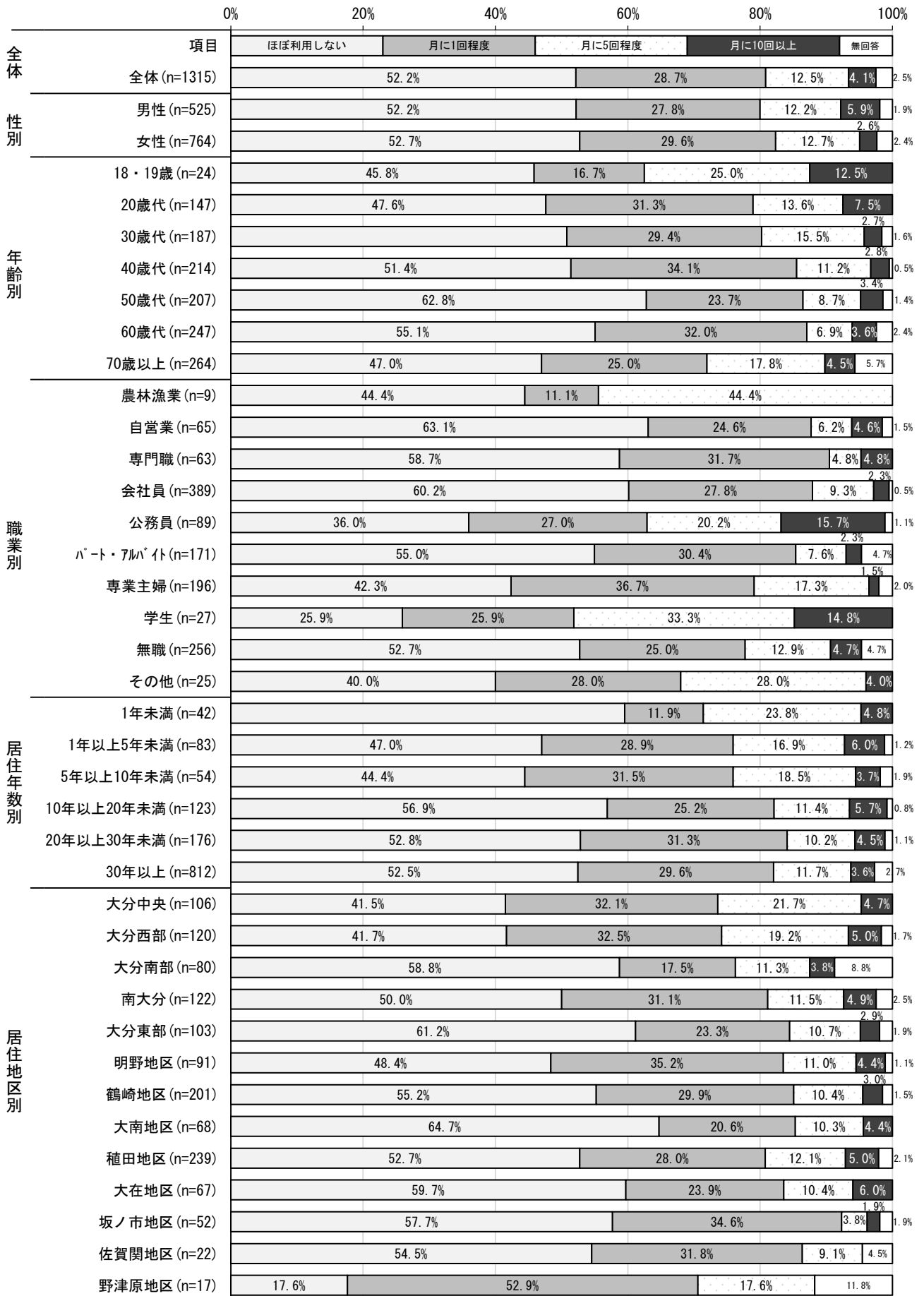
公共施設の利用度は、「ほぼ利用しない」が半数を占めています。

## 【属性別特徴】

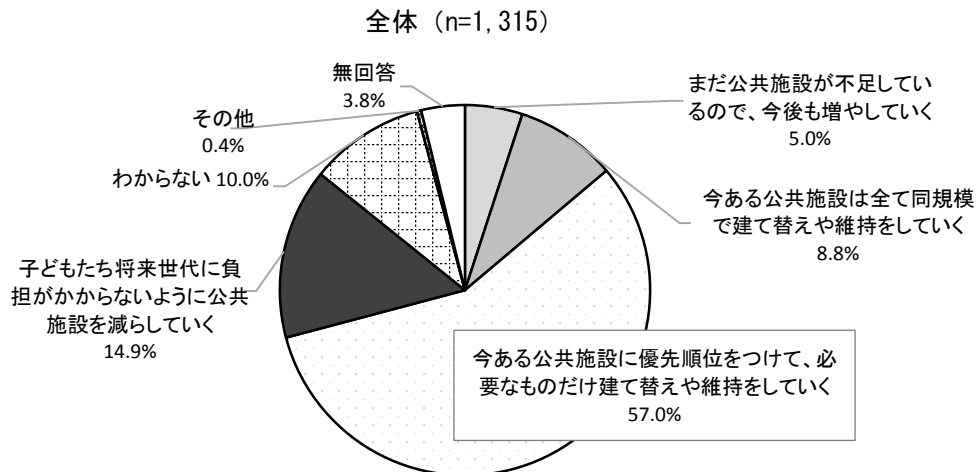
- 性別で見ると「ほぼ利用しない」の割合は男女ともに半数を占めています。
- 年齢別で見ると「ほぼ利用しない」の割合は「50歳代」が最も高く、一方、利用している割合は「18・19歳」が最も高くなっています。
- 職業別で見ると「ほぼ利用しない」の割合は「自営業」が最も高く、一方、利用している割合は「学生」が最も高くなっています。
- 居住年数別で見ると「ほぼ利用しない」の割合は「1年未満」が最も高く、一方、利用している割合は「5年以上10年未満」が最も高くなっています。
- 居住地区別で見ると「ほぼ利用しない」の割合は「大南地区」が最も高く、一方、利用している割合は「野津原地区」が最も高くなっています。

◆Ⅲ 集計結果の分析

(属性別)



イ 今後、公共施設の整備や維持管理をどのように進めていくべきか、「公共施設の利用者」としてのあなたの考えに最も近いのは次のうちどれですか。(1つだけ選んでください)



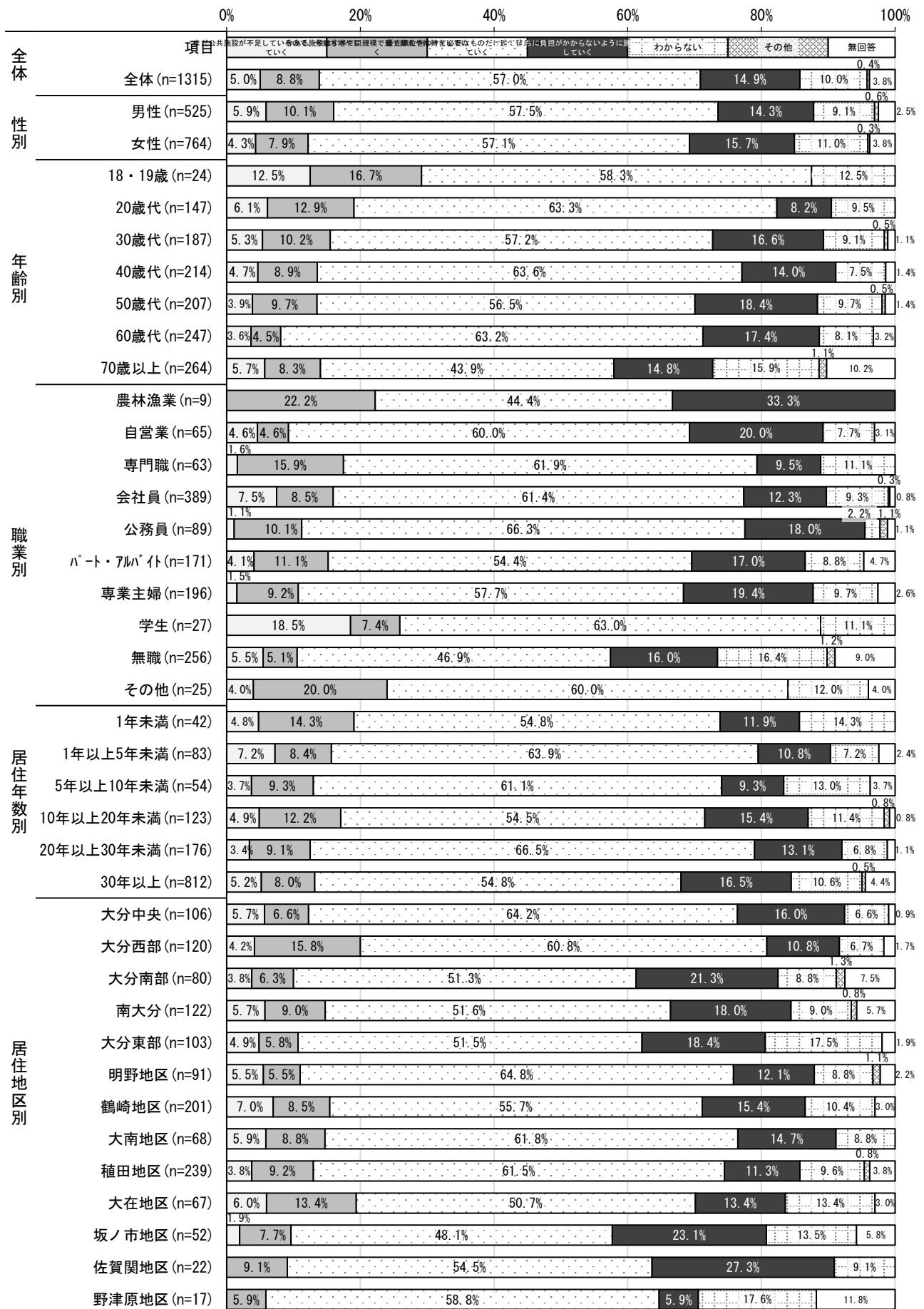
今後、公共施設の整備や維持管理をどのように進めていくべきか、「公共施設の利用者」としての考えは、「今ある公共施設に優先順位をつけて、必要なものだけ建て替えや維持をしていく」の割合が最も高くなっています。

#### 【属性別特徴】

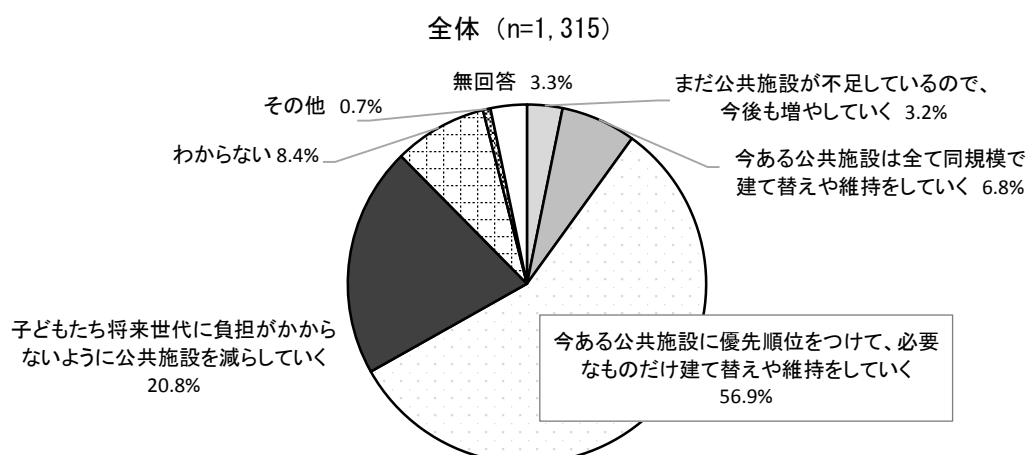
- 性別でみると「今ある公共施設に優先順位をつけて、必要なものだけ建て替えや維持をしていく」の割合は男女ともに半数以上を占めています。
- 年齢別でみると「今ある公共施設に優先順位をつけて、必要なものだけ建て替えや維持をしていく」の割合は「40歳代」が最も高くなっています。
- 職業別でみると「今ある公共施設に優先順位をつけて、必要なものだけ建て替えや維持をしていく」の割合は「公務員」が最も高くなっています。一方、「子どもたち将来世代に負担がかからないように公共施設を減らしていく」と回答した割合が高いのは「農林漁業」、「自営業」、「専業主婦」の順となっています。
- 居住年数別でみると「今ある公共施設に優先順位をつけて、必要なものだけ建て替えや維持をしていく」の割合は「20年以上30年未満」が最も高くなっています。
- 居住地区別でみると「今ある公共施設に優先順位をつけて、必要なものだけ建て替えや維持をしていく」の割合は「明野地区」が最も高く、次いで「大分中央」なっています。一方、「子どもたち将来世代に負担がかからないように公共施設を減らしていく」と回答した割合が高いのは「佐賀関地区」、「坂ノ市地区」、「大分南部」の順となっています。

◆Ⅲ 集計結果の分析

(属性別)



ウ 今後、公共施設の整備や維持管理をどのように進めていくべきか、「納税者」としてのあなたの考えに最も近いのは次のうちどれですか。(1つだけ選んでください)



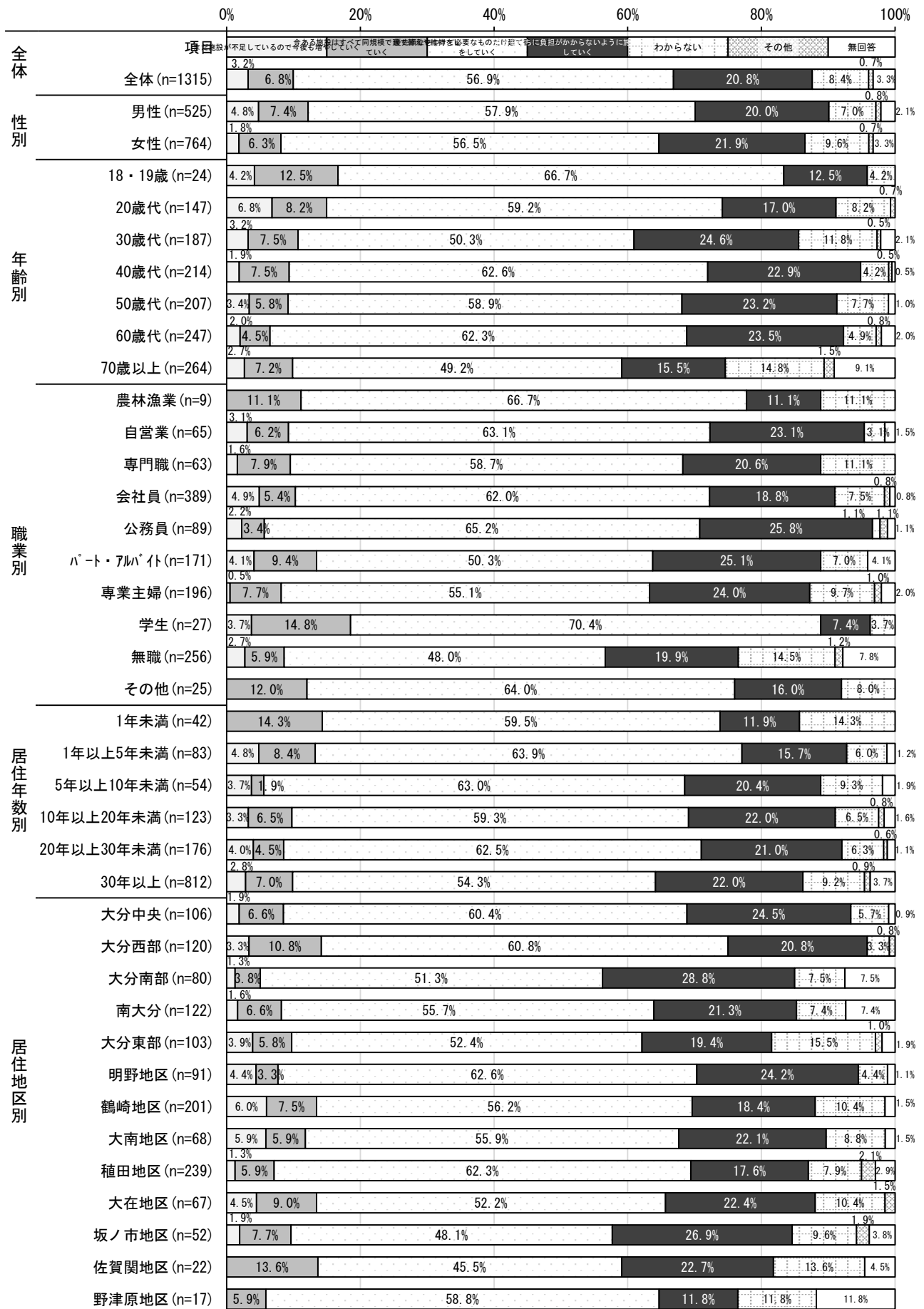
今後、公共施設の整備や維持管理をどのように進めていくべきか、「納税者」としての考えは、「今ある公共施設に優先順位をつけて、必要なものだけ建て替えや維持をしていく」の割合が最も高くなっています。

#### 【属性別特徴】

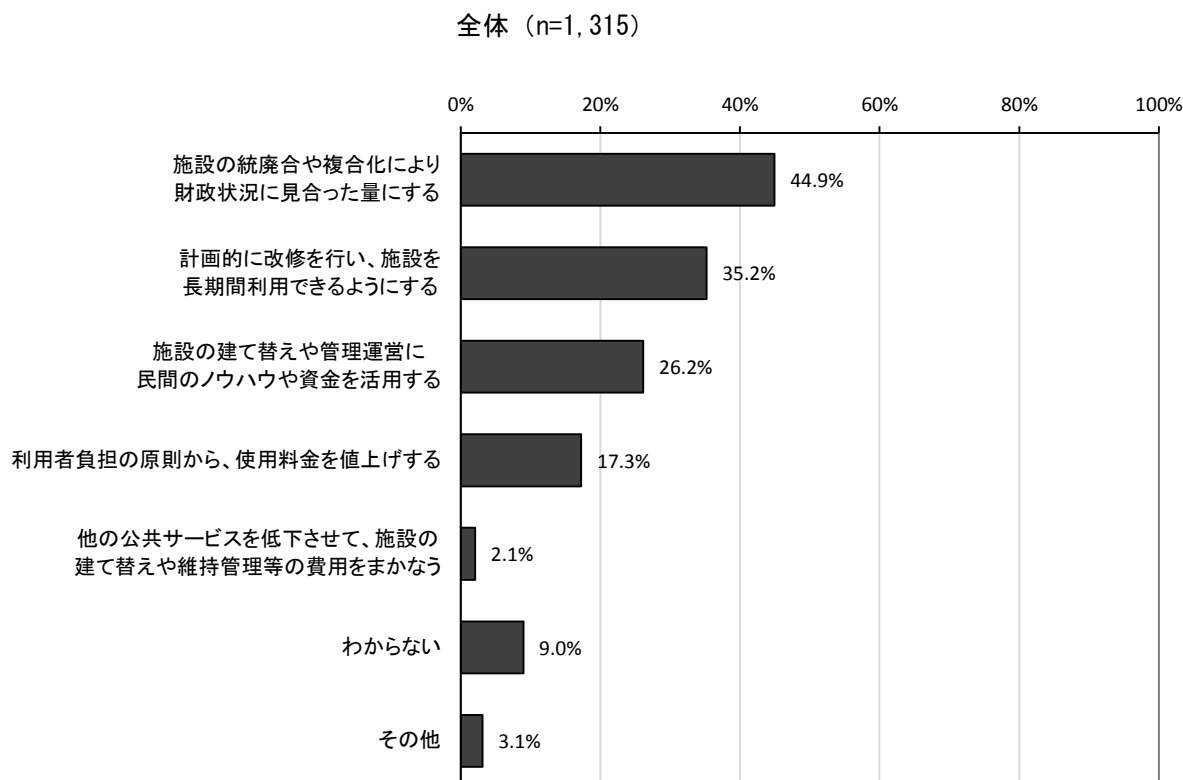
- 性別でみると「今ある公共施設に優先順位をつけて、必要なものだけ建て替えや維持をしていく」の割合は男女ともに半数以上を占めています。
- 年齢別でみると「今ある公共施設に優先順位をつけて、必要なものだけ建て替えや維持をしていく」の割合は「18・19歳」が最も高くなっています。
- 職業別でみると「今ある公共施設に優先順位をつけて、必要なものだけ建て替えや維持をしていく」の割合は「学生」が最も高く、次いで「農林漁業」、「公務員」となっています。一方、「子どもたち将来世代に負担がかからないように公共施設を減らしていく」と回答した割合が高いのは「公務員」、「パート・アルバイト」の順となっています。
- 居住年数別でみると「今ある公共施設に優先順位をつけて、必要なものだけ建て替えや維持をしていく」の割合は「1年以上5年未満」が最も高くなっています。
- 居住地区別でみると「今ある公共施設に優先順位をつけて、必要なものだけ建て替えや維持をしていく」の割合は「明野地区」が最も高く、次いで「植田地区」となっています。一方、「子どもたち将来世代に負担がかからないように公共施設を減らしていく」と回答した割合が最も高いのは「大分南部」となっています。

◆Ⅲ 集計結果の分析

(属性別)



**エ 公共施設の建て替えや維持管理に必要な費用が不足する場合にどのようにすべきと思いますか。(複数回答可)**



その他の主な意見	
必要のないもの、利用頻度の低いものは減らしていく	9人
公務員や議員の給与、人数を減らす	7人
寄附やクラウドファンディング	4人

公共施設の建て替えや維持管理に必要な費用が不足する場合にどのようにすべきかについて、「施設の統廃合や複合化により財政状況に見合った量にする」の割合が最も高くなっています。

**【属性別特徴】**

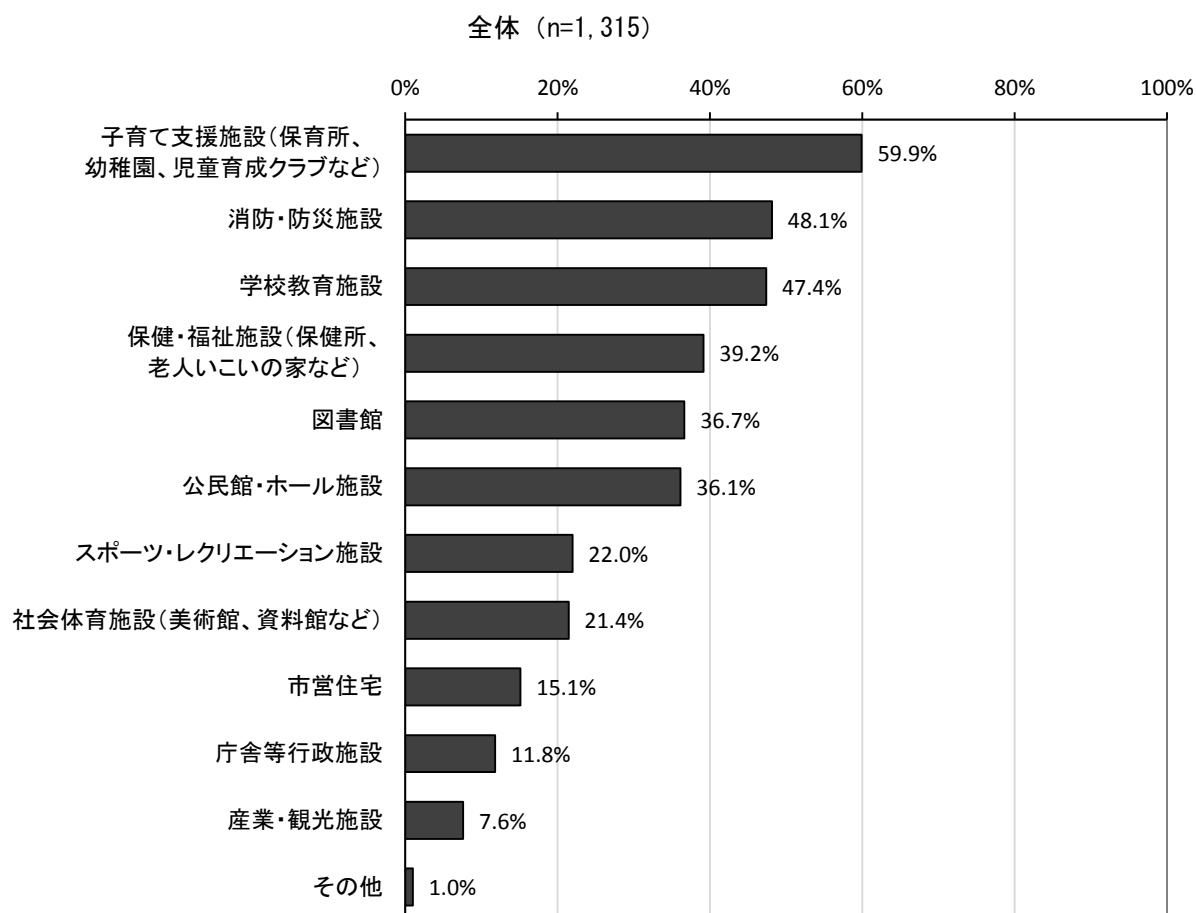
- 性別でみると「施設の統廃合や複合化により財政状況に見合った量にする」の割合が、男女ともに高くなっています。
- 年齢別でみると「施設の統廃合や複合化により財政状況に見合った量にする」の割合は「30歳代」が最も高くなっています。また、「18・19歳」「70歳以上」では「計画的に改修を行い、施設を長期利用できるようにする」の割合も高くなっています。
- 職業別でみると「施設の統廃合や複合化により財政状況に見合った量にする」の割合は「学生」が最も高く、次いで「公務員」となっています。また、「計画的に改修を行い、施設を長期利用できるようにする」の割合においても「学生」が最も高くなっています。
- 居住年数別でみると「施設の統廃合や複合化により財政状況に見合った量にする」の割合は「20年以上30年未満」が最も高くなっています。
- 居住地区別でみると「施設の統廃合や複合化により財政状況に見合った量にする」の割合は「大分中央地区」が最も高く、次いで「大分東部」となっています。また、「計画的に改修を行い、施設を長期利用できるようにする」の割合は「鶴崎地区」が最も高くなっています。



(属性別)

※サンプル数は数 ※項目は%		サンプル数	施設の統廃合や複合化により 財政状況に見合った量にする	長期間利用できるようにする 計画的に改修を行い、施設を	民間のノウハウや資金を活用する 施設の建て替えや管理運営に	利用者負担の原則から、使用料金を値上げする	他の公共サービスを低下させて、施設の 建て替えや維持管理等の費用をまかなう	わからない	その他
全体		1,315	44.9	35.2	26.2	17.3	2.1	9.0	3.1
性別	男	525	45.9	34.7	29.7	22.5	2.1	8.0	2.7
	女	764	45.4	35.7	23.8	13.6	2.1	9.8	3.4
年齢別	18・19歳	24	41.7	41.7	16.7	12.5	0.0	8.3	4.2
	20歳代	147	49.0	39.5	23.1	14.3	2.7	8.2	2.7
	30歳代	187	51.3	28.3	27.8	17.1	2.7	11.8	5.3
	40歳代	214	43.9	35.5	25.7	16.8	1.4	9.3	5.6
	50歳代	207	47.3	32.4	32.9	22.2	1.4	5.8	1.9
	60歳代	247	47.4	35.6	29.1	19.8	2.4	6.1	0.8
	70歳以上	264	37.9	38.6	20.1	14.0	2.3	12.9	3.0
職業別	農林漁業	9	44.4	44.4	33.3	11.1	0.0	22.2	0.0
	自営業	65	40.0	38.5	27.7	23.1	1.5	6.2	4.6
	専門職	63	42.9	36.5	28.6	11.1	3.2	19.0	1.6
	会社員	389	47.0	32.4	32.6	19.8	3.1	6.9	3.6
	公務員	89	51.7	40.4	27.0	28.1	1.1	3.4	3.4
	パート	171	40.9	32.2	21.6	13.5	1.8	12.3	3.5
	専業主婦	196	51.0	35.7	21.4	14.3	1.0	5.1	3.6
	学生	27	51.9	55.6	25.9	7.4	0.0	7.4	3.7
	無職	256	41.4	34.0	21.1	14.8	2.0	13.3	2.0
	その他	25	44.0	52.0	24.0	28.0	4.0	8.0	4.0
居住年数別	1年未満	42	45.2	26.2	19.0	14.3	2.4	19.0	0.0
	1～5年	83	48.2	44.6	21.7	15.7	2.4	6.0	4.8
	5～10年	54	46.3	35.2	33.3	16.7	1.9	9.3	3.7
	10～20年	123	35.0	33.3	27.6	17.9	1.6	12.2	6.5
	20～30年	176	52.3	34.1	26.7	14.2	4.0	6.8	2.8
	30年以上	812	45.4	35.3	26.2	18.3	1.7	8.7	2.7
居住地区別	大分中央	106	57.5	34.0	24.5	11.3	4.7	3.8	3.8
	大分西部	120	45.0	37.5	31.7	14.2	0.8	7.5	6.7
	大分南部	80	41.3	27.5	27.5	20.0	0.0	11.3	2.5
	南大分	122	47.5	30.3	21.3	16.4	3.3	6.6	3.3
	大分東部	103	56.3	33.0	23.3	22.3	1.9	11.7	2.9
	明野地区	91	45.1	28.6	33.0	17.6	1.1	9.9	3.3
	鶴崎地区	201	37.3	40.8	29.4	14.9	3.5	10.4	1.5
	大南地区	68	45.6	33.8	25.0	14.7	1.5	5.9	1.5
	植田地区	239	47.3	38.1	24.7	19.7	1.3	8.8	3.3
	大在地区	67	46.3	41.8	22.4	23.9	3.0	9.0	4.5
	坂ノ市地区	52	34.6	32.7	30.8	21.2	0.0	9.6	1.9
	佐賀関地区	22	45.5	40.9	22.7	18.2	4.5	18.2	4.5
	野津原地区	17	29.4	23.5	5.9	11.8	0.0	17.6	0.0

## オ 優先的に残す必要がある公共施設はどれだと考えますか。(複数回答可)



優先的に残す必要がある公共施設については、「子育て支援施設（保育所、幼稚園、児童育成クラブなど）」が59.9%と最も高くなっています。

## 【属性別特徴】

- 性別でみると「子育て支援施設（保育所、幼稚園、児童育成クラブなど）」の割合は、男女ともに最も高くなっています。
- 年齢別でみると「子育て支援施設（保育所、幼稚園、児童育成クラブなど）」の割合は「18・19歳」が最も高く、次いで「30歳代」となっています。また、「70歳以上」では「公民館・ホール施設」が最も高くなっています。
- 職業別でみると「子育て支援施設（保育所、幼稚園、児童育成クラブなど）」の割合は「専門職」が最も高く、次いで「公務員」となっています。
- 居住年数別でみると「子育て支援施設（保育所、幼稚園、児童育成クラブなど）」の割合は「10年以上20年未満」が最も高くなっています。
- 居住地区別でみると「子育て支援施設（保育所、幼稚園、児童育成クラブなど）」の割合は「大在地区」が最も高く、次いで「坂ノ市地区」となっています。また、「佐賀関地区」では「学校教育施設」、「野津原地区」では「保健・福祉施設（保健所、老人いこいの家など）」が最も高くなっています。

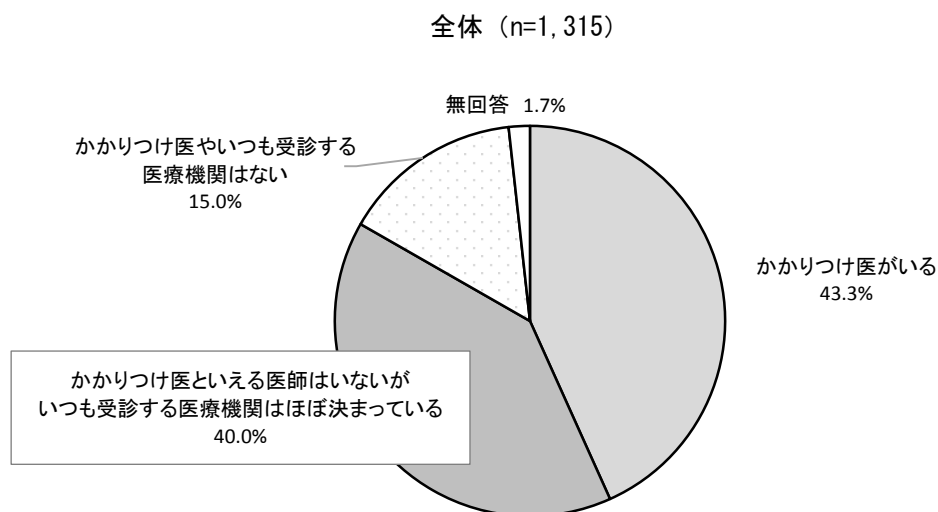
◆Ⅲ 集計結果の分析

(属性別)

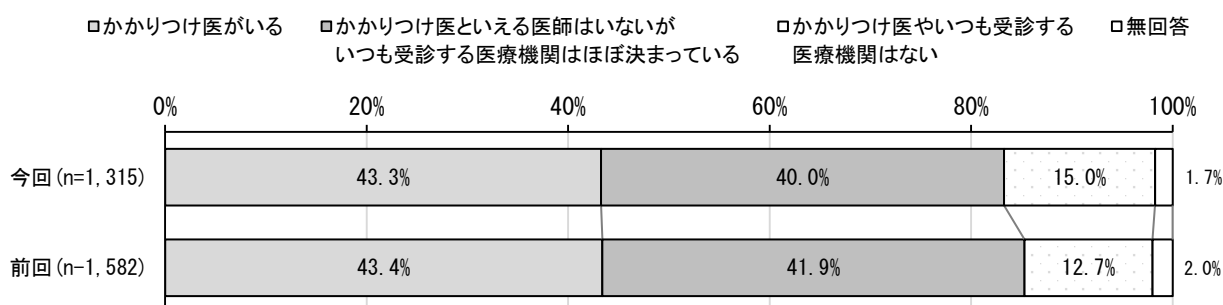
※サンプル数は数 ※項目は%	サンプル数	公民館・ホール施設	図書館	社会体育施設(美術館、資料館など)	スポーツ・レクリエーション施設	学校教育施設	成クラブなど	子育て支援施設(保育所、幼稚園、児童育	保健・福祉施設(保健所、老人いこいの家	市営住宅	庁舎等行政施設	消防・防災施設	産業・観光施設	その他
全体	1,315	36.1	36.7	21.4	22.0	47.4	59.9	39.2	15.1	11.8	48.1	7.6	1.0	
性別														
男	525	36.8	29.9	20.4	27.6	48.6	57.0	33.3	15.2	11.4	49.0	9.1	0.2	
女	764	36.0	41.4	22.0	18.3	47.0	62.8	43.2	15.2	12.2	48.2	6.5	1.4	
年齢別														
18・19歳	24	37.5	50.0	41.7	37.5	70.8	75.0	50.0	16.7	8.3	58.3	20.8	0.0	
20歳代	147	27.9	45.6	26.5	29.9	58.5	74.1	44.2	20.4	12.9	51.7	13.6	0.7	
30歳代	187	28.9	41.7	21.9	24.1	56.7	75.4	41.2	18.7	8.6	49.7	10.2	0.5	
40歳代	214	33.2	47.2	23.8	23.4	51.4	61.2	38.8	10.3	13.1	46.7	8.9	1.4	
50歳代	207	30.4	42.0	22.2	25.6	46.9	57.5	41.1	13.5	11.6	52.7	6.3	0.5	
60歳代	247	38.9	32.0	21.5	17.8	46.2	65.6	38.1	20.2	14.2	52.2	4.9	1.2	
70歳以上	264	50.8	18.6	13.6	14.8	31.8	37.1	33.3	10.2	11.0	39.4	3.8	1.1	
職業別														
農林漁業	9	44.4	11.1	11.1	11.1	44.4	44.4	33.3	22.2	33.3	22.2	11.1	0.0	
自営業	65	43.1	33.8	21.5	16.9	55.4	60.0	36.9	4.6	7.7	49.2	6.2	0.0	
専門職	63	25.4	57.1	20.6	23.8	54.0	84.1	50.8	12.7	11.1	61.9	17.5	0.0	
会社員	389	29.6	34.7	22.6	27.5	50.4	62.5	37.0	18.5	9.8	46.8	9.3	0.5	
公務員	89	39.3	52.8	37.1	29.2	64.0	75.3	43.8	10.1	21.3	65.2	9.0	0.0	
パート	171	28.7	39.8	19.9	17.5	43.3	57.9	39.8	19.9	12.3	45.0	6.4	0.6	
専業主婦	196	42.9	41.3	19.9	14.3	43.4	62.2	36.2	8.7	9.7	48.0	4.1	2.6	
学生	27	40.7	70.4	37.0	33.3	63.0	70.4	63.0	18.5	14.8	51.9	22.2	0.0	
無職	256	45.3	22.3	15.6	19.9	38.3	45.3	37.1	14.8	12.5	43.8	5.1	1.2	
その他	25	36.0	24.0	16.0	24.0	48.0	64.0	48.0	28.0	12.0	56.0	0.0	4.0	
居住年数別														
1年未満	42	23.8	42.9	28.6	31.0	45.2	64.3	50.0	4.8	14.3	50.0	9.5	0.0	
1～5年	83	30.1	53.0	26.5	38.6	51.8	59.0	37.3	9.6	7.2	45.8	12.0	1.2	
5～10年	54	24.1	46.3	24.1	16.7	59.3	64.8	29.6	11.1	7.4	50.0	5.6	1.9	
10～20年	123	30.1	35.8	23.6	20.3	56.1	66.7	38.2	17.1	12.2	52.8	13.0	1.6	
20～30年	176	27.8	42.6	24.4	22.2	52.3	65.9	39.2	19.3	14.2	54.5	10.2	0.6	
30年以上	812	41.0	33.0	19.5	20.6	44.2	57.6	39.3	15.4	11.9	46.4	5.8	0.9	
居住地区別														
大分中央	106	32.1	48.1	34.9	22.6	44.3	66.0	43.4	13.2	9.4	48.1	8.5	0.9	
大分西部	120	38.3	50.0	29.2	20.8	44.2	56.7	27.5	11.7	4.2	45.0	5.0	2.5	
大分南部	80	27.5	30.0	22.5	22.5	48.8	57.5	31.3	15.0	13.8	47.5	6.3	1.3	
南大分	122	31.1	41.0	18.9	18.0	36.9	60.7	36.9	12.3	7.4	44.3	9.8	0.8	
大分東部	103	37.9	38.8	20.4	20.4	45.6	61.2	37.9	17.5	15.5	47.6	5.8	0.0	
明野地区	91	36.3	30.8	19.8	25.3	48.4	60.4	37.4	16.5	5.5	47.3	6.6	1.1	
鶴崎地区	201	34.3	30.8	18.9	18.4	48.3	62.2	38.8	12.4	12.4	53.2	9.5	0.5	
大南地区	68	41.2	29.4	19.1	23.5	48.5	51.5	33.8	11.8	16.2	45.6	8.8	1.5	
植田地区	239	40.2	35.1	20.5	24.3	48.5	58.6	46.9	19.7	16.7	49.8	5.4	0.8	
大在地区	67	43.3	37.3	13.4	32.8	62.7	68.7	47.8	17.9	7.5	53.7	4.5	0.0	
坂ノ市地区	52	38.5	36.5	21.2	19.2	51.9	67.3	36.5	17.3	19.2	50.0	21.2	0.0	
佐賀関地区	22	36.4	18.2	13.6	13.6	63.6	54.5	36.4	9.1	9.1	40.9	4.5	4.5	
野津原地区	17	23.5	35.3	5.9	29.4	47.1	47.1	58.8	29.4	17.6	47.1	0.0	0.0	

(4) かかりつけ医について

ア あなたは、健康状態や病気のことので気軽に相談でき、決まって診察を受けるかかりつけ医がいますか。



昨年調査結果との比較



かかりつけ医について、「かかりつけ医がいる」は 43.3%、「かかりつけ医といえる医師はいないが、いつも受診する医療機関はほぼ決まっている」は 40.0%、合計すると 83.3%の方は医療機関を決めている傾向にあります。一方、「かかりつけ医やいつも受診する医療機関はない」は、15.0%となっています。

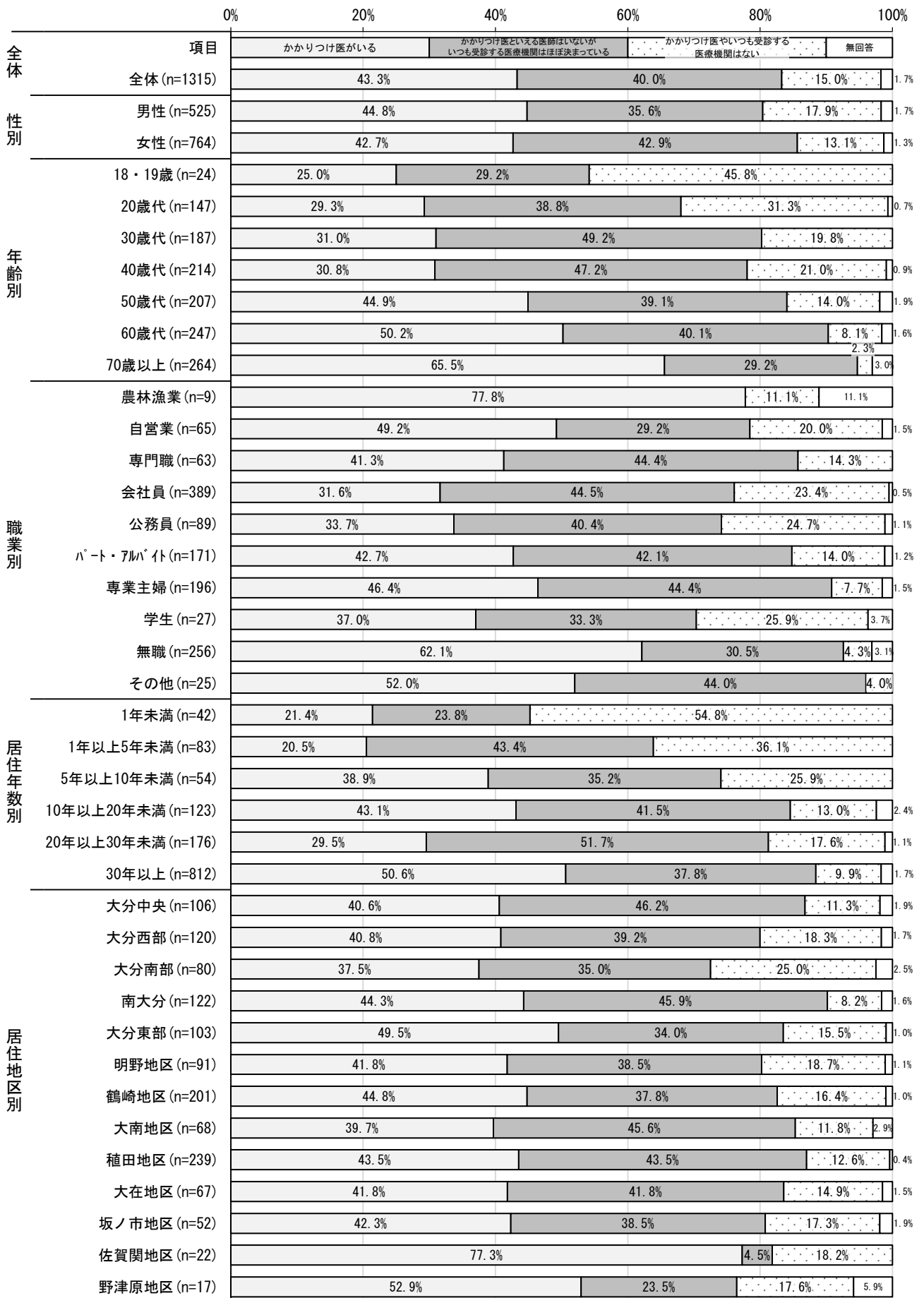
前回と比較すると「かかりつけ医やいつも受診する医療機関はない」の割合は若干増加しています。

【属性別特徴】

- 性別でみると「女性」が「男性」より若干「かかりつけ医がいる」と「かかりつけ医といえる医師はいないが、いつも受診する医療機関はほぼ決まっている」の合計の割合が高くなっています。
- 年齢別でみると「かかりつけ医がいる」の割合は「70歳以上」が最も高くなっています。一方「18・19歳」では「かかりつけ医やいつも受診する医療機関はない」が最も高くなっています。
- 職業別でみると「農林漁業」は「かかりつけ医がいる」の割合が極めて高く、一方「学生」、「公務員」、「会社員」は「かかりつけ医やいつも受診する医療機関はない」の割合が高い傾向にあります。
- 居住年数別でみると「かかりつけ医がいる」の割合は「30年以上」が最も高くなっています。
- 居住地区別でみると「かかりつけ医がいる」の割合は「佐賀県地区」が最も高くなっています。

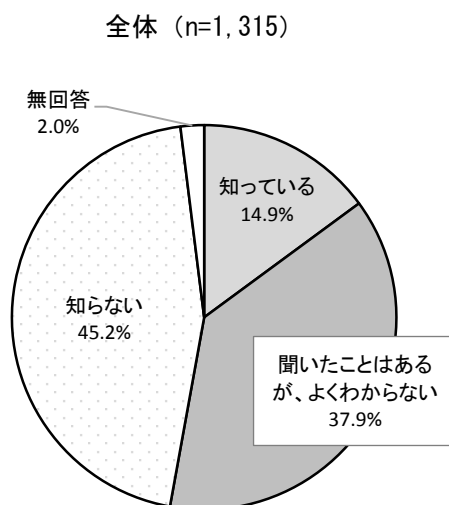
◆Ⅲ 集計結果の分析

(属性別)



## (5) 地域医療情報ネットワークについて

ア あなたは、情報通信技術 (ICT) により関係機関の連携体制強化を図る「地域医療情報ネットワーク」を知っていますか。

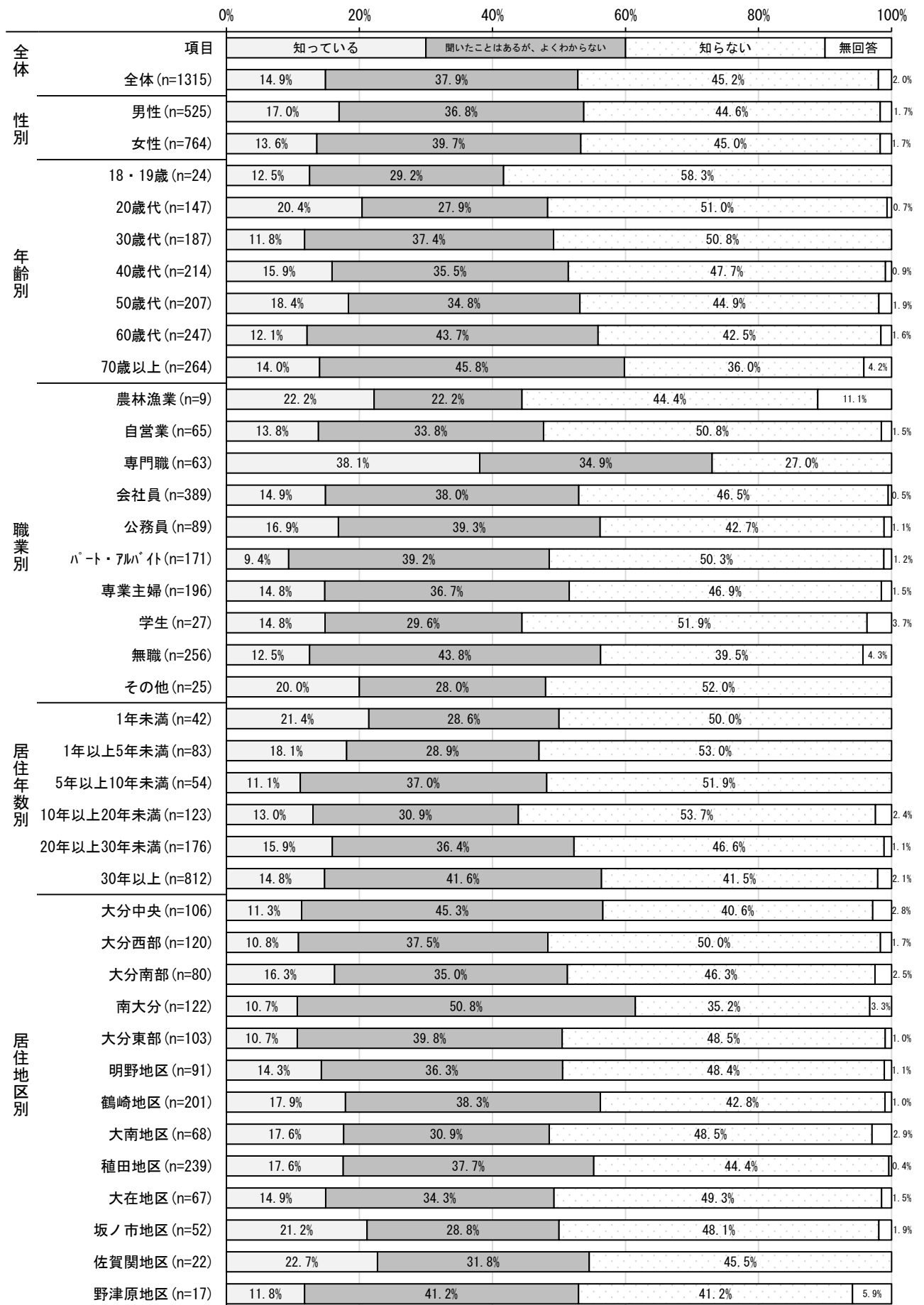


情報通信技術 (ICT) により関係機関の連携体制強化を図る「地域医療情報ネットワーク」の認知度について、「知らない」の割合が 45.2%となっています。

## 【属性別特徴】

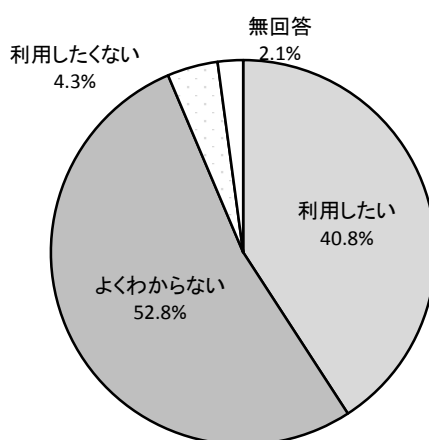
- 性別で見ると「男性」が「女性」に大きな差異はみられません。
- 年齢別で見ると「知らない」の割合は「18・19歳以上」が最も高く、年齢が上がるにつれ、その割合は低くなる傾向にあります。
- 職業別で見ると「知らない」の割合は、「その他」が最も高く、次いで「学生」、「自営業」となっています。一方、「専門職」では「知っている」の割合が高くなっています。
- 居住年数別で見ると「知らない」の割合は「10年以上20年未満」が最も高く、次いで「1年以上5年未満」となっています。
- 居住地区別で見ると「知らない」の割合は「大分西部」が最も高く、次いで「大在地区」となっています。

(属性別)



## イ 大分市でこのようなネットワークが構築された場合に、利用したいと思いますか。

全体 (n=1,315)



利用したくない主な理由	
情報の管理が心配	21人
メリットがわからない。意味がなさそう。	6人
難しそう。よくわからない。	4人

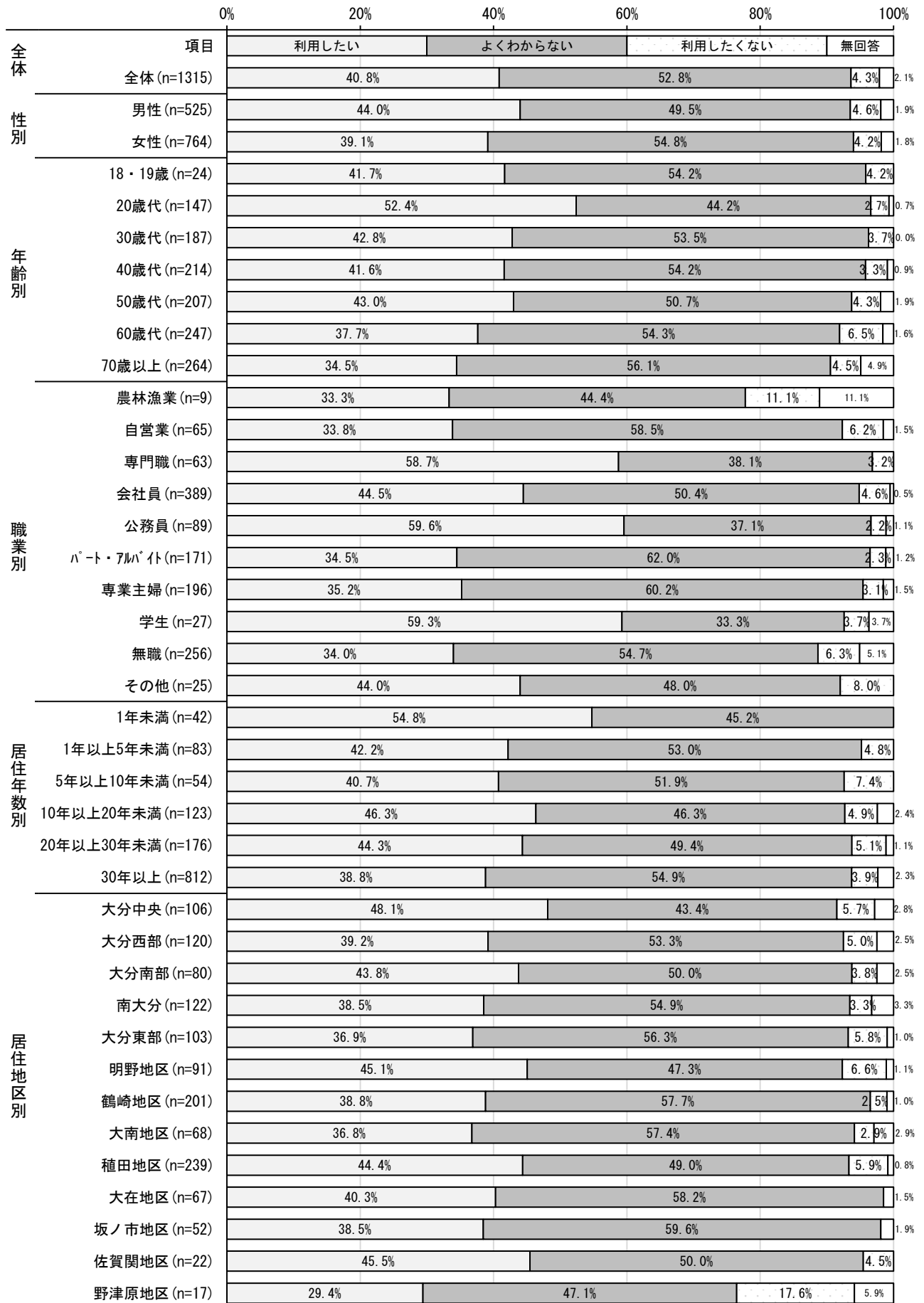
「地域医療情報ネットワーク」の利用希望について、「利用したい」は約4割となっています。

## 【属性別特徴】

- 性別で見ると「利用したい」の割合は「男性」が「女性」より若干高くなっています。
- 年齢別で見ると「利用したい」の割合は「20歳代」が最も高くなっています。
- 職業別で見ると「利用したい」の割合は、「公務員」が最も高く、次いで「学生」、「専門職」となっています。
- 居住年数別で見ると「利用したい」の割合は「1年未満」が最も高くなっています。
- 居住地区別で見ると「利用したい」の割合は「大分中央」が最も高く、次いで「佐賀関地区」、「明野地区」となっています。

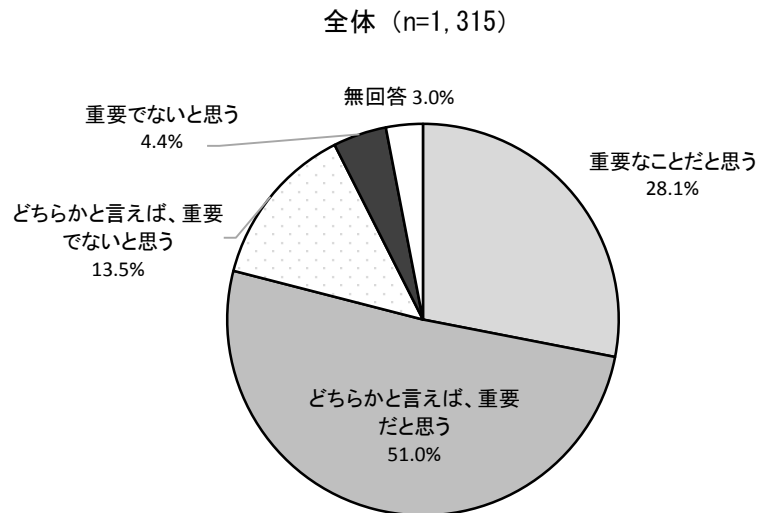


(属性別)



## (6) 大分市の国際化施策について

ア 大分市と海外との交流が進むことについて、あなたはどのように思いますか。(1つだけ選んでください)

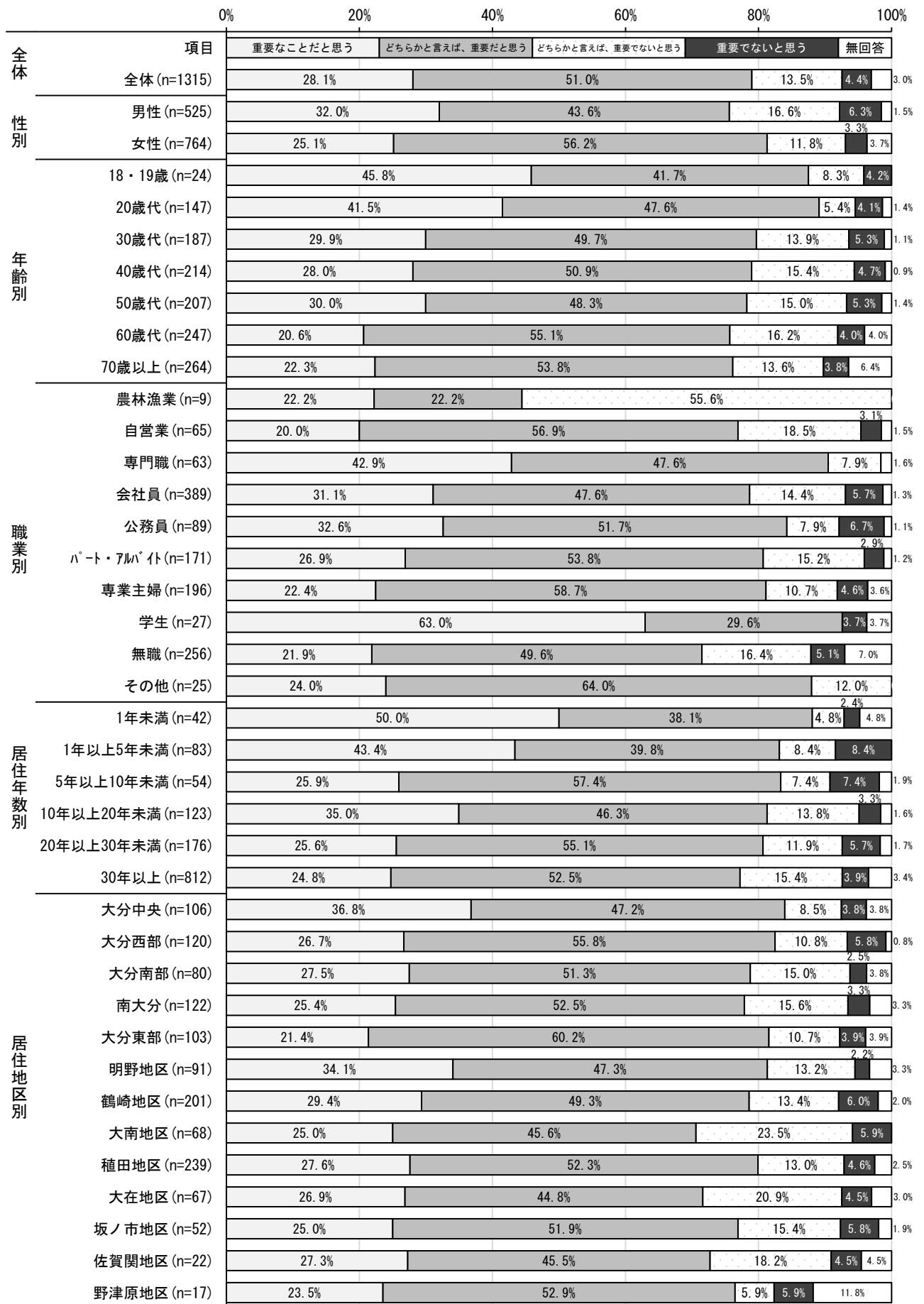


大分市と海外との交流が進むことについて「重要」と回答した方(「重要なことだと思う」と「どちらかと言えば、重要だと思う」の割合の合計)は約8割となっています。

## 【属性別特徴】

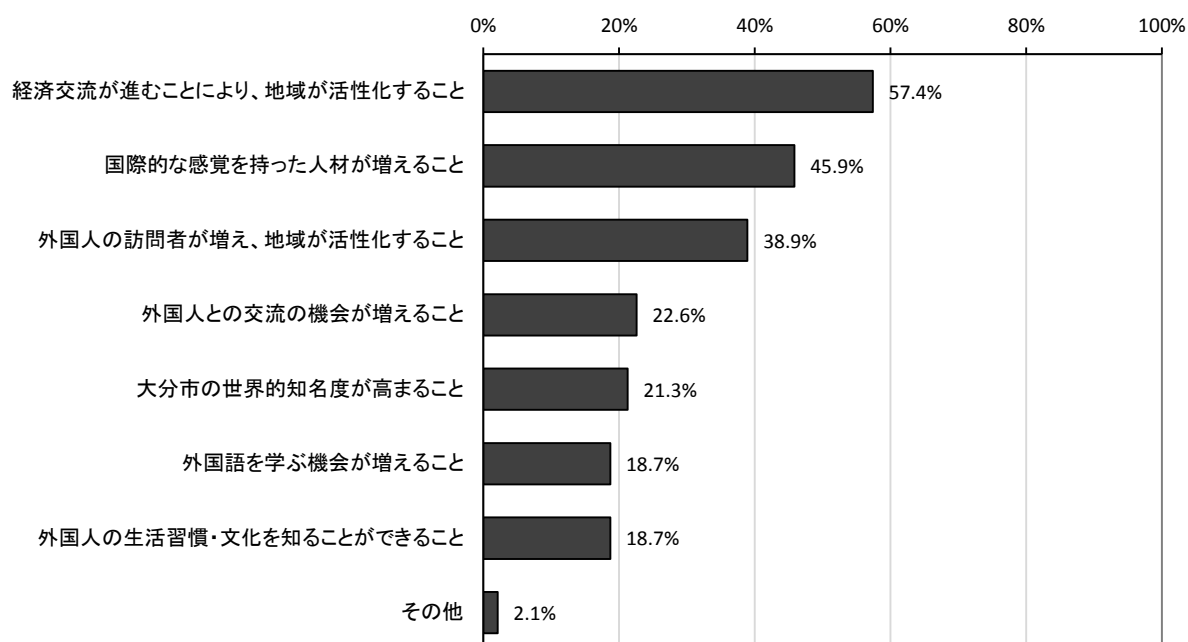
- 性別で見ると「重要」と回答した方の割合は「男性」が「女性」より若干高くなっています。
- 年齢別で見ると「重要」と回答した方の割合は「20歳代」が最も高く、次いで「18・19歳」となっています。
- 職業別で見ると「重要」と回答した方の割合は、「学生」が最も高く、次いで「専門職」となっています。
- 居住年数別で見ると「重要」と回答した方の割合は「1年未満」が最も高くなっています。
- 居住地区別で見ると「重要」と回答した方の割合は「大分中央」が最も高く、次いで「大分西部」となっています。一方、「大南地区」、「大在地区」では「どちらかと言えば重要でないと思う」の割合が2割を超えています。

(属性別)



イ 大分市と海外との交流が進むことで、あなたはどのようなことを期待しますか。(3つまで選んでください)

全体 (n=1,315)



その他の主な意見

新しい文化が生まれる。視野が広がる。	4人
--------------------	----

大分市と海外との交流により期待することについて「経済交流が進むことにより、地域が活性化すること」が57.4%と最も高くなっています。

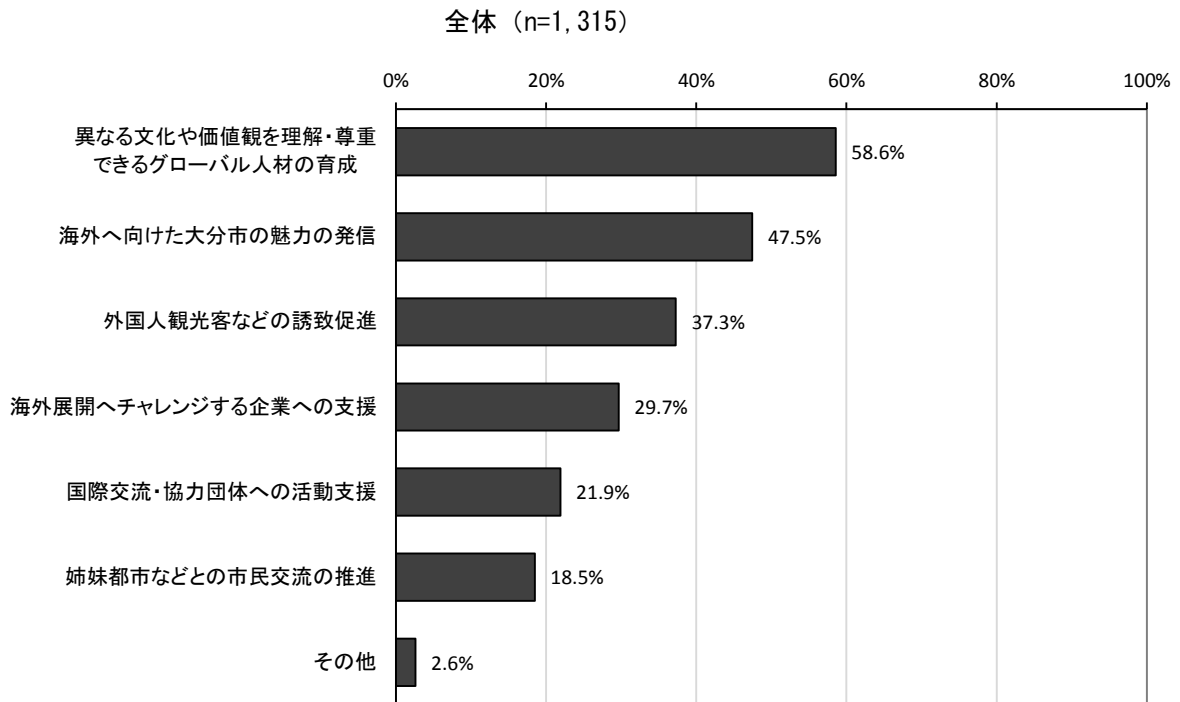
【属性別特徴】

- 性別でみると、男女ともに「経済交流が進むことにより、地域が活性化すること」の割合が最も高くなっています。
- 年齢別でみると「経済交流が進むことにより、地域が活性化すること」の割合は「60歳代」が最も高く、次いで「30歳代」となっています。
- 職業別でみると「経済交流が進むことにより、地域が活性化すること」の割合は「専門職」が最も高く、次いで「その他」となっています。
- 居住年数別でみると「経済交流が進むことにより、地域が活性化すること」の割合は「1年以上5年未満」が最も高く、次いで「1年未満」となっています。
- 居住地区別でみると「経済交流が進むことにより、地域が活性化すること」の割合は「大分西部」が最も高く、次いで「明野地区」、「大分南部」となっています。また、「大分中央」、「佐賀関地区」は「国際的な感覚を持った人材が増えること」の割合が最も高くなっています。

(属性別)

※サンプル数は数 ※項目は%	サンプル数	国際的な感覚を持った人材が増えること	経済交流が進むことにより、地域が活性化すること	大分市の世界的知名度が高まること	外国人の訪問者が増え、地域が活性化すること	外国人との交流の機会が増えること	外国語を学ぶ機会が増えること	外国人の生活習慣・文化を知ることができること	その他
全体	1,315	45.9	57.4	21.3	38.9	22.6	18.7	18.7	2.1
性別									
男	525	45.0	60.8	23.0	39.6	23.8	14.1	19.0	3.0
女	764	46.6	55.2	20.3	38.7	21.5	22.1	18.7	1.6
年齢別									
18・19歳	24	29.2	50.0	45.8	41.7	33.3	25.0	20.8	4.2
20歳代	147	45.6	56.5	23.8	40.8	27.2	23.8	22.4	2.0
30歳代	187	41.2	60.4	23.5	43.9	23.0	25.1	17.1	2.7
40歳代	214	48.1	59.3	23.4	39.7	20.6	21.5	17.8	2.8
50歳代	207	46.4	55.6	15.5	35.3	22.2	20.8	20.3	1.4
60歳代	247	55.1	61.1	16.6	40.1	23.9	15.4	17.8	2.0
70歳以上	264	40.2	53.0	23.5	35.6	18.9	10.6	18.6	1.9
職業別									
農林漁業	9	33.3	55.6	44.4	22.2	33.3	11.1	22.2	11.1
自営業	65	47.7	56.9	21.5	47.7	13.8	12.3	23.1	3.1
専門職	63	57.1	73.0	19.0	47.6	31.7	17.5	11.1	3.2
会社員	389	44.7	57.6	22.4	39.1	21.3	19.3	19.8	2.8
公務員	89	49.4	59.6	18.0	44.9	24.7	22.5	19.1	0.0
パート	171	46.8	52.0	26.3	34.5	23.4	24.0	19.3	1.2
専業主婦	196	50.5	56.6	16.8	37.8	20.9	24.0	22.4	0.5
学生	27	44.4	48.1	33.3	48.1	37.0	29.6	18.5	3.7
無職	256	39.5	57.4	19.9	35.9	21.9	10.2	16.0	3.1
その他	25	48.0	64.0	20.0	40.0	24.0	24.0	8.0	0.0
居住年数別									
1年未満	42	45.2	64.3	35.7	31.0	21.4	28.6	14.3	0.0
1～5年	83	48.2	68.7	22.9	32.5	19.3	22.9	15.7	3.6
5～10年	54	40.7	53.7	22.2	37.0	22.2	16.7	14.8	3.7
10～20年	123	50.4	53.7	22.0	38.2	26.0	19.5	17.1	3.3
20～30年	176	46.6	54.5	18.8	42.0	25.0	21.6	22.7	2.3
30年以上	812	45.4	57.5	20.9	39.7	21.8	17.5	19.1	1.8
居住地区別									
大分中央	106	57.5	56.6	17.9	33.0	26.4	23.6	16.0	2.8
大分西部	120	50.0	65.0	19.2	47.5	17.5	14.2	14.2	4.2
大分南部	80	48.8	62.5	22.5	43.8	17.5	16.3	6.3	1.3
南大分	122	40.2	54.9	20.5	39.3	22.1	20.5	15.6	1.6
大分東部	103	43.7	51.5	29.1	35.9	13.6	16.5	27.2	1.9
明野地区	91	47.3	62.6	13.2	41.8	26.4	13.2	22.0	3.3
鶴崎地区	201	46.3	53.7	22.4	37.3	25.9	23.9	21.4	1.0
大南地区	68	41.2	51.5	25.0	41.2	27.9	16.2	26.5	0.0
植田地区	239	43.9	61.9	20.1	38.9	24.7	20.9	18.4	1.7
大在地区	67	50.7	53.7	25.4	37.3	19.4	13.4	22.4	4.5
坂ノ市地区	52	34.6	57.7	28.8	34.6	28.8	21.2	21.2	1.9
佐賀関地区	22	50.0	45.5	13.6	36.4	4.5	13.6	18.2	9.1
野津原地区	17	35.3	52.9	17.6	35.3	17.6	17.6	11.8	0.0

ウ 大分市が海外と交流するに当たり、どのような取組に力を入れるべきだと思いますか。(3つまで選んでください)



その他の主な意見	
留学生の受け入れ。大学の誘致。	3人
英語など外国語を学べる環境づくり	3人

大分市が海外と交流するに当たり、力を入れるべき取組について、「異なる文化や価値観を理解・尊重できるグローバル人材の育成」が58.6%と最も高くなっています。

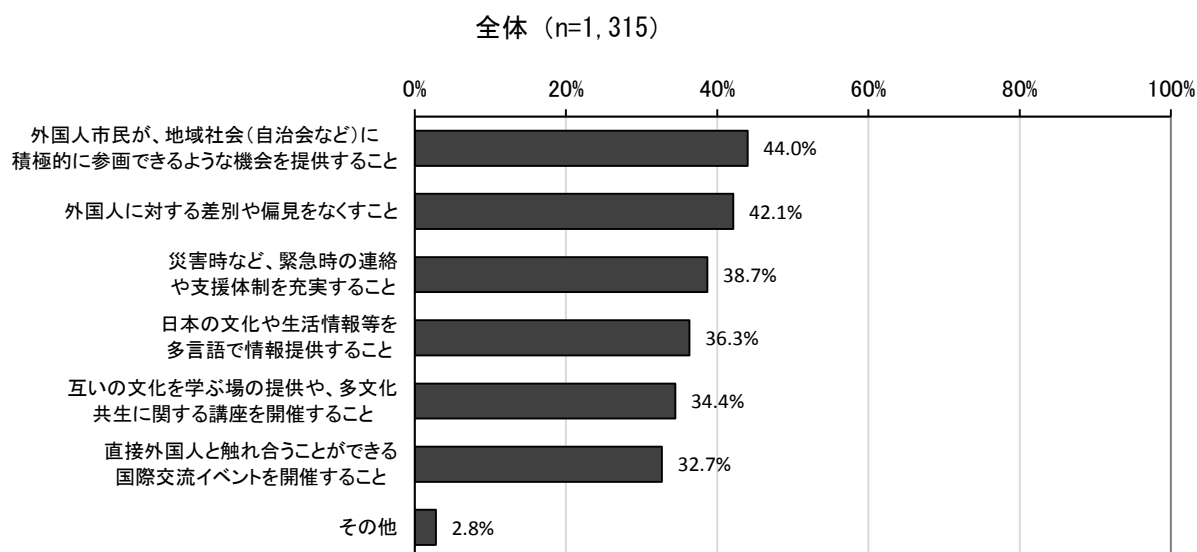
#### 【属性別特徴】

- 性別でみると、男女ともに「異なる文化や価値観を理解・尊重できるグローバル人材の育成」の割合が最も高くなっています。
- 年齢別でみると「異なる文化や価値観を理解・尊重できるグローバル人材の育成」の割合は「20歳代」が最も高く、次いで「18・19歳」となっています。また、「70歳以上」は「海外へ向けた大分市の魅力の発信」が最も高くなっています。
- 職業別でみると「異なる文化や価値観を理解・尊重できるグローバル人材の育成」の割合は「学生」が最も高く、次いで「専門職」となっています。また、「農林漁業」、「無職」では「海外へ向けた大分市の魅力の発信」が最も高くなっています。
- 居住年数別でみると「異なる文化や価値観を理解・尊重できるグローバル人材の育成」の割合は「20年以上30年未満」が最も高くなっています。また、「5年以上10年未満」は「海外へ向けた大分市の魅力の発信」が最も高くなっています。
- 居住地区別でみると「異なる文化や価値観を理解・尊重できるグローバル人材の育成」の割合は「大分西部」が最も高く、次いで「大分中央」となっています。

(属性別)

※サンプル数は数 ※項目は%	サンプル数	異なる文化や価値観を理解・尊重できる グローバル人材の育成	海外展開へチャレンジする企業への支援	海外へ向けた大分市の魅力の発信	外国人観光客などの誘致促進	国際交流・協力団体への活動支援	姉妹都市などの市民交流の推進	その他
全体	1,315	58.6	29.7	47.5	37.3	21.9	18.5	2.6
性別								
男	525	55.4	31.8	48.4	45.0	19.0	20.0	3.2
女	764	61.0	28.3	47.6	31.9	23.8	17.8	2.2
年齢別								
18・19歳	24	66.7	45.8	54.2	33.3	16.7	25.0	4.2
20歳代	147	67.3	36.1	40.1	38.8	23.1	12.9	2.0
30歳代	187	55.6	34.2	48.1	41.7	21.4	19.8	2.1
40歳代	214	61.2	30.4	45.3	38.8	22.0	14.0	3.3
50歳代	207	60.4	31.9	47.8	32.4	20.3	15.5	3.4
60歳代	247	61.9	27.9	50.2	37.2	23.1	21.1	2.8
70歳以上	264	49.2	20.5	51.5	35.6	22.0	24.6	1.9
職業別								
農林漁業	9	11.1	22.2	77.8	44.4	22.2	44.4	0.0
自営業	65	52.3	30.8	43.1	46.2	15.4	13.8	6.2
専門職	63	68.3	27.0	50.8	36.5	30.2	15.9	1.6
会社員	389	58.1	32.9	45.0	41.6	20.1	17.2	3.1
公務員	89	64.0	33.7	44.9	42.7	21.3	13.5	0.0
パート	171	64.9	26.3	53.8	32.2	24.0	19.9	1.2
専業主婦	196	62.8	29.6	43.9	35.2	22.4	17.9	2.0
学生	27	70.4	37.0	59.3	25.9	29.6	25.9	3.7
無職	256	50.8	23.8	50.8	31.3	21.5	22.3	3.5
その他	25	56.0	48.0	48.0	52.0	20.0	16.0	4.0
居住年数別								
1年未満	42	66.7	26.2	52.4	52.4	14.3	28.6	0.0
1～5年	83	62.7	41.0	43.4	38.6	19.3	10.8	2.4
5～10年	54	46.3	31.5	48.1	37.0	18.5	16.7	5.6
10～20年	123	63.4	31.7	43.1	37.4	20.3	16.3	2.4
20～30年	176	67.6	29.0	36.4	34.1	24.4	17.6	3.4
30年以上	812	56.3	28.4	51.4	37.1	22.4	19.7	2.5
居住地区別								
大分中央	106	63.2	32.1	43.4	42.5	20.8	17.0	3.8
大分西部	120	63.3	31.7	43.3	33.3	25.8	16.7	5.8
大分南部	80	58.8	28.8	50.0	43.8	16.3	13.8	1.3
南大分	122	51.6	32.8	50.0	27.9	27.0	15.6	0.8
大分東部	103	56.3	25.2	51.5	33.0	20.4	20.4	1.9
明野地区	91	61.5	26.4	47.3	42.9	26.4	13.2	3.3
鶴崎地区	201	58.7	29.9	48.3	38.3	21.4	24.4	1.0
大南地区	68	58.8	29.4	54.4	33.8	23.5	14.7	0.0
植田地区	239	60.3	25.9	51.0	38.5	21.3	22.2	2.5
大在地区	67	58.2	34.3	46.3	32.8	22.4	17.9	6.0
坂ノ市地区	52	59.6	40.4	42.3	42.3	17.3	19.2	1.9
佐賀関地区	22	40.9	27.3	31.8	31.8	9.1	13.6	9.1
野津原地区	17	58.8	29.4	41.2	52.9	5.9	11.8	5.9

**エ 日本人市民と外国人市民が共に暮らしやすい社会にしていくためには、どのような取組に力を入れるべきだと思いますか。(3つまで選んでください)**



その他の主な意見	
日本語や日本の文化を学べるようにする	7人
外国語教育	3人
外国人に関わる役所の機関を整える	3人

日本人市民と外国人市民が共に暮らしやすい社会にしていくために力を入れるべき取組について、「外国人市民が、地域社会（自治会など）に積極的に参画できるような機会を提供すること」が44%と最も高くなっています。

**【属性別特徴】**

- 性別でみると、「男性」は「外国人市民が、地域社会（自治会など）に積極的に参画できるような機会を提供すること」の割合が最も高く、「女性」では「災害時など、緊急時の連絡や支援体制を充実すること」の割合が最も高くなっています。
- 年齢別でみると「40歳代」、「60歳代」、「70歳以上」は「外国人市民が、地域社会（自治会など）に積極的に参画できるような機会を提供すること」の割合が最も高く、「18・19歳」「30歳代」は「日本の文化や生活情報等を多言語で情報提供すること」、「20歳代」は「外国人に対する差別や偏見をなくすこと」、「50歳代」は「災害時など、緊急時の連絡や支援体制を充実すること」が最も高くなっています。
- 職業別でみると「専門職」、「パート」、「無職」、「その他」は「外国人市民が、地域社会（自治会など）に積極的に参画できるような機会を提供すること」の割合が最も高く、「自営業」、「公務員」、「学生」は「日本の文化や生活情報等を多言語で情報提供すること」、「自営業」、「専業主婦」、「学生」は「災害時など、緊急時の連絡や支援体制を充実すること」、「農林漁業」、「会社員」は「外国人に対する差別や偏見をなくすこと」となっています。
- 居住年数別でみると「1年以上5年未満」、「20年以上30年未満」は「外国人に対する差別や偏見をなくすこと」の割合が最も高く、「1年以上5年未満」、「5年以上10年未満」は「日本の文化や生活情報等を多言語で情報提供すること」、「1年未満」は「直接外国人と触れ合うことができる国際交流イベントを開催すること」、「10年以上20年未満」は「災害時など、緊急時の連絡や支援体制を充実すること」、「30年以上」は「外国人市民が、地域社会（自治会など）に積極的に参画できるような機会を提供すること」となっています。
- 居住地区別でみると、各地区での最も高い割合は「外国人市民が、地域社会（自治会など）に積極的に参画できるような機会を提供すること」と「外国人に対する差別や偏見をなくすこと」に二分されています。

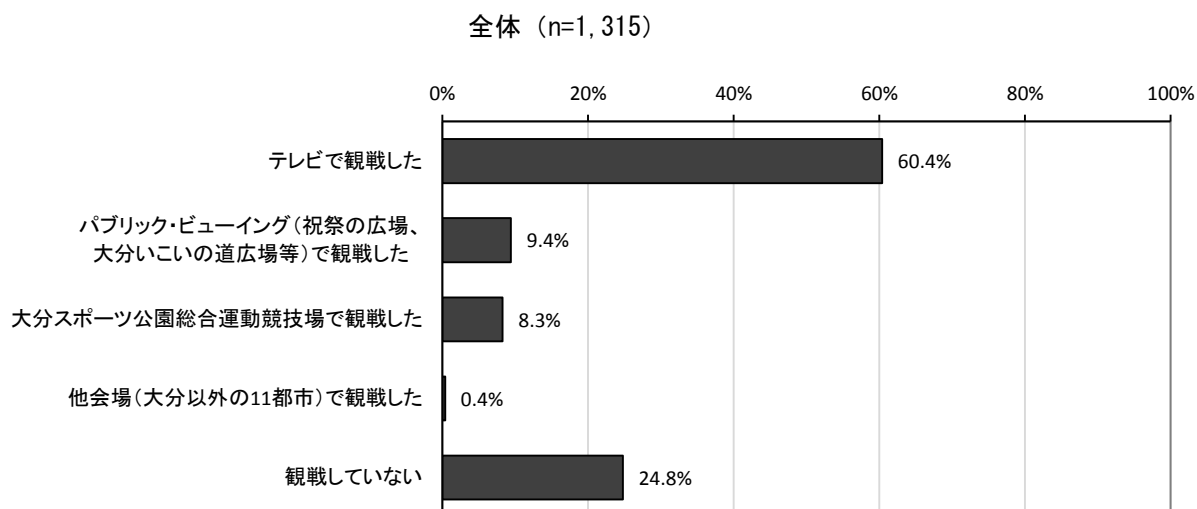


(属性別)

※サンプル数は数 ※項目は%	サンプル数	直接外国人と触れ合うことができる国際交流イベントを開催すること	外国人市民が、地域社会(自治会など)に積極的に参画できるような機会を提供すること	互いの文化を学ぶ場の提供や、多文化共生に関する講座を開催すること	外国人に対する差別や偏見をなくすこと	日本の文化や生活情報等を多言語で情報提供すること	充実すること 災害時など、緊急時の連絡や支援体制を	その他
全体	1,315	32.7	44.0	34.4	42.1	36.3	38.7	2.8
性別								
男	525	33.9	46.5	39.0	41.7	37.1	32.0	3.2
女	764	32.5	42.3	31.7	42.7	36.1	43.7	2.5
年齢別								
18・19歳	24	41.7	25.0	41.7	29.2	58.3	54.2	0.0
20歳代	147	40.1	36.1	32.7	45.6	43.5	40.8	2.0
30歳代	187	36.9	34.8	31.0	42.2	46.0	40.1	4.8
40歳代	214	36.9	42.5	35.5	41.1	38.8	41.1	3.7
50歳代	207	30.0	42.5	38.2	43.0	30.0	44.4	2.9
60歳代	247	30.0	56.3	34.4	42.5	32.8	34.8	2.0
70歳以上	264	27.7	47.7	34.8	41.7	29.9	33.3	1.9
職業別								
農林漁業	9	11.1	55.6	44.4	66.7	11.1	33.3	0.0
自営業	65	32.3	41.5	21.5	38.5	44.6	44.6	1.5
専門職	63	41.3	55.6	34.9	49.2	30.2	34.9	1.6
会社員	389	35.0	38.0	36.8	45.2	37.3	38.8	3.6
公務員	89	36.0	40.4	33.7	44.9	48.3	38.2	0.0
パート	171	36.8	46.8	36.3	34.5	34.5	45.0	2.9
専業主婦	196	30.1	41.8	29.6	41.3	38.8	48.5	3.1
学生	27	29.6	29.6	48.1	33.3	59.3	59.3	0.0
無職	256	27.7	50.8	35.9	41.0	30.5	25.8	3.1
その他	25	32.0	64.0	36.0	48.0	20.0	36.0	4.0
居住年数別								
1年未満	42	47.6	28.6	45.2	31.0	40.5	31.0	2.4
1～5年	83	34.9	34.9	32.5	43.4	43.4	41.0	2.4
5～10年	54	29.6	37.0	29.6	37.0	46.3	42.6	7.4
10～20年	123	40.7	43.9	26.0	34.1	37.4	47.2	2.4
20～30年	176	29.0	36.4	33.5	47.2	40.9	42.0	5.1
30年以上	812	32.1	47.8	36.3	43.2	33.7	36.9	2.1
居住地区別								
大分中央	106	34.0	35.8	33.0	37.7	38.7	43.4	5.7
大分西部	120	35.8	46.7	37.5	32.5	35.8	42.5	4.2
大分南部	80	30.0	41.3	31.3	47.5	30.0	38.8	1.3
南大分	122	35.2	43.4	35.2	41.8	32.0	36.9	2.5
大分東部	103	35.9	41.7	31.1	38.8	37.9	37.9	1.0
明野地区	91	31.9	47.3	35.2	45.1	44.0	42.9	2.2
鶴崎地区	201	37.8	37.8	36.3	44.3	36.8	39.8	2.0
大南地区	68	38.2	50.0	36.8	39.7	29.4	36.8	1.5
植田地区	239	27.6	49.8	36.0	43.9	41.8	36.4	2.9
大在地区	67	29.9	50.7	31.3	44.8	35.8	34.3	4.5
坂ノ市地区	52	28.8	44.2	30.8	48.1	34.6	44.2	1.9
佐賀関地区	22	27.3	36.4	27.3	45.5	22.7	40.9	4.5
野津原地区	17	23.5	41.2	47.1	52.9	23.5	23.5	5.9

## (7) ラグビーワールドカップ 2019 について

ア ラグビーワールドカップ日本大会が 2019 年度に、大分スポーツ公園総合運動競技場で開催されましたが、試合を観戦しましたか。



大分スポーツ公園総合運動競技場で開催されたラグビーワールドカップ日本大会の試合観戦は「テレビ観戦」が 60.4%と最も高くなっています。

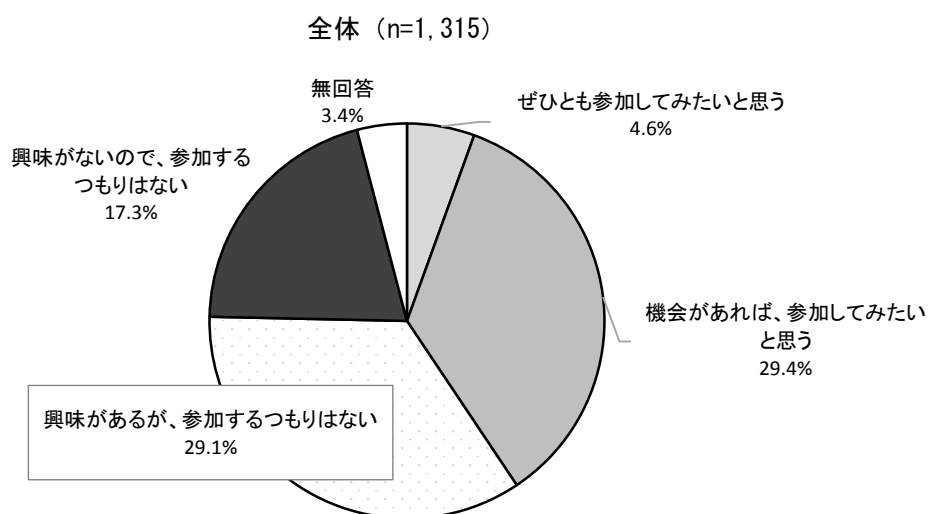
## 【属性別特徴】

- 性別でみると、男女に大きな差異はありません。
- 年齢別でみると「テレビ観戦した」の割合が最も高いのは「60歳代」、次いで「70歳以上」、「30歳代」となっています。一方「20歳代」では「観戦していない」の割合が 37.4%となっています。
- 職業別でみると「テレビ観戦した」の割合が最も高いのは「専業主婦」、次いで「農林漁業」、「無職」となっています。
- 居住年数別でみると「テレビ観戦した」の割合が最も高いのは「30年以上」の割合が最も高くなっています。一方、「1年未満」は「観戦していない」が 38.1%となっています。
- 居住地区別でみると「テレビ観戦した」の割合が最も高いのは「坂ノ市地区」、次いで「植田地区」、「野津原地区」となっています。

(属性別)

※サンプル数は数 ※項目は%	サンプル数	大分スポーツ公園総合運動競技場で観戦した	他会場(大分以外の十一都市)で観戦した	パブリック・ビューイング(祝祭の広場、大分いこの道広場等)で観戦した	テレビで観戦した	観戦していない
全体	1,315	8.3	0.4	9.4	60.4	24.8
性別						
男	525	9.0	0.4	10.1	61.1	22.1
女	764	7.9	0.3	9.2	60.1	26.8
年齢別						
18・19歳	24	20.8	0.0	12.5	45.8	20.8
20歳代	147	10.2	0.7	11.6	44.9	37.4
30歳代	187	6.4	0.5	9.6	61.5	23.5
40歳代	214	8.9	0.0	13.1	59.8	26.2
50歳代	207	14.5	0.5	10.1	58.0	24.6
60歳代	247	5.3	0.8	8.5	66.8	21.1
70歳以上	264	5.3	0.0	5.3	65.9	22.0
職業別						
農林漁業	9	0.0	0.0	11.1	66.7	22.2
自営業	65	9.2	0.0	10.8	56.9	27.7
専門職	63	6.3	1.6	14.3	55.6	23.8
会社員	389	10.5	0.5	9.5	57.1	27.2
公務員	89	14.6	1.1	15.7	59.6	18.0
パート	171	8.2	0.0	9.4	62.6	26.3
専業主婦	196	7.1	0.0	9.2	67.9	19.9
学生	27	11.1	0.0	18.5	40.7	25.9
無職	256	3.5	0.4	5.5	62.9	26.2
その他	25	16.0	0.0	8.0	52.0	28.0
居住年数別						
1年未満	42	19.0	0.0	19.0	26.2	38.1
1～5年	83	12.0	1.2	9.6	53.0	30.1
5～10年	54	14.8	0.0	11.1	48.1	27.8
10～20年	123	8.9	0.0	11.4	56.1	28.5
20～30年	176	8.0	0.0	10.8	59.7	26.7
30年以上	812	7.0	0.5	8.4	64.5	22.5
居住地区別						
大分中央	106	16.0	0.0	17.0	55.7	18.9
大分西部	120	10.0	1.7	17.5	55.8	22.5
大分南部	80	8.8	0.0	16.3	61.3	17.5
南大分	122	5.7	0.8	9.0	63.1	24.6
大分東部	103	7.8	0.0	6.8	59.2	26.2
明野地区	91	12.1	0.0	12.1	62.6	20.9
鶴崎地区	201	10.0	1.0	6.5	57.7	28.4
大南地区	68	8.8	0.0	5.9	58.8	29.4
植田地区	239	5.9	0.0	7.9	65.3	23.4
大在地区	67	6.0	0.0	4.5	55.2	35.8
坂ノ市地区	52	3.8	0.0	3.8	65.4	26.9
佐賀関地区	22	0.0	0.0	4.5	63.6	31.8
野津原地区	17	0.0	0.0	0.0	64.7	35.3

イ 大分市では、ラグビーワールドカップ日本大会の大分開催に伴い、市民ボランティアを募集しました。今後、このようなボランティアの募集があった場合、参加したいと思いますか。



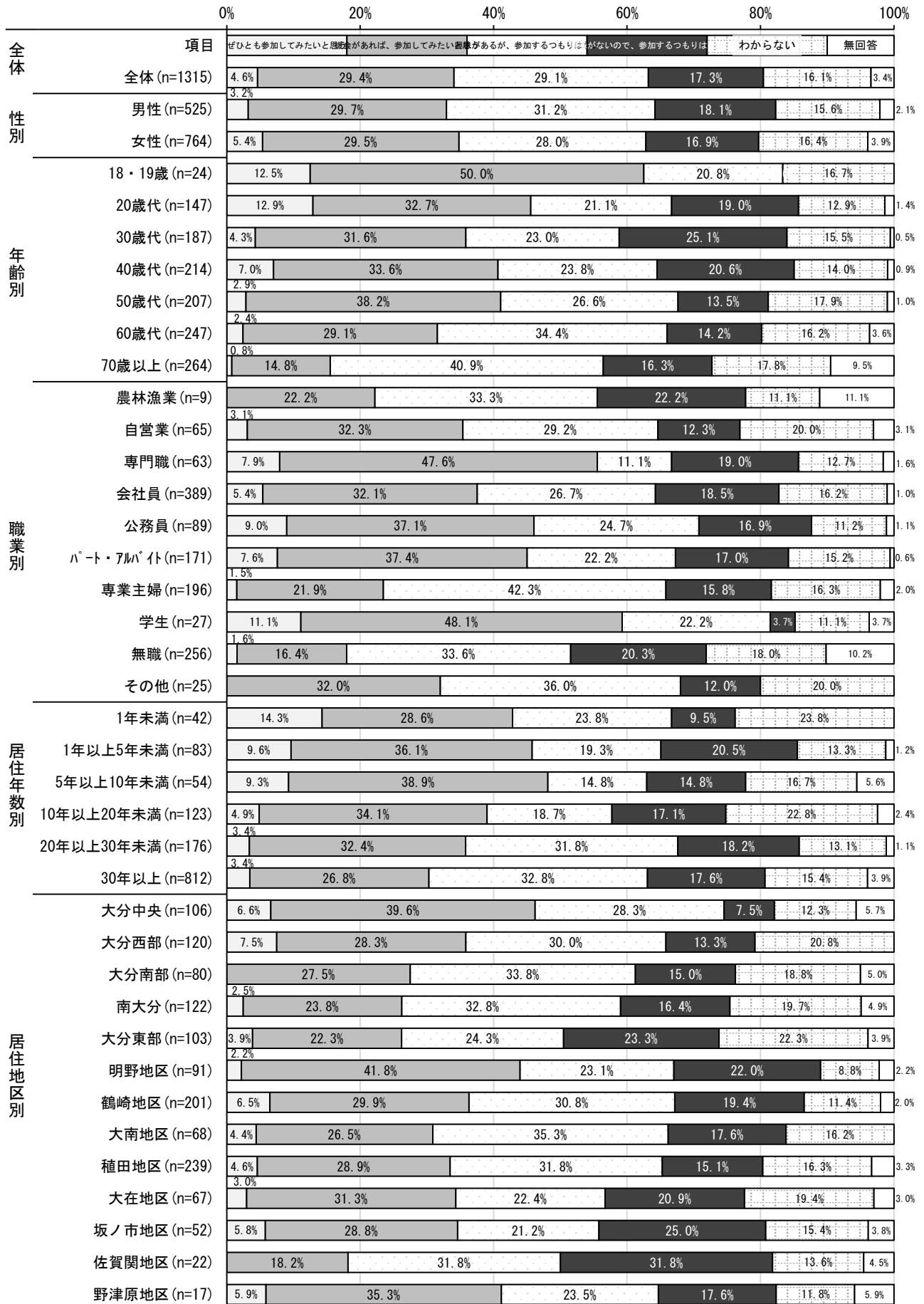
市民ボランティアへの参加希望割合(「ぜひとも参加してみたいと思う」と「機会があれば参加してみたいと思う」の割合の合計)は、3割強となっています。

#### 【属性別特徴】

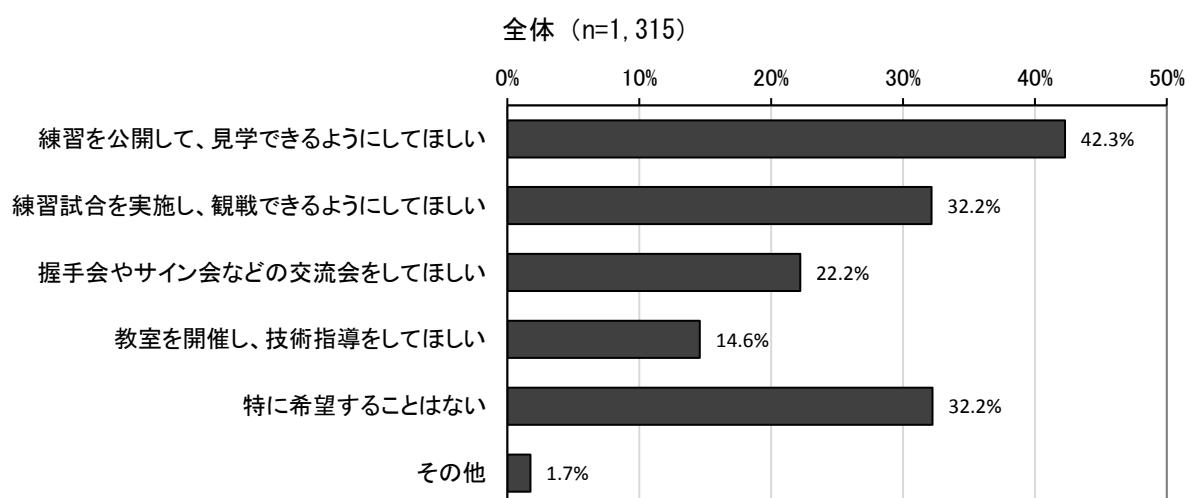
- 性別で見ると、「参加希望」の割合に男女の大きな差異はみられません。
- 年齢別で見ると「参加希望」の割合は「18・19歳」が最も高く、次いで「20歳代」となっています。
- 職業別で見ると「参加希望」の割合は「学生」が最も高く、次いで「専門職」となっています。
- 居住年数別で見ると「参加希望」の割合は「5年以上10年未満」が最も高く、次いで「1年以上5年未満」となっています。
- 居住地区別で見ると「参加希望」の割合は「大分中央」が最も高く、次いで「明野地区」「野津原地区」となっています。

◆Ⅲ 集計結果の分析

(属性別)



ウ 大分市では、ラグビーワールドカップ日本大会の大分開催時に、フィジー共和国、ウルグアイ東方共和国及び準々決勝進出の代表チーム(フランス共和国、オーストラリア連邦)がキャンプを実施しました。今後このようなスポーツチームのキャンプを実施した場合、どのようなことを希望しますか。(複数回答可)



その他の主な意見	
握手会やサイン会以外の交流	5人
そのチームの希望するように過ごさせてあげたい	5人
市民生活への影響への配慮をしてほしい	4人

スポーツチームのキャンプ実施に対して希望することは「練習を公開して、見学できるようにしてほしい」が42.3%と最も高くなっています。

#### 【属性別特徴】

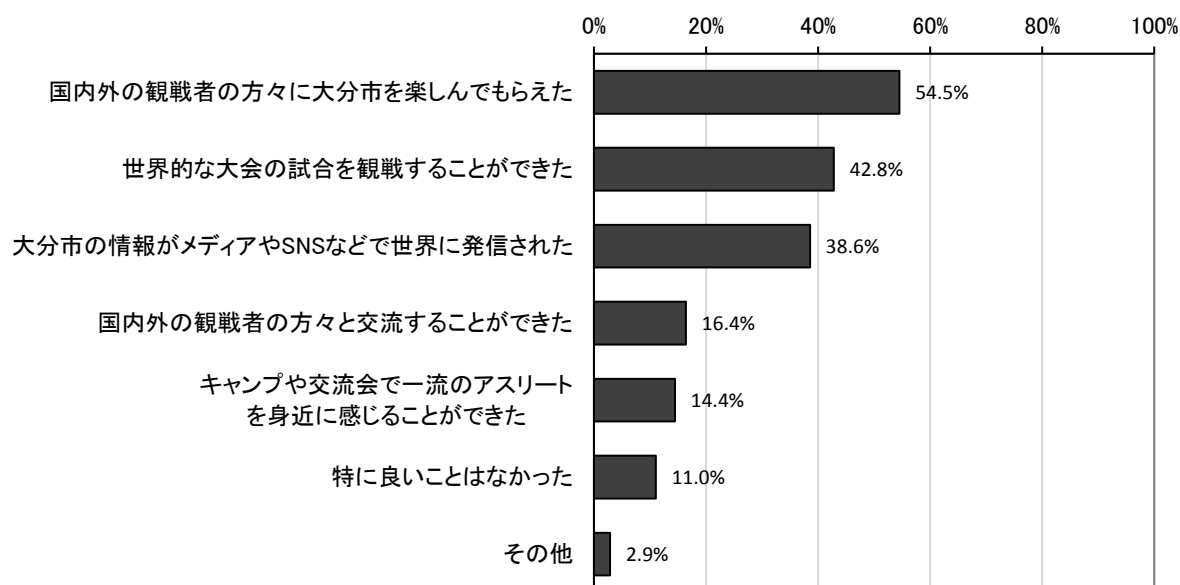
- 性別でみると、男女ともに「練習を公開して、見学できるようにしてほしい」が最も高くなっています。
- 年齢別でみると「練習を公開して、見学できるようにしてほしい」の割合は「40歳代」が最も高く、次いで「30歳代」となっています。また、「70歳以上」は「特に希望することはない」が最も高くなっています。
- 職業別でみると「練習を公開して、見学できるようにしてほしい」の割合は「公務員」が最も高く、次いで「専門職」、「パート・アルバイト」となっています。また、「農林漁業」、「無職」は「特に希望することはない」が最も高くなっています。
- 居住年数別でみると「練習を公開して、見学できるようにしてほしい」の割合は「5年以上10年未満」が最も高く、次いで「1年未満」となっています。
- 居住地区別でみると「練習を公開して、見学できるようにしてほしい」の割合は「大分東部」、「明野地区」が最も高くなっています。また、「佐賀関地区」、「野津原地区」は「特に希望することはない」が最も高くなっています。

(属性別)

※サンプル数は数 ※項目は%	サンプル数	ほしい 練習を公開して、見学できるようにして	てほしい 練習試合を実施し、観戦できるようにし	教室を開催し、技術指導をしてほしい	ほしい 握手会やサイン会などの交流会をしてほ	特に希望することはない	その他
全体	1,315	42.3	32.2	14.6	22.2	32.2	1.7
性別							
男	525	42.9	33.5	16.4	23.4	32.0	1.5
女	764	42.1	31.4	13.5	21.3	32.6	2.0
年齢別							
18・19歳	24	45.8	25.0	16.7	29.2	33.3	0.0
20歳代	147	45.6	33.3	17.7	24.5	33.3	0.7
30歳代	187	46.0	32.1	21.9	31.6	31.6	2.1
40歳代	214	50.0	30.4	19.6	29.4	25.2	3.3
50歳代	207	44.0	34.8	16.9	26.6	29.0	1.9
60歳代	247	41.7	35.2	11.7	14.2	34.4	1.2
70歳以上	264	30.7	29.2	4.9	11.7	39.0	1.5
職業別							
農林漁業	9	22.2	22.2	22.2	11.1	44.4	0.0
自営業	65	40.0	35.4	12.3	20.0	36.9	0.0
専門職	63	49.2	34.9	22.2	30.2	22.2	0.0
会社員	389	44.7	35.0	19.3	26.0	28.8	2.1
公務員	89	51.7	28.1	27.0	22.5	32.6	1.1
パート	171	48.0	28.1	10.5	22.2	33.3	1.8
専業主婦	196	44.9	34.2	12.8	24.0	30.1	3.1
学生	27	40.7	40.7	22.2	33.3	29.6	0.0
無職	256	29.3	28.5	5.9	13.3	39.8	1.6
その他	25	44.0	32.0	12.0	16.0	36.0	4.0
居住年数別							
1年未満	42	50.0	40.5	21.4	21.4	21.4	0.0
1～5年	83	47.0	31.3	15.7	27.7	33.7	2.4
5～10年	54	55.6	22.2	9.3	25.9	29.6	1.9
10～20年	123	40.7	27.6	22.0	25.2	31.7	0.8
20～30年	176	40.9	27.8	15.9	28.4	35.8	2.3
30年以上	812	41.1	34.0	13.2	19.5	32.5	1.8
居住地区別							
大分中央	106	44.3	33.0	16.0	29.2	20.8	1.9
大分西部	120	45.8	31.7	13.3	15.8	34.2	2.5
大分南部	80	41.3	28.8	16.3	17.5	35.0	1.3
南大分	122	43.4	36.9	13.9	17.2	32.0	0.8
大分東部	103	49.5	38.8	18.4	24.3	25.2	1.9
明野地区	91	49.5	35.2	17.6	25.3	26.4	3.3
鶴崎地区	201	40.8	26.9	13.9	24.9	37.8	2.0
大南地区	68	44.1	23.5	16.2	23.5	38.2	0.0
植田地区	239	37.7	33.9	12.1	24.7	32.6	2.5
大在地区	67	40.3	31.3	19.4	14.9	37.3	0.0
坂ノ市地区	52	38.5	36.5	17.3	19.2	34.6	0.0
佐賀関地区	22	31.8	36.4	9.1	18.2	45.5	0.0
野津原地区	17	29.4	11.8	0.0	17.6	35.3	5.9

エ ラグビーワールドカップ日本大会が、大分で開催されて良かったと思うことは何ですか。(複数回答可)

全体 (n=1,315)



その他の主な意見	
経済効果があった。賑わった。	15人
興味を持つことができた	2人
良い経験となった	2人

ラグビーワールドカップ日本大会が、大分で開催されて良かったと思うことは、「国内外の観戦者の方々に大分市を楽しんでもらえた」が54.5%と最も高くなっています。

【属性別特徴】

- 性別でみると「国内外の観戦者の方々に大分市を楽しんでもらえた」の割合は「男性」より「女性」が若干高くなっています。
- 年齢別でみると「国内外の観戦者の方々に大分市を楽しんでもらえた」の割合は、「18・19歳」が最も高くなっています。
- 職業別でみると「国内外の観戦者の方々に大分市を楽しんでもらえた」の割合は「学生」が最も高く、次いで「専業主婦」となっています。また、「公務員」、「農林漁業」は「世界的な大会の試合を観戦することができた」の割合も高くなっています。
- 居住年数別でみると「国内外の観戦者の方々に大分市を楽しんでもらえた」の割合は「30年以上」の割合が最も高く、次いで「20年以上30年未満」となっています。また、「1年未満」、「5年以上10年未満」は「世界的な大会の試合を観戦することができた」の割合が最も高くなっています。
- 居住地区別でみると「国内外の観戦者の方々に大分市を楽しんでもらえた」の割合は「植田地区」が最も高く、次いで「大分中央」となっています。また、「大南地区」は「大分市の情報がメディアやSNSなどで世界に発信された」の割合が最も高く、「佐賀関地区」は「大分市の情報がメディアやSNSなどで世界に発信された」に加え「世界的な大会の試合を観戦することができた」の割合が最も高くなっています。

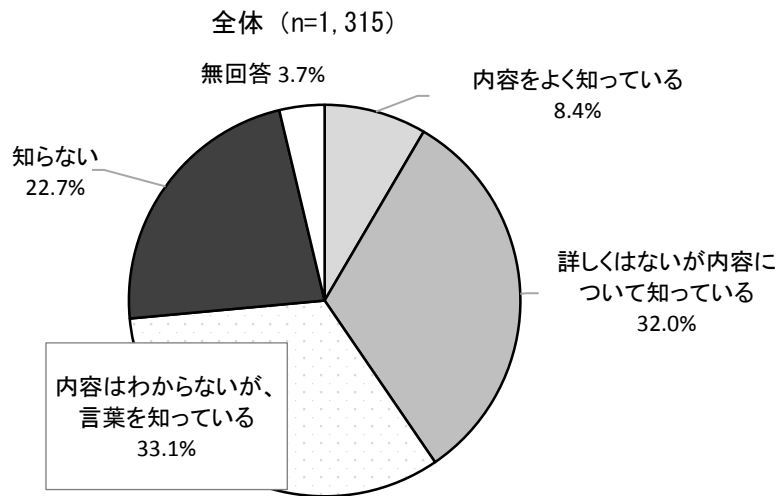


(属性別)

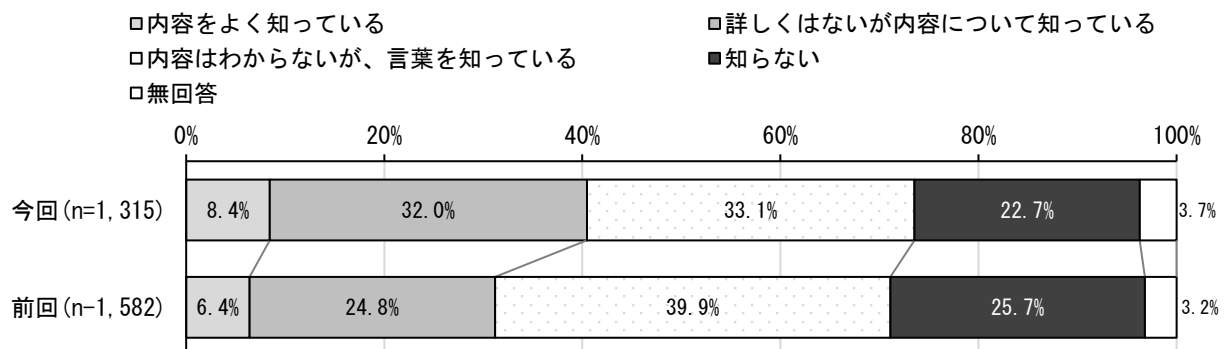
※サンプル数は数 ※項目は%	サンプル数	世界的な大会の試合を観戦することができた	キャンプや交流会で一流のアスリートに身近に感じることができた	国内外の観戦者の方々と交流することができた	国内外の観戦者の方々に大分市を楽しんでもらえた	大分市の情報がメディアやSNSなどで世界に発信された	特に良いことはなかった	その他
全体	1,315	42.8	14.4	16.4	54.5	38.6	11.0	2.9
性別								
男	525	42.9	14.7	15.0	51.4	38.7	12.6	3.0
女	764	43.2	14.3	17.5	56.7	38.7	9.9	2.7
年齢別								
18・19歳	24	45.8	25.0	25.0	66.7	41.7	4.2	0.0
20歳代	147	41.5	19.0	27.2	49.7	37.4	15.6	1.4
30歳代	187	46.0	17.6	19.8	52.4	35.8	14.4	2.7
40歳代	214	45.8	14.5	26.2	51.9	30.8	9.8	3.7
50歳代	207	48.3	15.0	17.9	61.4	40.1	8.2	3.9
60歳代	247	41.3	11.7	8.5	59.5	44.5	8.5	2.0
70歳以上	264	36.4	11.0	6.1	49.6	40.5	12.1	3.4
職業別								
農林漁業	9	44.4	11.1	22.2	33.3	33.3	22.2	0.0
自営業	65	40.0	12.3	10.8	49.2	33.8	13.8	3.1
専門職	63	50.8	19.0	22.2	54.0	39.7	11.1	1.6
会社員	389	40.9	15.2	19.0	53.2	39.3	11.8	3.9
公務員	89	58.4	19.1	28.1	58.4	32.6	11.2	2.2
パート	171	43.9	15.8	19.9	52.6	40.4	11.7	0.6
専業主婦	196	47.4	13.3	14.8	63.8	42.3	7.1	2.6
学生	27	44.4	29.6	37.0	70.4	37.0	0.0	0.0
無職	256	35.2	10.2	6.3	49.2	36.3	12.9	3.5
その他	25	48.0	12.0	8.0	56.0	40.0	8.0	8.0
居住年数別								
1年未満	42	50.0	21.4	21.4	42.9	45.2	11.9	0.0
1～5年	83	42.2	16.9	21.7	51.8	34.9	15.7	4.8
5～10年	54	55.6	14.8	27.8	40.7	40.7	9.3	3.7
10～20年	123	42.3	17.9	22.8	49.6	35.8	10.6	4.9
20～30年	176	44.9	11.9	15.3	55.1	38.1	10.8	1.7
30年以上	812	41.4	13.9	14.3	56.8	39.0	10.8	2.7
居住地区別								
大分中央	106	50.0	13.2	21.7	62.3	35.8	5.7	3.8
大分西部	120	40.8	20.0	17.5	56.7	32.5	9.2	4.2
大分南部	80	48.8	15.0	18.8	53.8	38.8	12.5	3.8
南大分	122	45.9	17.2	17.2	50.0	36.1	10.7	0.8
大分東部	103	42.7	20.4	18.4	53.4	37.9	11.7	3.9
明野地区	91	46.2	15.4	22.0	54.9	36.3	9.9	4.4
鶴崎地区	201	38.8	11.4	17.4	51.7	45.8	11.9	1.5
大南地区	68	42.6	13.2	11.8	41.2	45.6	11.8	1.5
植田地区	239	45.6	11.3	11.7	64.9	39.3	8.8	2.9
大在地区	67	34.3	14.9	19.4	49.3	41.8	19.4	0.0
坂ノ市地区	52	34.6	17.3	11.5	46.2	30.8	13.5	3.8
佐賀関地区	22	36.4	4.5	9.1	31.8	36.4	31.8	0.0
野津原地区	17	29.4	11.8	11.8	47.1	29.4	11.8	17.6

## (8) 男女共同参画社会について

## ア 「男女共同参加社会」について知っていますか。



## 昨年調査結果との比較



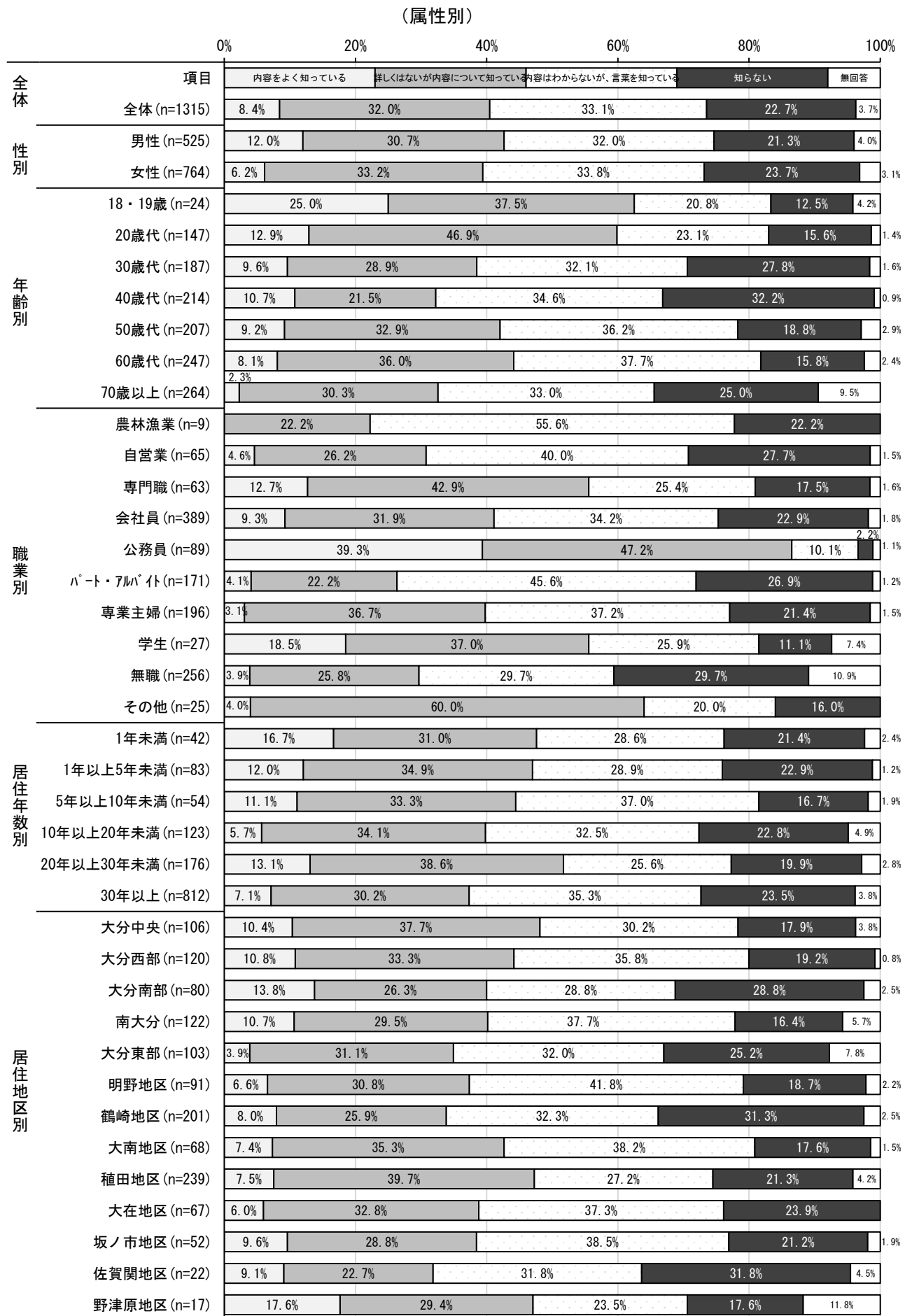
男女共同参画社会について、「内容をよく知っている」は8.4%、「詳しくはないが、内容について知っている」は32.0%、「内容はわからないが、言葉を知っている」は33.1%となっており、内容まで知っている割合は40.4%、言葉を知っている割合まで含めると73.5%となっています。

前回と比較すると「男女共同参画社会」について「詳しくはないが内容について知っている」の割合が高くなっています。

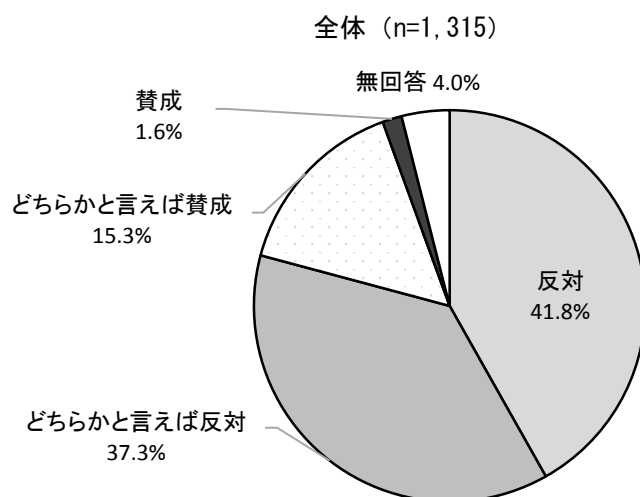
## 【属性別特徴】

- 性別でみると「男性」が「女性」に比べ「男女共同参画社会」について知っている割合が高くなっています。
- 年齢別でみると、「20歳代」は「内容をよく知っている」「詳しくはないが、内容について知っている」の割合が他の年齢に比べて高くなっています。
- 職業別でみると「内容をよく知っている」と「詳しくはないが、内容について知っている」を合わせた割合は、「公務員」が他の職業に比べて高くなっています。
- 居住年数別でみると「内容をよく知っている」と「詳しくはないが、内容について知っている」を合わせた割合は、「20年以上30年未満」が他の年数に比べて高くなっています。
- 居住地区別でみると「佐賀関地区」と「鶴崎地区」は他の地区に比べて「男女共同参画社会」について「知らない」割合が高くなっています。

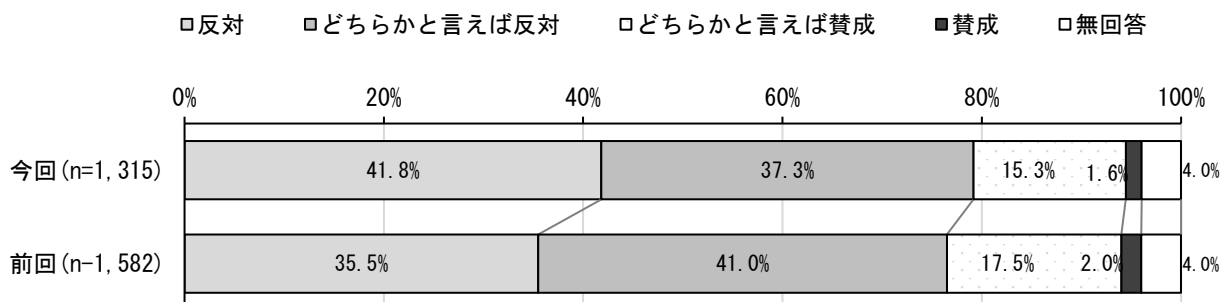
◆Ⅲ 集計結果の分析



イ 「男は仕事、女は家庭」などの性別による固定した考えについてどうお考えですか。



昨年調査結果との比較

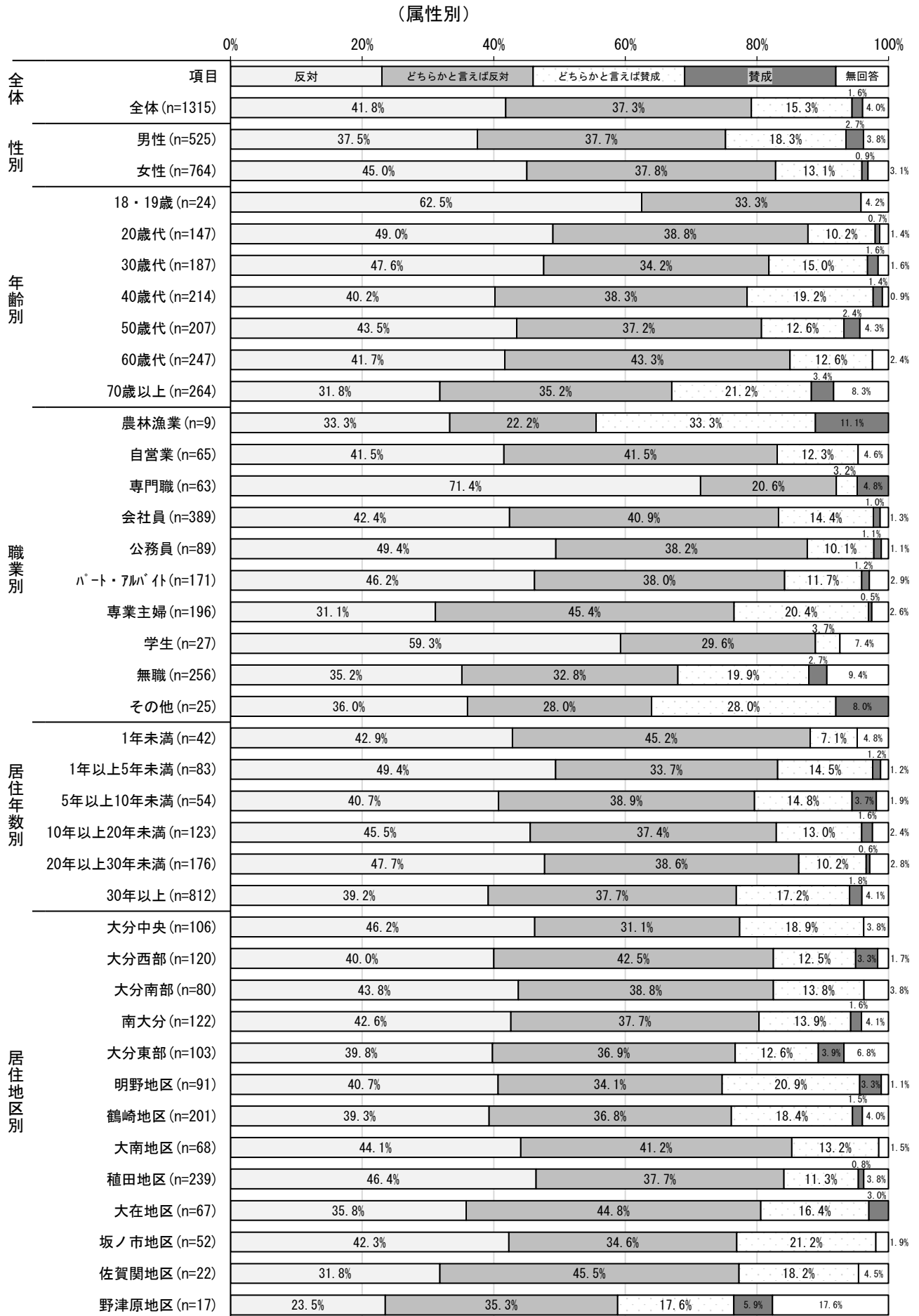


「男は仕事、女は家庭」などの性別による固定した考えについて、「反対」は 41.8%、「どちらかと言えば反対」は 37.3%となっており、反対の意見の割合は 79.1%となっています。

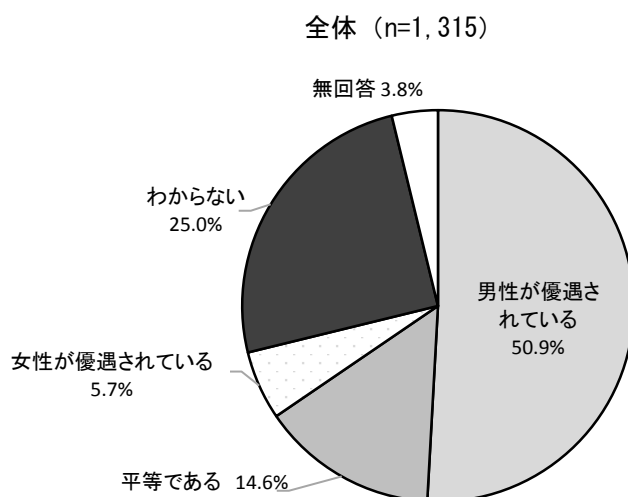
【属性別特徴】

- 性別でみると「女性」が「男性」に比べ「男は仕事、女は家庭」などの性別による固定概念について「反対」「どちらかと言えば反対」の割合が高くなっています。
- 年齢別でみると「18・19歳」は「反対」「どちらかと言えば反対」の割合が他の年齢に比べて高くなっています。また、「70歳以上」、「40歳代」は「どちらかと言えば賛成」の割合が他の年齢に比べて高くなっています。
- 職業別でみると「反対」「どちらかと言えば反対」の割合は「専門職」が他の職業に比べて高くなっています。また、「農林漁業」、「その他」は「どちらかと言えば賛成」の割合が、他の職業に比べて高くなっています。
- 居住年数別でみると「1年未満」は「反対」「どちらかと言えば反対」の割合が最も高くなっています。また、「30年以上」は「どちらかと言えば賛成」の割合が、他の居住年数に比べて高くなっています。
- 居住地区別でみると「野津原地区」は他の地区に比べて「反対」「どちらかと言えば反対」の割合が低くなっています。

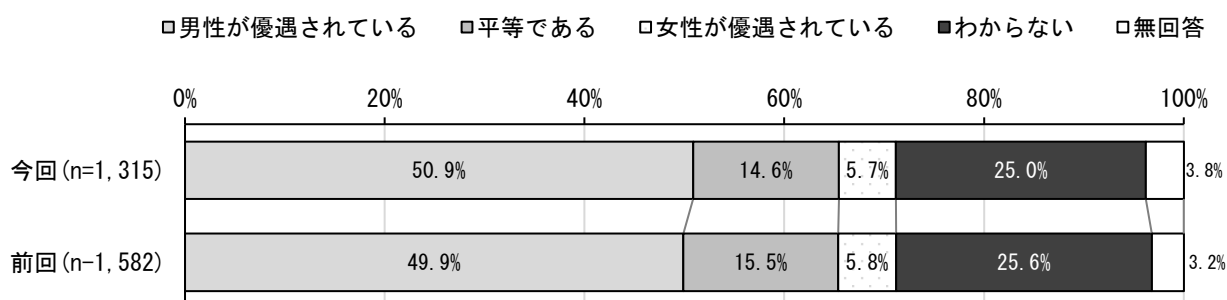
◆Ⅲ 集計結果の分析



ウ 社会全体を通して、男女の意識や地位は平等になっていると思いますか。



昨年調査結果との比較



社会全体を通して、男女の意識や地位は平等になっていると思うかについて、「男性が優遇されている」が50.9%と半数を占めています。

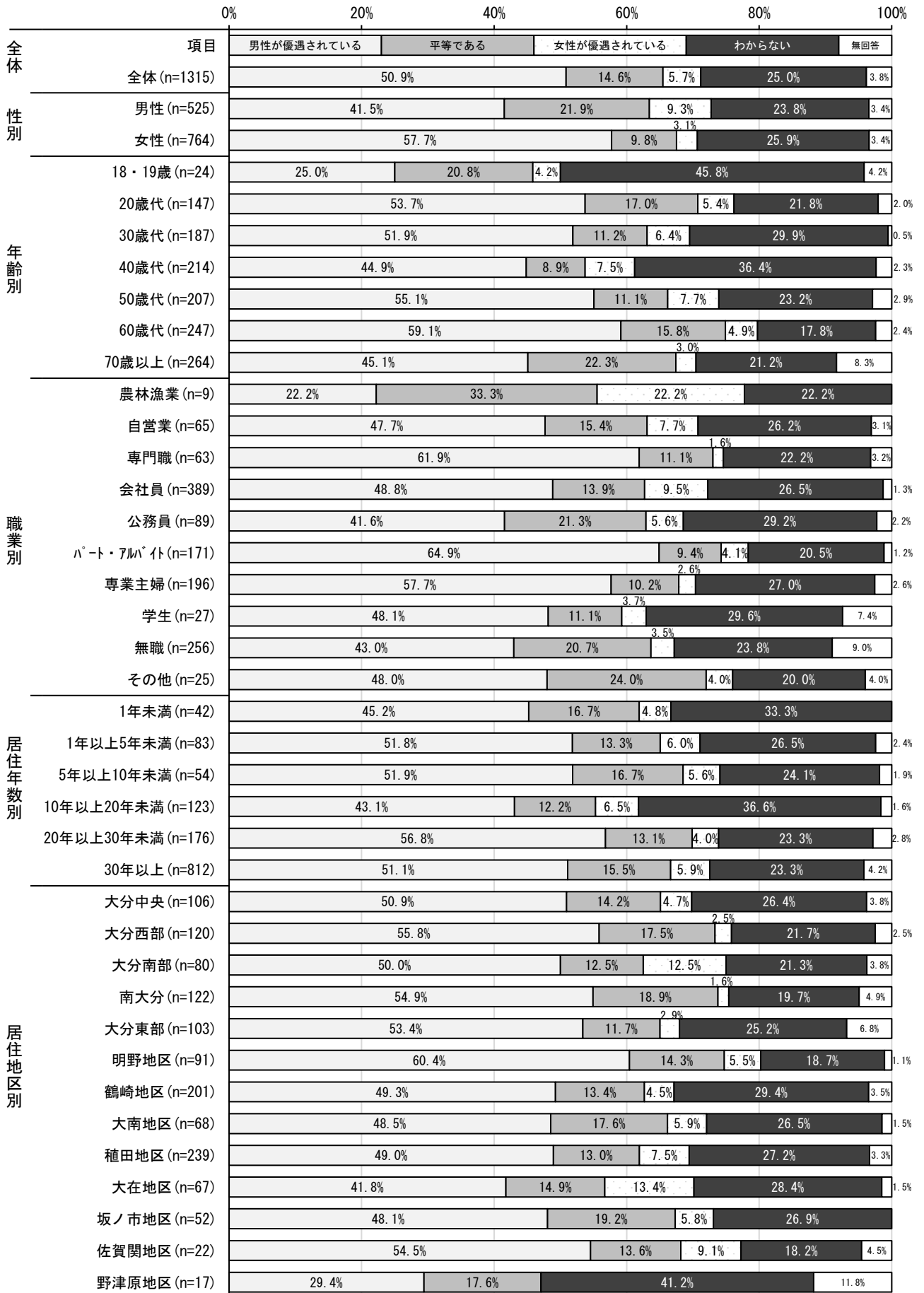
前回と比較すると「男性が優遇されている」の割合が若干高くなっています。

【属性別特徴】

- 性別で見ると「女性」が「男性」に比べ「男性が優遇されている」の割合が高くなっています。
- 年齢別で見ると「60歳代」は「男性が優遇されている」の割合が他の年齢に比べて高くなっています。また、「18・19歳」は、他の年齢に比べて「男性が優遇されている」の割合が低く、「わからない」の割合が高くなっています。
- 職業別で見ると「男性が優遇されている」の割合は「パート・アルバイト」が他の職業に比べて高くなっています。また、「農林漁業」「その他」「公務員」は「平等である」「女性が優遇されている」の割合が、他の職業に比べて高くなっています。
- 居住年数別で見ると「10年以上20年未満」は「わからない」の割合が、他の居住年数に比べて高くなっています。
- 居住地区別で見ると「野津原地区」は「わからない」の割合が、他の居住年数に比べて高くなっています。

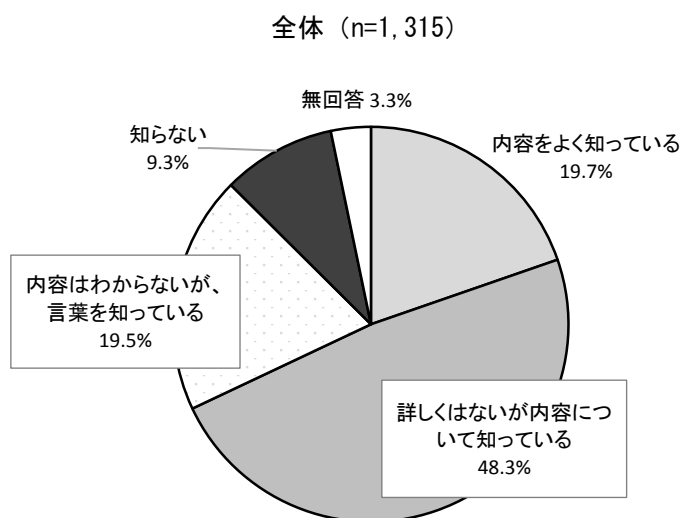
◆Ⅲ 集計結果の分析

(属性別)



## (9) 性の多様性について

## ア 「LGBT」または「性的少数者」について知っていますか。



「LGBT」または「性的少数者」の認知度について、「内容をよく知っている」は19.7%、「詳しくはないが内容について知っている」の割合は48.3%、「内容はわからないが言葉を知っている」が19.5%となっており、内容まで知っている割合は68.0%、言葉を知っている割合まで含めると87.5%となっています。

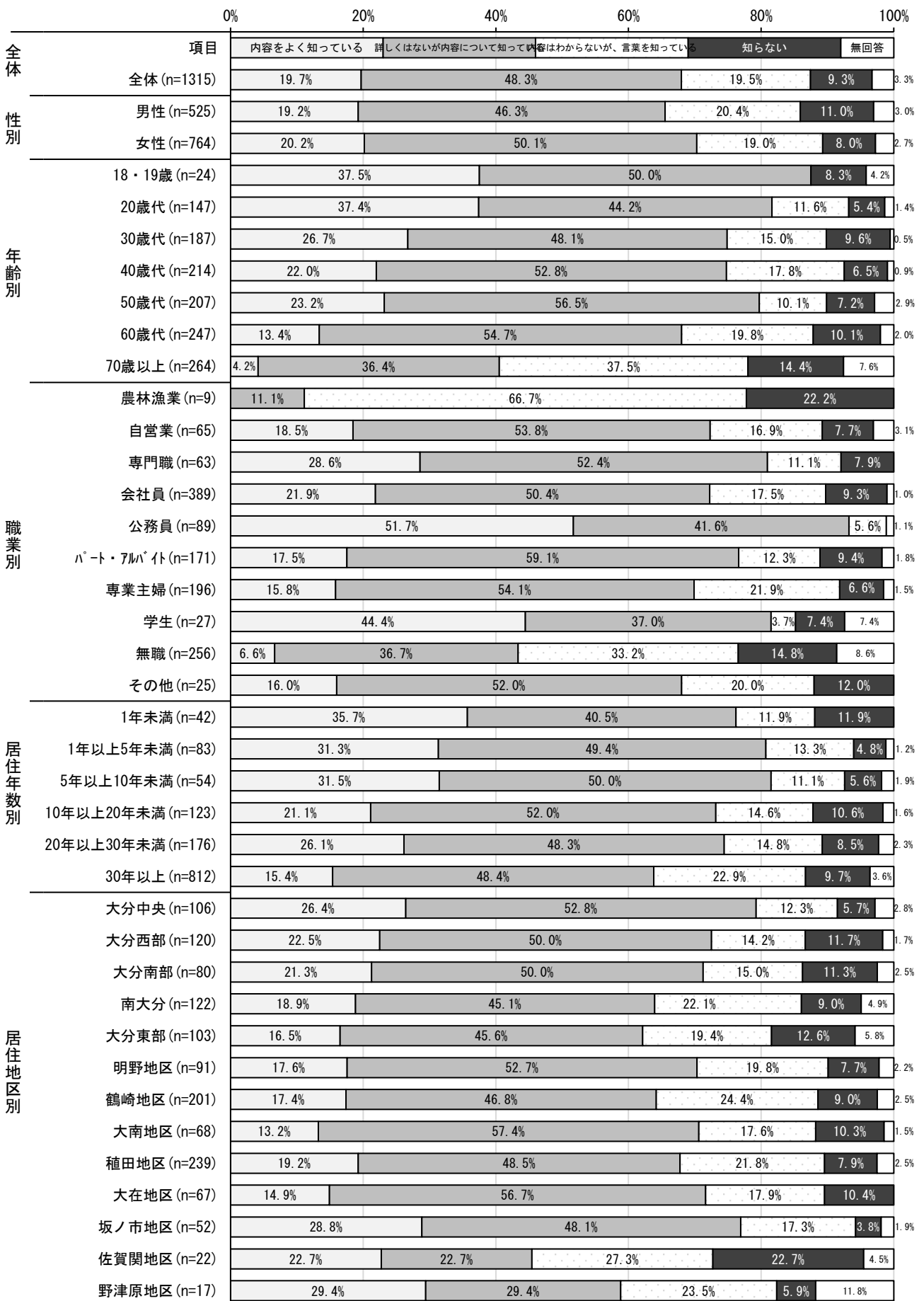
## 【属性別特徴】

- 性別で見ると、「男性」が「女性」に比べ「LGBT」または「性的少数者」について内容まで知っている割合が高くなっています。
- 年齢別で見ると、「18・19歳」は「LGBT」または「性的少数者」について内容まで知っている割合が高くなっています。
- 職業別で見ると、「LGBT」または「性的少数者」について内容まで知っている割合は、「公務員」が他の職業に比べて高くなっています。
- 居住年数別で見ると、「LGBT」または「性的少数者」について内容まで知っている割合が低いのは「30年以上」となっています。
- 居住地区別で見ると「LGBT」または「性的少数者」について内容まで知っている割合が低いのは「佐賀関地区」「野津原地区」となっています。



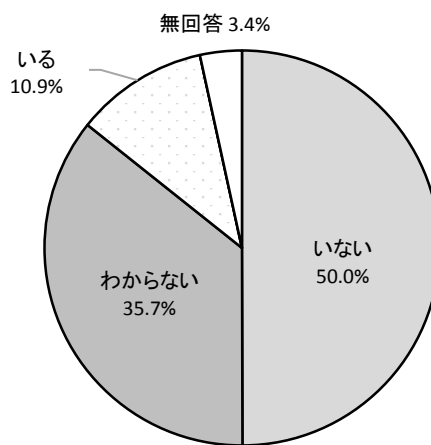
◆Ⅲ 集計結果の分析

(属性別)



## イ あなたの周りに「LGBT」「性的少数者」の方はいますか。

全体 (n=1,315)



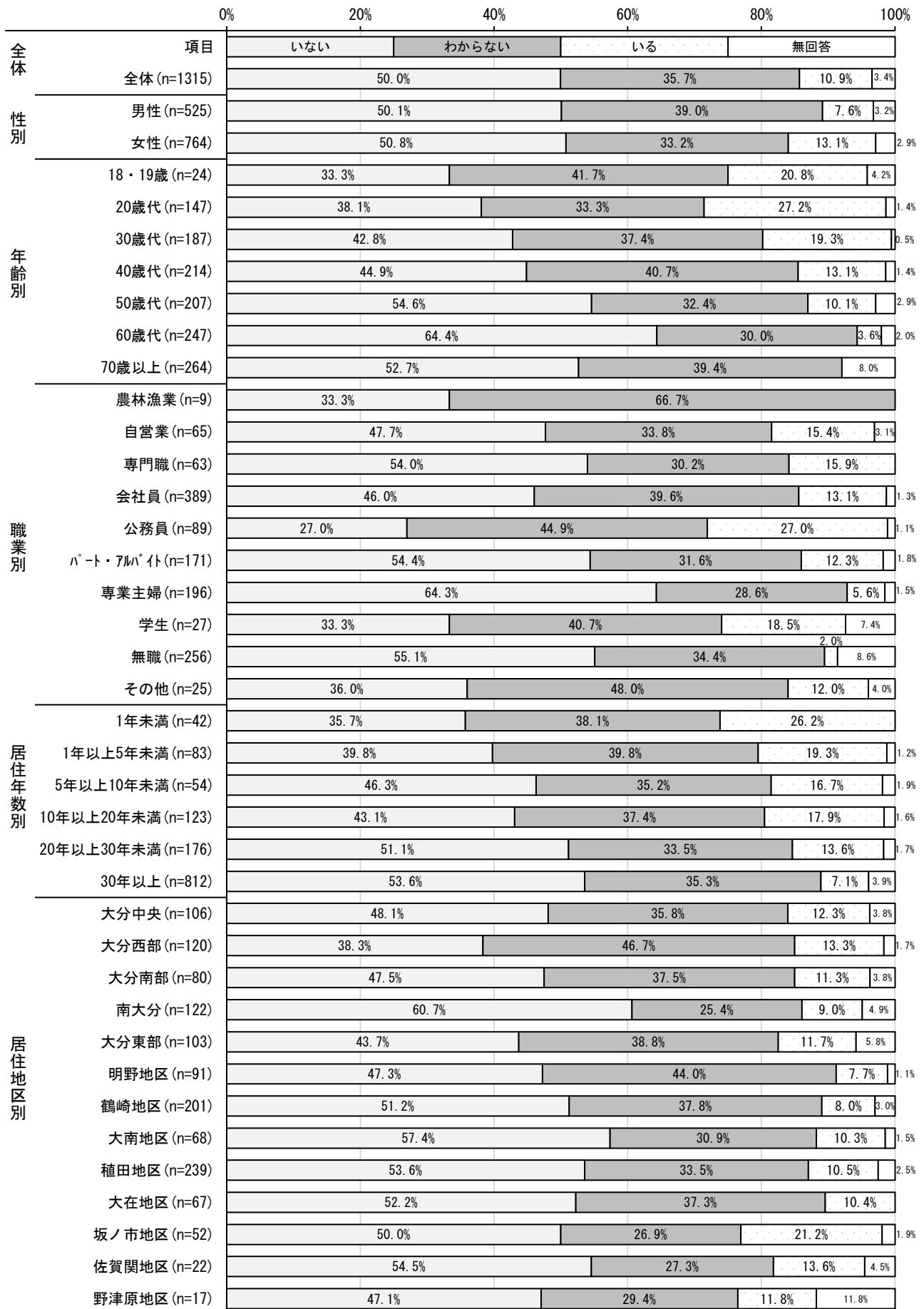
周りに「LGBT」「性的少数者」の方がいるかについて、「いない」が 50.0%、「わからない」が 35.7%、「いる」が 10.9%となっています。

## 【属性別特徴】

- 性別でみると男女に大きな差異はみられません。
- 年齢別でみると「20歳代」「18・19歳」「30歳代」は、周りに「LGBT」または「性的少数者」の方が「いる」と考えている割合が高くなっています。
- 職業別でみると「公務員」「学生」は、周りに「LGBT」または「性的少数者」の方が「いる」と考えている割合が他の職業より高くなっています。
- 居住年数別でみると「1年未満」は、周りに「LGBT」または「性的少数者」の方が「いる」と考えている割合が他の年数より高くなっています。
- 居住地区別でみると「坂ノ市地区」は、周りに「LGBT」または「性的少数者」の方が「いる」と考えている割合が他の年数より高くなっています。

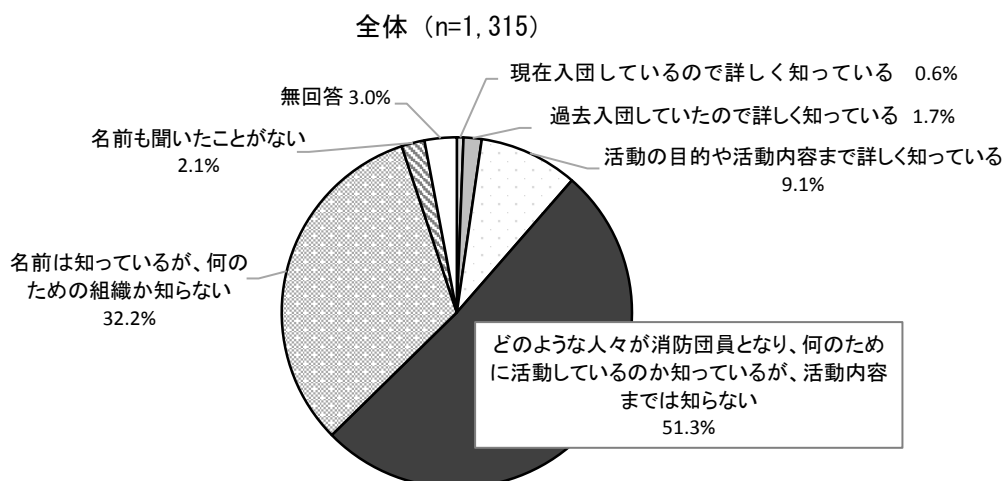
◆Ⅲ 集計結果の分析

(属性別)

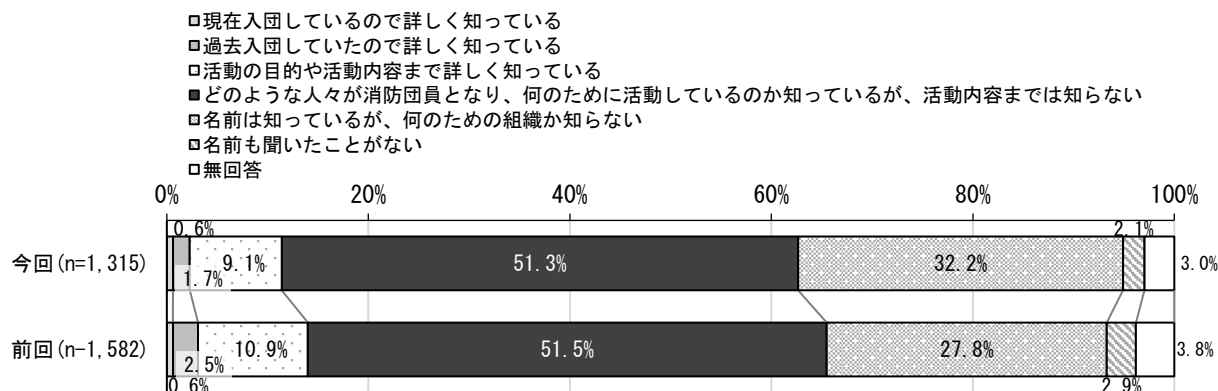


(10) 消防団について

ア あなたは消防団のことをどの程度知っていますか。



昨年調査結果との比較

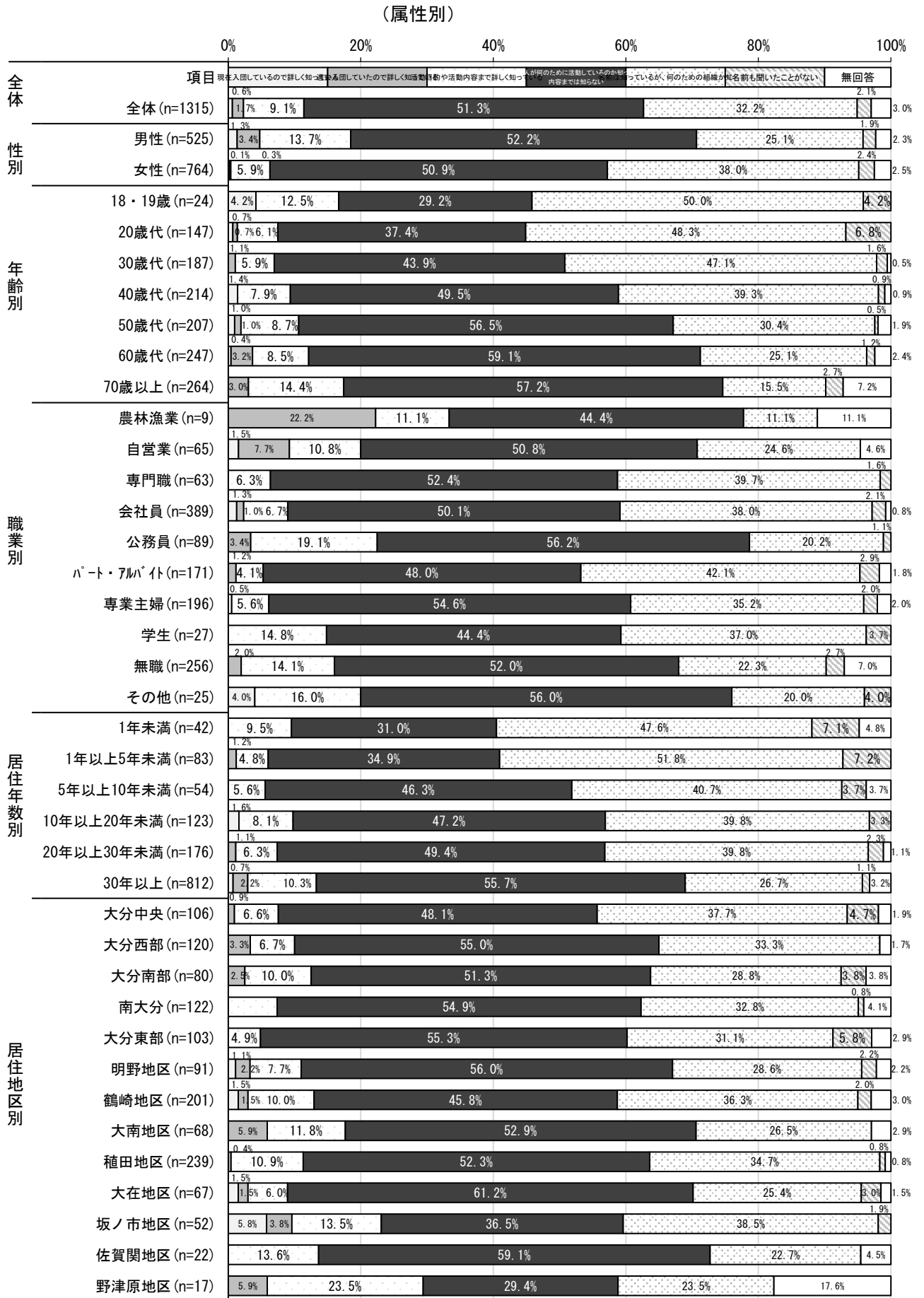


消防団の認知状況を見ると、詳しく知っている（「現在入団しているので詳しく知っている」、「過去入団していたので詳しく知っている」、「活動の目的や活動内容まで詳しく知っている」の合計）が11.4%、「どのような人々が消防団員となり、何のために活動しているか知っているが、活動内容までは知らない」は51.3%、「名前は知っているが、何のための組織か知らない」は32.2%となっています。前回調査と比較すると「名前は知っているが、何のための組織か知らない」の割合が高くなっています。

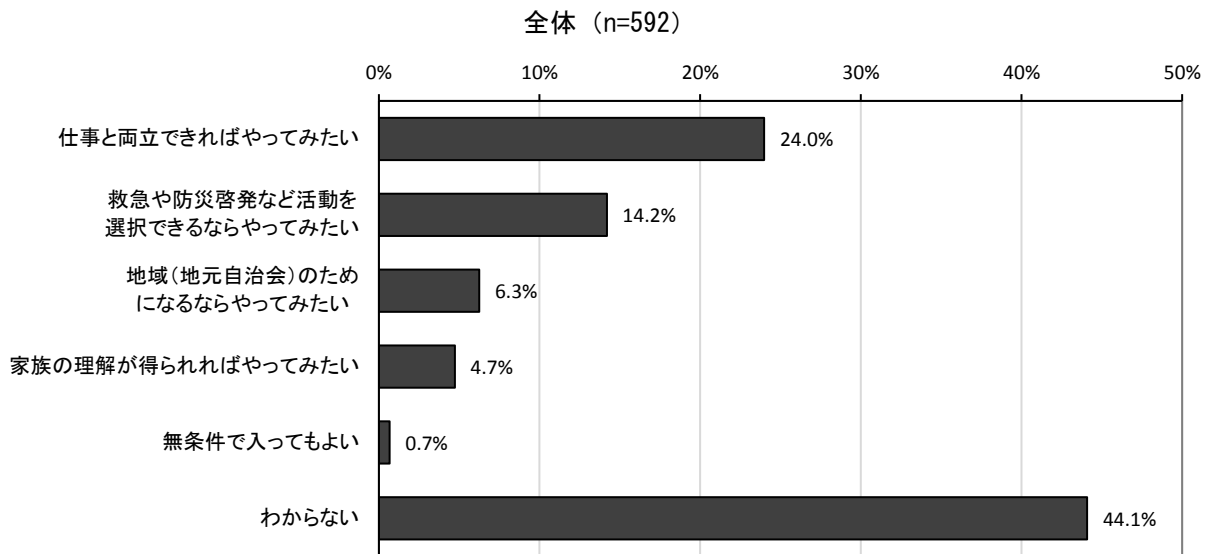
【属性別特徴】

- 性別で見るとより詳しく知っている（「現在入団しているので詳しく知っている」、「過去入団していたので詳しく知っている」、「活動の目的や活動内容まで詳しく知っている」の合計）と回答した割合は、「男性」が「女性」と比べて高くなっています。
- 年齢別で見ると年齢が上がるにつれて詳しく知っている（「現在入団しているので詳しく知っている」、「過去入団していたので詳しく知っている」、「活動の目的や活動内容まで詳しく知っている」の合計）割合が高い傾向にあります。
- 職業別で見ると「農林漁業」は「過去入団していたので詳しく知っている」の割合が46.2%と際立って高くなっています。
- 居住年数別で見ると、「どのような人々が消防団員となり、何のために活動しているか知っているが、活動内容までは知らない」が最も高いのは「30年以上」となっています。
- 居住地区別で「活動の目的や活動内容まで詳しく知っている」の割合を見ると「野津原地区」が際立って高くなっています。

◆Ⅲ 集計結果の分析



ア-① 大分市消防団は新入団員を募集しており、入団資格は18歳から65歳までの男女で、大分市内に在住または通勤通学していることです。  
もしあなたが消防団に入るとすれば、どのような環境を整えれば入ってもよいですか。



もし消防団に入るとすれば、どのような環境を整えれば入ってもよいかは、「わからない」が44.1%、「仕事と両立できればやってみたい」が24.0%となっています。

#### 【属性別特徴】

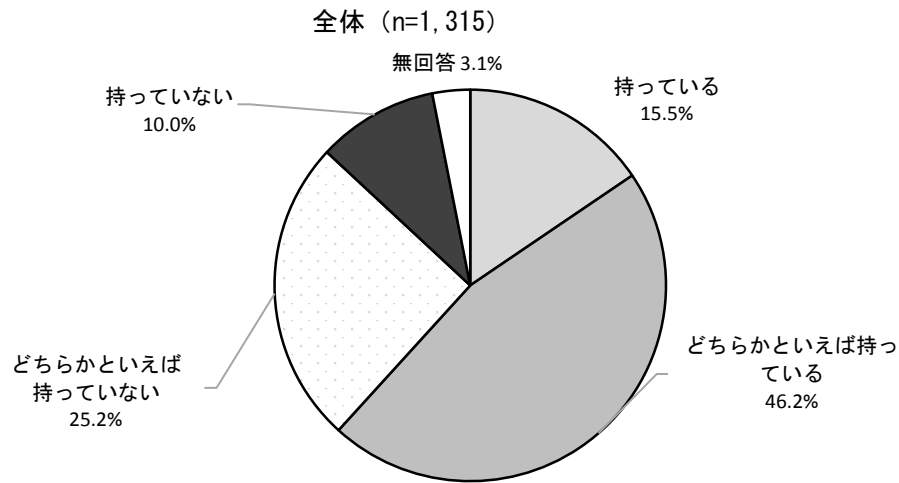
- 性別でみると、男女ともに「わからない」が最も高くなっています。また、「男性」では、「仕事と両立できればやってみたい」の割合が「女性」より高くなっています。
- 年齢別でみると「18・19歳」は「仕事と両立できればやってみたい」が最も高く、その他の年齢では「わからない」が最も高くなっています。年齢が上がるにつれ「仕事と両立できればやってみたい」の割合は下がる傾向にあります。
- 職業別でみると「農林漁業」「学生」以外では「わからない」が最も高くなっています。
- 居住年数別でみると「1年未満」は「仕事と両立できればやってみたい」「わからない」が最も高く、「5年以上10年未満」は「仕事と両立できればやってみたい」が最も高く、それ以外の年数では「わからない」が最も高くなっています。
- 居住地区別でみると「坂ノ市地区」は「仕事と両立できればやってみたい」が最も高く、それ以外の地区は「わからない」が最も高くなっています。

(属性別)

※サンプル数は数 ※項目は%		サンプル数	無条件で入ってもよい	仕事と両立できればやってみたい	家族の理解が得られればやってみたい	地域(地元自治会)のためになるならやってみたい	救急や防災啓発など活動を選択できるならやってみたい	わからない
全体		592	0.7	24.0	4.7	6.3	14.2	44.1
性別	男	256	0.8	30.9	4.7	6.3	13.3	37.5
	女	336	0.6	18.8	4.8	6.3	14.9	49.1
年齢別	18・19歳	10	0.0	50.0	0.0	10.0	10.0	30.0
	20歳代	64	0.0	37.5	6.3	3.1	12.5	43.8
	30歳代	93	1.1	38.7	8.6	5.4	10.8	47.3
	40歳代	123	1.6	26.0	7.3	3.3	14.6	49.6
	50歳代	135	0.0	20.0	3.0	6.7	17.0	50.4
	60歳代	167	0.6	10.8	1.8	9.6	14.4	34.1
職業別	農林漁業	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	自営業	31	0.0	22.6	3.2	6.5	12.9	41.9
	専門職	36	2.8	30.6	0.0	5.6	27.8	41.7
	会社員	214	0.5	32.2	5.6	6.1	12.6	43.0
	公務員	67	0.0	32.8	1.5	10.4	23.9	34.3
	パート	83	0.0	16.9	8.4	3.6	9.6	55.4
	専業主婦	81	1.2	7.4	3.7	8.6	9.9	49.4
	学生	16	0.0	50.0	12.5	0.0	18.8	25.0
	無職	48	2.1	6.3	2.1	4.2	10.4	39.6
その他	14	0.0	7.1	7.1	0.0	7.1	64.3	
居住年数別	1年未満	17	0.0	29.4	5.9	11.8	23.5	29.4
	1～5年	32	0.0	37.5	0.0	6.3	9.4	46.9
	5～10年	28	0.0	35.7	7.1	0.0	14.3	28.6
	10～20年	63	0.0	28.6	7.9	6.3	12.7	46.0
	20～30年	92	0.0	26.1	7.6	3.3	13.0	52.2
	30年以上	360	1.1	20.3	3.6	7.2	14.7	43.3
居住地区別	大分中央	50	0.0	26.0	6.0	4.0	16.0	42.0
	大分西部	58	1.7	17.2	5.2	5.2	17.2	53.4
	大分南部	39	0.0	23.1	2.6	7.7	12.8	48.7
	南大分	56	1.8	16.1	1.8	10.7	14.3	46.4
	大分東部	45	0.0	22.2	2.2	8.9	15.6	53.3
	明野地区	50	0.0	30.0	6.0	2.0	8.0	46.0
	鶴崎地区	84	1.2	29.8	6.0	4.8	13.1	41.7
	大南地区	36	0.0	22.2	5.6	5.6	27.8	33.3
	植田地区	101	0.0	28.7	5.0	5.9	14.9	36.6
	大在地区	36	0.0	13.9	8.3	11.1	11.1	47.2
	坂ノ市地区	19	5.3	36.8	5.3	5.3	5.3	31.6
	佐賀関地区	9	0.0	11.1	0.0	11.1	11.1	55.6
野津原地区	8	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	62.5	

## (11)「大分市歴史的風致維持向上計画」

## ア あなたは、大分市の歴史・文化に愛着を持っていますか。



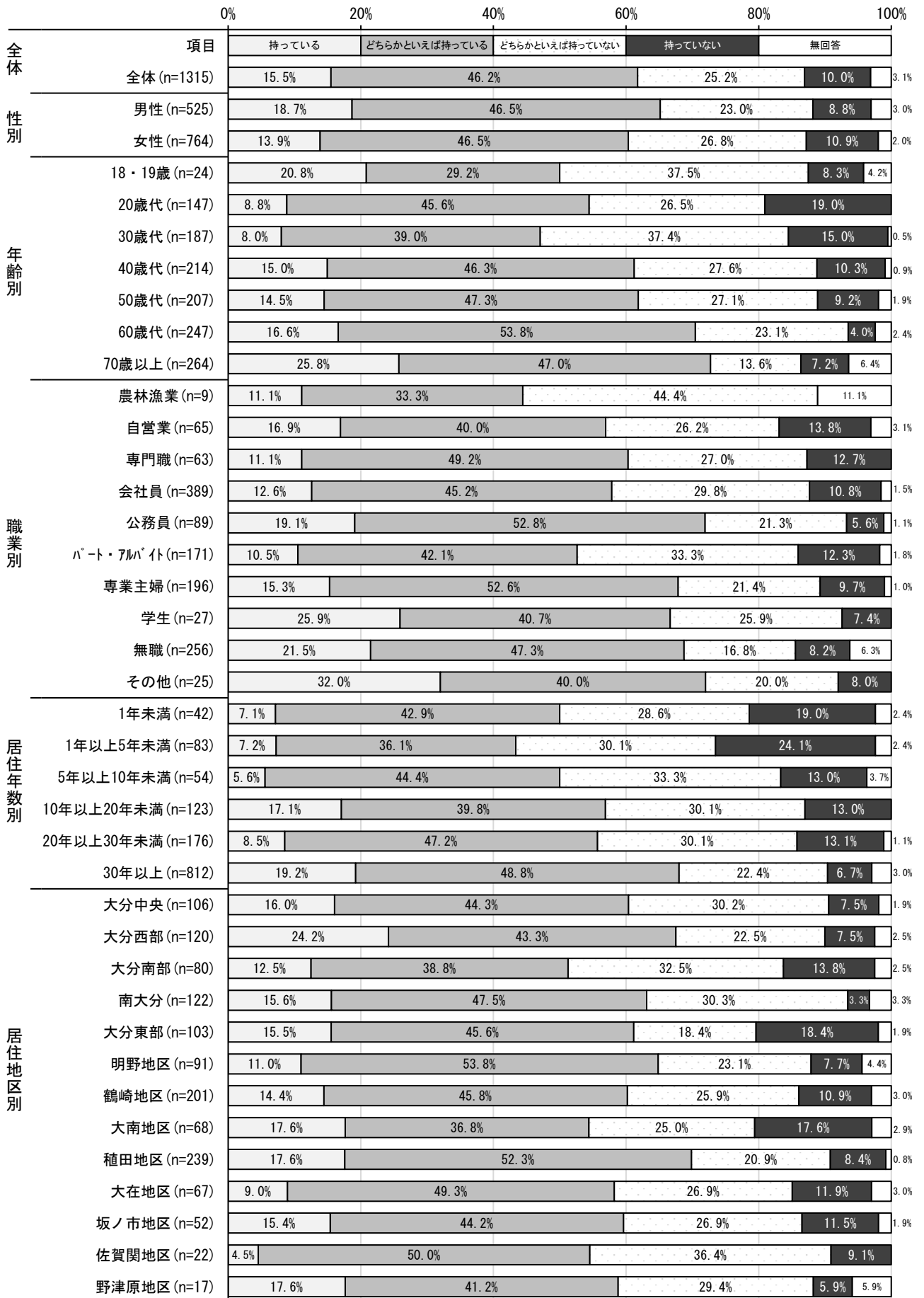
大分市の歴史・文化への愛着の有無について「持っている」「どちらかといえば持っている」を合わせると61.7%、「どちらかといえば持っていない」「持っていない」を合わせると35.2%となっています。

## 【属性別特徴】

- 性別でみると「女性」より「男性」のほうが、愛着度が高い傾向にあります。
- 年齢別でみると、年齢が上がるにつれて愛着度が高い傾向にあります。
- 職業別でみると「パート・アルバイト」「農林漁業」は愛着度が低い傾向にあります。
- 居住年数別でみると、居住年数が上がるにつれ愛着度が高くなる傾向にあります。
- 居住地区別でみると「植田地区」は愛着度が最も高く、「大分南部」は愛着度が最も低くなっています。

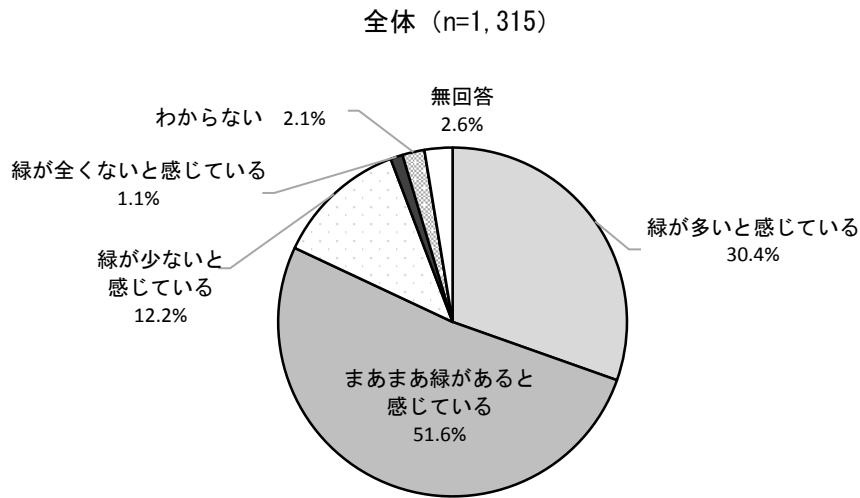


(属性別)



## (12) 身近な自然環境について

## ア 今住まいの「周りの緑」について、どのように感じますか。



住まいの周りの緑について、「緑が多いと感じている」「まあまあ緑があると感じている」を合わせた割合は 82.0%、「緑が少ないと感じている」「緑が全くないと感じている」を合わせた割合は 13.3%となっています。

## 【属性別特徴】

- 性別でみると、男女に大きな差異はみられません。
- 年齢別でみると、「緑が多いと感じている」「まあまあ緑があると感じている」を合わせた割合は「40歳代」が最も高くなっています。
- 職業別でみると「緑が多いと感じている」「まあまあ緑があると感じている」を合わせた割合は「その他」が最も高くなっています。一方、「専門職」「農林漁業」「公務員」は「緑が少ないと感じている」「緑が全くないと感じている」を合わせた割合が2割を超えています。
- 居住年数別でみると、「緑が多いと感じている」「まあまあ緑があると感じている」を合わせた割合は「30年以上」が最も高くなっています。
- 居住地区別でみると「緑が多いと感じている」「まあまあ緑があると感じている」を合わせた割合は「植田地区」が最も高くなっています。

◆Ⅲ 集計結果の分析

